

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立新市保育所園舎改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立新市保育所敷地内です。同敷地内には仮設園舎があり、通常通り保育所を運営しています。

2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。また、木工事で使用する木材は、可能な限り市産材・県産材を使用するよう努めてください。
- ② 工事期間中は、第三者との事故及び災害防止に努めてください。
構内管理については、施設管理者との協議・調整を十分に行ってください。
- ③ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ④ 工事施工上必要な官庁署への手続きは、受注者の責任において適切に行ってください。
- ⑤ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑥ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議の上、速やかに復旧してください。
- ⑦ 工事用出入口から前面道路へ泥を持ち出すことのないよう十分留意してください。また、汚した場合は速やかに清掃を行ってください。
- ⑧ 工事場所付近は、住宅等の建物が敷地に近接しているため、工事中の重機等による振動及び騒音防塵には十分注意し、移動の際は最徐行、仮設等の対策を講じてください。
- ⑨ 工事場所付近の道路は狭く、通学路となっており、児童及び第三者の安全確保に細心の注意を払ってください。
- ⑩ 保育所の行事や園児の昼寝等に支障がないよう、園の行事日程や時間割等考慮し、工事を行ってください。
- ⑪ 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事施工の遂行に努めてください。

3. 別途工事

電気設備工事、給排水衛生設備工事、冷暖房換気設備工事、昇降機設備工事

4. 広島県工事中情報共有システム（以下「情報共有システム」という。）

本工事は、原則として情報共有システムを利用します。また、情報共有システム利用料を見込んでいます。

5 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

福山市立新市保育所園舎改修工事

設計図

番号	意匠図書名	番号	意匠図名	番号	意匠図名
1	表紙・図面リスト	21	1階天井伏図 (改修前・後)	41	屋外階段・遊戯室バルコニー図2立面図・断面図1
2	特記仕様書 1	22	2階天井伏図 (改修前・後)	42	屋外階段・遊戯室バルコニー図2・断面図2 天井伏図
3	特記仕様書 2	23	1階平面詳細図 1(改修前・後) (事務室 保育室1 同便所 乳児室2 調乳室 処置室)	43	南ベランダ・給食室東庇図
4	特記仕様書 3	24	1階平面詳細図 2(改修前・後)(乳児室1 階段)	44	昇降所・足洗・屋外流し・上下足入れ詳細図
5	特記仕様書 4	25	1階共同便所詳細図 (改修前・後)	45	避難バルコニー・スカイター図1 平面図・立面図・部分詳細図
6	構造特記仕様書	26	2階共同便所詳細図 (改修前・後)	46	避難バルコニー・スカイター図2
7	鉄筋工事仕様書 1	27	2階平面詳細図 (改修前・後) (ステージ 遊戯室 保育室2)	47	南屋上図
8	鉄筋工事仕様書 2	28	断面詳細図 (改修前・後)	48	部分詳細図 1 (廊下 掲示板 天井廻縁部)
9	工事区分表	29	展開図 1 (改修前・後) (昇降所 1階廊下)	49	部分詳細図 2 (改修前・後) (畳 流し廻り)
10	工事概要・仕上表	30	展開図 2 (改修前・後) (事務室 保育室1 同便所)	50	プール図 1 (建築図)
11	面積図及び求積表	31	展開図 3 (改修前・後) (乳児室1 調乳室 処置室 乳児室2)	51	プール図 2 (プール本体 機器図)
12	敷地案内図・配置、仮設図 (改修前)	32	展開図 4 (改修前・後) (階段)	52	屋外便所・門図 (改修前・後)
13	配置図 (改修後)	33	展開図 5 (改修前・後) (2階廊下)	53	外構図 1 砂場 (撤去・新設)
14	1階平面図 (改修前・後)	34	展開図 6 (改修前・後) (保育室2～5 倉庫)	54	外構図 2 柵・フェンス
15	2階平面図 (改修前・後)	35	展開図 7 (改修前・後) (遊戯室 ステージ)		
16	立面図 1	36	建具符号図		
17	立面図 2	37	建具表 1 (改修前・後)		
18	外壁改修工事特記仕様書	38	建具表 2 (改修前・後)		
19	断面図 (改修前・後)	39	家具図 (改修前・後)		
20	屋根伏図 (改修前・後)	40	屋外階段・遊戯室バルコニー図1平面図		

福山市建設局建築部営繕課		2024年 5月	
主務	課長	次長	課長補佐

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	図面名称 図面リスト	縮尺 -	A1-100% A2-70.7% A3-50%	図面No. 1/A
--	---	-------------------------------------	-----------------	-------------------------------	-------------------------	---------------	---------	-------------------------------	--------------

項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項																		
7	金属成形板張り (14.6.2~3)	16 建 具 工 事	種別 アルミスパンドレル(既製品) 製法 ・押し成形材 ・板曲げ 寸法(mm) 板幅 板厚 形状 表面処理 伸縮継手 ※設けない ・設ける(場所は図示)	④ 木下地 性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 種別 ○D種 ※S-2 ※A-3 ※W-3 (mm) 図示による。 E種 ※S-3 ※A-3 ※W-3 (mm) 耐風圧性は取付高さに適応したものとす。 着色の色合 ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による。 ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による。 表面処理 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 (表14.2.1) 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 (表14.2.1) 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色 (表14.2.1) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.2.3)(16.6.3) ステンレス製くつずりの仕上げ ※H.L (16.2.4)(16.4.4) 結露水の処理方法 ※図示による (16.2.4) 水切り板、ぜん板 ※図示による (16.2.5) 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない (16.2.5) 防虫網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製 ・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防鳥網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm 性能及び構造 (16.3.2~16.3.4)(表16.3.1)(表16.3.2) 外部に面する樹脂製建具の性能等級 ・コンクリート系下地及び鉄骨下地 性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 種別 A種 S-4 W-4 B種 S-5 A-4 W-5 C種 S-6 木下地 種別 D種 S-2 W-3 (mm) E種 S-3 A-4 W-3 (mm) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による。 ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による。 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ガラス ※複層ガラス (16.3.3) 表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 ※図示による (16.3.5)(16.2.5) 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない (16.3.5)(16.2.5) ・簡易気密型ドアセット 気密性、水密性の等級 ・標準仕様書 表16.4.1による (16.4.2) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (表16.2.1) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による。 ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による。 ・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※図示による。 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.4.3)(16.6.3) 点検口の隅のくつずりの材料 (16.4.3) 鋼板類の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.4.2による (16.4.4) (W) を超える場合 ※図示による。 (W) 1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2、400mm ステンレス製くつずりの仕上げ ※H.L (16.4.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法(表16.4.5)による。(16.4.6) ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による。) ・簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・A-3 (16.5.2) 外部に面する建具の耐風圧性 ※図示による。 ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による。 ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による。 ・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※図示による。 鋼板 ・鋼板(16.5.3.1.7) ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 (16.5.3) 合合せ、縦小口包み板、押縁 ※鋼板(16.5.3.1.7) (16.5.3) 鋼板類の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.5.1による (16.5.4) (W) を超える場合 ※図示による。 (W) 1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2、400mm ステンレス製くつずりの仕上げ ※H.L (16.5.4)(16.4.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法(表16.4.5)による。(16.5.6) ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による。) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による (16.6.2) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (表16.2.1)(16.6.2) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による。 ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による。 ・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※図示による。 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3) 表面の仕上げ ※H.L (16.6.4) ステンレス製くつずりの仕上げ ※H.L (16.6.4)(16.4.4) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5) 建具材の含水率 ※A種 ・B種 (16.7.2)(表16.7.1) 接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (16.7.2) 待、くつずりの材料 ○建具表による。(16.7.2) ○ガラスサッシ 表裏材の名称の種類 (16.7.2) ○普通合板 ・天然木化粧合板 ・特殊加工化粧合板 (接着の程度、板面の品質は16.7.2)による。 ○MDF (表裏材の状態、曲げ強さ、接着材、経年性による区分は図示による。) 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書16.7.2(a)による。(16.7.3) 表面材の厚さ ※標準仕様書表16.7.6による ○メラミン化粧板t=6 (16.7.3) 引戸の定規線 ・召し合わせかまをいんうけとする (16.7.4) ・かまち戸 かまち樹種、鏡板樹種、見込み寸法は図示による (16.7.2)(表16.7.3)(表16.7.7) ・ふすま 種別、工法、上張り、縁仕上、見込み寸法は図示による (表16.7.4)(表16.7.10) ・戸ぶすま 表面材の種類、品質等、見込み寸法は図示による (16.7.2)(表16.7.3)(表16.7.4)(16.7.4) ・紙張り障子 見込み寸法は図示による (16.7.3)(表16.7.7) 建具表による (16.8.1~4)(表16.8.1~4) 見本提出のうえ監督員の承認を受ける。 鍵筒 ・設ける(個用) ○設けない ○鍵孔 マスターキー ・製作する(組) ・製作しない ○既存マスター合わせ 煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。 ※扉にラッチ受用切込開口補強 ・枠に解錠機構用切込開口補強	11 自動ドア開閉装置 (16.9.2)	戸の開閉方式 ・図示による (16.9.2) 自動ドア開閉装置の性能 (16.9.2) 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.11による。 防錆の適用 ・適用する ・適用しない 車椅子使用者用便出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書表16.9.11による。 防錆の適用 ・適用する ・適用しない 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.31による。 防錆の適用 ・適用する ・適用しない 引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.41による (16.9.2) 種類・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ(・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ) ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便用スイッチ(・大形(開)押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ) 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない (16.9.2) 性能 ※標準仕様書 表16.10.11による ・図示による (16.10.3)	④ 錆止め塗料塗り (18.3.2)(18.3.3)	種別 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4) 鉄鋼面 見え掛り部分 S O P A種 ※A種 ・B種 D P 1回目C種 2、3回目D種 標準仕様書 表18.3.4 E P-G ・A種 ※B種 ※A種 ・B種 見え隠れ部分 S O P A種 ※A種 ・B種 D P 1回目C種 2、3回目D種 標準仕様書 表18.3.4 E P-G ・A種 ※B種 ※A種 ・B種 亜鉛めっき 鋼製建具等 S O P ※A種 ・B種 ※A種 ・B種 鋼面 B種 標準仕様書 表18.3.6 E P-G C種 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 S O P ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 D P A種 標準仕様書 表18.3.6 E P-G C種 ・A種 ※B種	12 自閉式上り 引戸装置 (16.10.3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.10.3) ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター (16.11.2~3)	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1) 塗装の種類 ○合成樹脂適合ペイント塗料(SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 木部屋内 ・A種 ※B種 鉄鋼面 ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.4.3 ○クリアラッカー塗り(CL) ・A種 ※B種 ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ・A種 ※B種 ○耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 標準仕様書 表18.7.1 3級・ポリウレタン 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.7.2 コンクリート面及び押し成形 セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 ○つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP-G) コンクリート面、モルタル面等 ・A種 ※B種 木部 標準仕様書 表18.8.2 屋内の鉄鋼面 ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.8.4 ○合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ・A種 ※B種 ○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・A種 ※B種 ○ステイン塗り ・ビグメントステイン塗り - ○オイルステイン塗り(OS) - ・木材保護塗料塗り(WP) 屋外 ・A種 ※B種	13 重量シャッター (16.11.2~3)	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.10.3) ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター (16.11.2~3) 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 (表16.11.1) 防火・防塵シャッターは、自動閉鎖機構及び同時閉鎖機構付とし、連動制御及び煙感知器は別途とする。 安全装置の設置箇所 安全装置 設置箇所 ・急降下制動装置 ・急降下停止装置 ・図示による ・障害物感知装置 ・図示による ・危殆防止機構 ・図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない (16.11.2) スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) 鋼板の種類 ・JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUSJ1L又はSUS443J1 (16.11.3)(表16.12.1)	14 軽量シャッター (16.12.2~4)	開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 (16.12.2)(表16.12.1) 耐風圧強度 () pa (16.12.2)(表16.12.2) 電動式の場合の安全装置 安全装置 設置箇所 ・障害物感知装置 スラットの材質の種類 (16.12.3) ・JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G3322(塗装溶融亜鉛55%Ni-Cu-重鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※AZ90 スラットの種類 ・インターロッキング形 (16.12.4) ・オーバーラッピング形	⑥ 内装工事	① 接着剤等 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3) ※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 ・図示による (19.2.2)(表19.2.2) 下地の施工 標準仕様書19.2.3(1)(7)~(7)以外の下地の工法 ・図示による (19.2.3)	② ビニル床シート ビニル床タイル (19.2.2~3)	○ビニル床シート (19.2.2~3) 種別 ※ 発泡層のないもの ○ FS ※ ブレーン ※ 2 ・帯電防止 ・突付接 ○ 発泡層のあるもの ○ HS ・ マーブル ○ 2.5 ・ 耐動荷重 ※ 熱溶接 ○ 特殊柄 ○ 2.8 ○ 防滑性 ・ビニル床タイル (19.2.2) 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 備考 ・ T T ※ 標準柄 厚さ 2・3 ・帯電防止 ※ 図示による ・ F T ・ 特殊柄 ・ 防滑性 ※ K T ・ F O A ※ 標準柄 ・ 4以上 ・帯電防止 ※ 図示による ・ F O B ・ 特殊柄 ・ 4未満 ・ 防滑性 ・特殊機能床材 (19.2.2) 種別 厚さ(mm) 形状、寸法、性能等 ・ 視覚障害者用床タイル ○ビニル幅木 (19.2.2) 厚さ(mm) 高さ(mm) 種類 色柄 ※ 1.5以上 ・ ※ 60 ・ 75 ・ 100 ※ 軟質 ・ 硬質 ※ 標準柄 ・ゴム床タイル (19.2.2) 種別 厚さ(mm) 形状、寸法、性能等 ・ 単層品 ・ 積層品	3 カーペット敷き (19.3.2)(19.3.3)	・タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3) 種別 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 色柄 敷き方 ※ 一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ・ 無地 平場 ※市松敷き・模様流し ・ カットバイル ・ 柄物 階段 ・市松敷き※模様流し 製造所及び製品名 ・ 織じゅうたん ・ 図示による (19.3.2)(表19.3.1) ・ タフテッドカーペット ・ 図示による (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)	4 合成樹脂塗料 (19.4.2)(19.4.3)	・厚膜型塗床材 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.8) 塗床の種類 仕上げの種類 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ エポキシ樹脂系塗床 ・ 薄膜流しのペ工法 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ ・ 樹脂モルタル工法 ・ 防滑仕上げ ・薄膜型塗床材 塗床の種類 仕上げの種類 ※ エポキシ樹脂系塗床 ※ 平滑仕上げ ※ 合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

Table with 10 columns for project details, specifications, and materials. Includes sections for floorings, walls, ceilings, and various construction materials with their respective standards and application methods.

章	項		特記事項		
	④	① 基礎	※ 直接基礎 (・ 地盤改良 (・ 表層改良 ・ 柱状改良)) 設計耐力 ・ 杭基礎 50KN/m ²		
地 業 工 事	2	試験及び報告書	試験杭 位置、本数及び寸法 杭の載荷試験 地盤の載荷試験	・ 最初の1本 ・ 図示による ・ 図示による ・ 図示による	
	3	既製コンクリート杭 地業	施工管理技術者 ※適用する 種類 ・ 適心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490	(4.3.2) (4.3.1~8)	
鋼 杭 地 業	寸法、継手、性能等				
	試験杭				
	本杭				
	先端部形状				
	杭の継手				
杭の精度					
施工方法					
杭の現場継手					
杭頭の処理					
杭頭の中詰材料					
4	① 鋼杭地業	施工管理技術者 ※適用する 種類の記号 ・ SKK400 ・ SKK490 寸法、継手、性能等		(4.4.2) (4.4.1~6)	
	試験杭				
	本杭				
施工方法					
杭の精度					
杭の現場継手					
杭頭の処理					
杭頭の中詰材料					

章	項		特記事項	
	5	① 場所打ちコンクリート 杭地業	施工管理技術者 ※適用する 寸法等 (4.5.2) (4.5.1~7)	
鉄 筋 工 事	① 鉄筋の種類	鉄筋の種類 ・ A種 ※B種 ・ 評定等の内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm ² 以上 構造体強度補正值 ・ 3N/mm ² ・ 構造図による ・ 評定等の内容による セメントの種類 ※高炉セメントB種 スランプ値 ※18cm 鉄筋の種類 ※5章鉄筋工事の鉄筋の種類による 鋼管巻きの材料 ・ SKK400 ・ SKK490 鋼管径・板厚・長さ ※構造図による 据削工法 ・ アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・ 使用しない) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (孔内の水強 ・ 行う ・ 行わない) 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・ SKK00 ・ SKK490 (・) ・ 底底杭工法 (安定液 ※使用する ・ 使用しない) 孔壁測定 ※行う 測定方法 ※超音波測定器 測定場所 ※試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 ・ 行わない		
	② 溶接金網	網目の形状、寸法及び径 (mm) () 施工場所 (1・2階共同便所 保居室 1便所 屋外便所)		
	③ 柱・梁の鉄筋の継手	・ ガス圧接 (SD295は不可) ・ 重ね継手 () ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 継手位置 ※鉄筋工事仕様書による ・ 図示による	(5.3.4) (5.4.2)	
	④ 梁貫通孔補強	※ 鉄筋工事仕様書による ・ 各部配筋参考図7.1 ・ 図示による		
5	① 圧接完了後の検査	検査方法 ※ 超音波深傷試験 ・ 引張試験	(5.4.10)	
6	① 柱の帯筋	・ 組み立ての形はS P形とする。(鉄筋工事仕様書)		
コ ン ク リ ー ト 工 事	① コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2) 設計基準強度 Fc (N/mm ²) スランプ (cm) 適用箇所 ※ 21 18 便所2土間 ・ プール、外構 ※ 18 15 ※ 軽量コンクリート (6.10.1~6.10.4) 設計基準強度 Fc (N/mm ²) 種類 スランプ (cm) 適用箇所 ・ 1種 ・ 2種		
	② コンクリートの種類	※ I 類 ・ II 類	(6.2.1)(表6.2.1)	
	③ 水セメント比	◎ 65% ・ %	(6.3.2) (6.3.2)	
	④ コンクリート中の 塩化物量	※ 0.30kg/m ³ 以下		
	⑤ コンクリートの アルカリ総量	◎ アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート中の総アルカリ量を3.0kg/m ³ 以下とする。	(6.5.4)	
	⑥ コンクリートの 仕上り	打放し仕上げの種類 ※ 合板せき板を使用する場合 種 別 せき板の種類 表面・せき板の程度 適用箇所 ・ A種 JAS (表面加工品) 表6.2.4 ※ 図示 ※ B種 JAS B-C 表6.2.4 ・ ・ C種 JAS B-C 表6.2.4 ・	(6.2.5)(表6.2.3)	

章	項		特記事項	
	7	① コンクリートの材料	セメント セメントの種類 使用部位 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントA種 ・ シリカセメントA種 ・ フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 混和材料 ※ A E 剤、A E 減水剤又は高性能A E 減水剤 (J I S A 6204) ※ フライアッシュ (J I S A 6201) Ⅰ 種、Ⅱ 種若しくはⅣ 種 ※ 高炉スラグ微粉末 (J I S A 6206) ※ シリカフューム (J I S A 6207) 又は膨張材 (J I S A 6202) ⑧ コンクリート製造 工場の選定 ※ レディミクストコンクリート工場の選定は、監督員の承諾を受ける。 (6.4.1) ⑨ 強度 構造体強度補正值 S (N / m m ²) 適用箇所 ※ 建物本体 (6.3.2)(表6.3.2) セメント 地域 4~10月 11月 12月 1月 2月 3月 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 旬 旬 旬 旬 旬 旬 旬 旬 旬 旬 旬 普通ポルトランドセメント 市内全域 3.0 6.0 3.0 早強ポルトランドセメント 北部地域 3.0 6.0 3.0 その他 3.0 6.0 3.0 ・ 北部地域 : 新市町・芦田町・山野町の全域及び駅町・加茂町・神辺町の都市計画区域外の地域 ・ その他 : 上記以外の地域	
鉄 骨 工 事	10	① 箇中コンクリート	※ 日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合 (6.12.1~6.12.4) 構造体強度補正值 S (N / m m ²) 6.0 N/mm ²	
	11	① 寒中コンクリート	適用期間 ()	(6.11.1~6.11.6)
	12	① コンクリートの 強度試験	※ (表6.9.2)による	(6.9.1~6.9.5)
	13	① 外部に面する コンクリート打放し 仕上	※ 打増厚さ () (6.8.2)	
	14	① 型枠のせき板	※ 合板 (12mm) ・ 合板 (15mm) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (実績等の資料を提出) ・ メッシュ型枠 () ・ 断熱材用型枠 (25mm以下かつ熱抵抗値1m ² / Kcal以上) ・ M C R 工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)	(6.8.2)
15	① マスコンクリート	セメントの種類 () 混和材料 () 適用箇所 ()	(6.13.2)	
16	① 水密コンクリート	水セメント比 (/ wt) スランプ (cm) 適用箇所 ※50 ・ ※15 ・		
17	① 打継部	止水板 止水ゴムの製造所 () 適用箇所 () 打継ぎ地盤 ※ 図示による 打継ぎ位置 ※ 標仕による		
18	① 無筋コンクリート	適用箇所 ※ 6.14.11による 粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) ※ 25mm以下 コンクリートの品質 (6.14.1) 種類 設計基準強度 Fc (N / m m ²) スランプ (cm) 適用箇所 普通コンクリート 18 ◎ 15 ・ 18 ○ 捨コンクリート	(6.14.1) (6.14.2)	
19	① 流動化コンクリート	・ 適用 ()	(6.15.1)	
20	① 鉄骨製作工場及び 施工管理技術者	鉄骨製作工場 ・ 次表による加工能力のある工場 () ・ 監督員の承諾する工場 () 製作工場の加工能力	(7.1.3~4)	
21	① 鋼材	鋼材 規 格 使用箇所 (7.2.1)(表7.2.1) ◎ S S 400 ※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外 ・ S S C 400 ※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外 ◎ S T K 400 ※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外 ・ ※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外		
22	① 高力ボルト	・ トルシア形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (S10T) ・) (7.2.2) ・ J I S 形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (F10T) ・) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 ※ 1種 (F8T相当) ・) ボルト径 ※ 図示による	(7.2.2)	
23	① 普通ボルト	ボルト及びナットの材料等 ※ 表7.2.3による (7.2.3) ボルト径 ※ 図示による		
24	① アンカーボルトの 材料及び設置	材料 構造用アンカーボルト ・ A B R 400 ・ A B R 490 ・ A B R 520 S U S (7.2.4)(7.10.3) 建方用アンカーボルト ◎ S S 400 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 (表7.10.1) ※ 図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A 種 ※ B 種 ・ その他 ()		

章	項		特記事項	
	25	① ターンバックル	鋼の種類 ※ 割切式 (7.2.6) ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ()	
26	① デッキプレート	材質・形状・寸法 (7.2.7)		
27	① 柱底均しモルタル	材 料 ・ モルタル ・ 無収縮モルタル (表7.2.5) (7.2.9) 工 法 ※ A 種 ・ B 種 (表7.10.2)		
28	① 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.12)(表7.6.2~7.6.3) ※ 行う ・ 行わない 工場溶接の場合 A O Q L ※ 4.0% ・ 2.5% 検査基準 ※ 第6水準		
29	① 錆止め塗装	工事現場溶接の場合 ※ 全ての溶接部 鉄面 ◎ J I S K 5674 工場 1 回塗り 現場 1 回塗り (7.8.1~7.8.4) ・ J I S K 5551、5552 工場 回塗り 現場 回塗り (18.7.2)		
	① 耐火被覆	耐火被覆材の接着面 ・ 行う ・ 行わない (7.8.2) 種別及び性能 (7.9.1~7.9.9) 種別 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り ・ 繊維混入型酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ・ 耐火塗料 ・ ・ ラス張りモルタル塗り - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする		
30	① 溶融亜鉛めっき工法	種 別 ※ A 種 (軽量形鋼は板厚によりB種・C種とする。) (7.12.4) 表14.2.2		
31	① 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合	摩擦面の処理 詳細は鉄骨工事仕様書による (7.12.5) ◎ リン酸塩処理 ※ プラスト処理		

鉄筋工事仕様書 No. 1

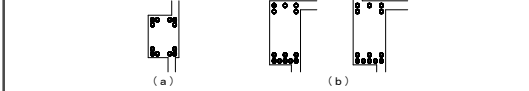
この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

Table with 4 columns: 折曲げ角度, 折曲げ図, 折曲げ内法直径 (D), and SD295, SD345, SD390 specifications. Includes diagrams for 180°, 135°, 90° bends.

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端端の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

- 異形鉄筋のフック
次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。
1) 柱の四隅にある主筋の重ね継手
2) 最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着
3) 梁の出隅及び下端の両側にある梁主筋の重ね継手
4) 煙突の鉄筋
5) 杭基礎のベース筋
6) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

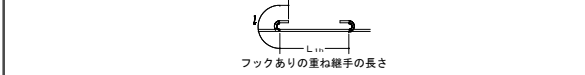


鉄筋の継手及び定着

- 1. 鉄筋の継手
鉄筋の重ね継手は、次による。原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。
2. 直径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
3) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。
特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d (軽量コンクリートの場合は50d) 又は下表の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。
4) 7) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

Table showing lap length (L1, L2) for reinforcement bars of different diameters (SD295, SD345, SD390) and concrete strength (Fc).

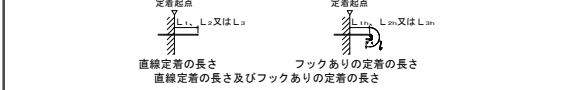
(注) 1. L1, L2: 重ね継手の長さ及びフックなしの場合の長さ。L1, L2: フックありの場合の長さ。2. L1, L2: 下図に示すようにフック部分を含まない。3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



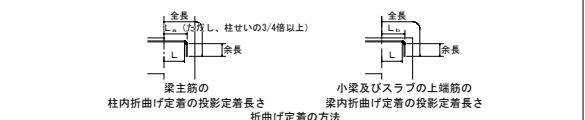
- 2. 鉄筋の定着
7) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

Table showing anchorage length (La) for reinforcement bars under various conditions (SD295, SD345, SD390).

- (注) 1. L1, L2: 2から4まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ。2. L1, L2: 割製破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ。3. 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを支える小梁を除く。4. L2: 小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。5. フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



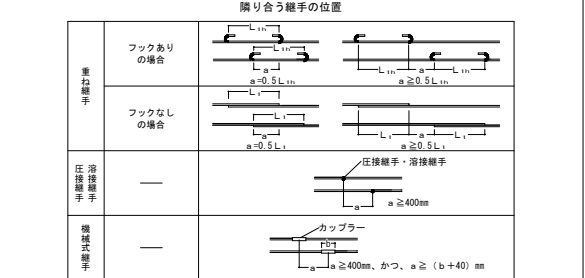
- 1) 定着の方法
仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下図により、下記の条件を全て満足するものとする。
(a) 全長は、7) の直線定着の長さ以上とする。
(b) 余長は、8d以上とする。
(c) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さs1及びs2は、下図に示すこととする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。



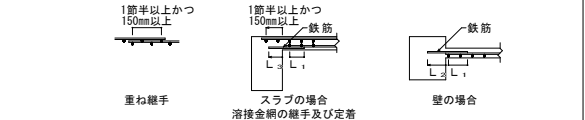
- 3. 鉄筋の投影定着長さ
投影定着長さ
鉄筋の種類, コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²), L1, L2 (注)

Table showing projection anchorage lengths (L1, L2) for reinforcement bars based on concrete strength and bar type (SD295, SD345, SD390).

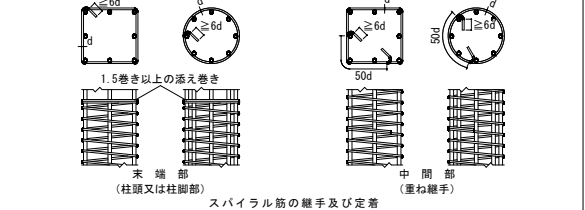
- 4. 隣り合う継手の位置
隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。なお、先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に出す場合は、特記による。



- 5. 溶接金網の継手及び定着
L1は1. 4) 、L2及びL3は2. 7) による。



- 6. スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 1. 鉄筋（溶接金網含む）の最小かぶり厚さ（mm）
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

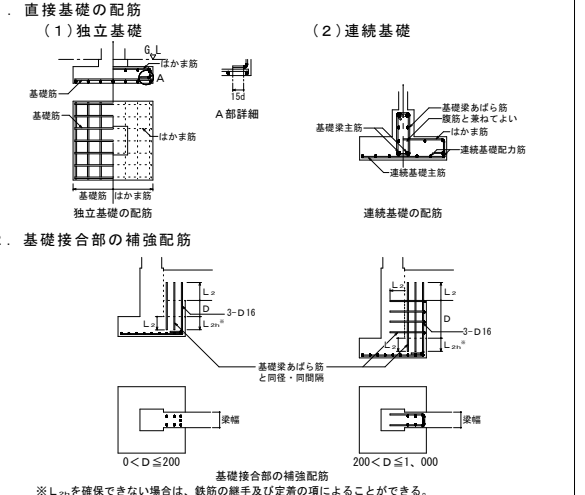
Table showing minimum concrete cover (mm) for reinforcement bars in columns, beams, and walls.

- (注) 1. 普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上げ塗料、塗装等）のものを除く。3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直線に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

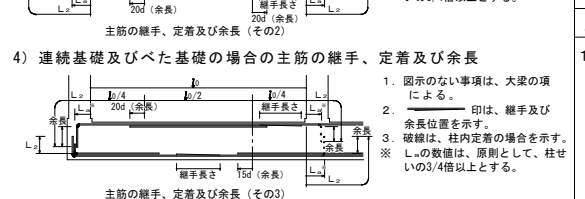
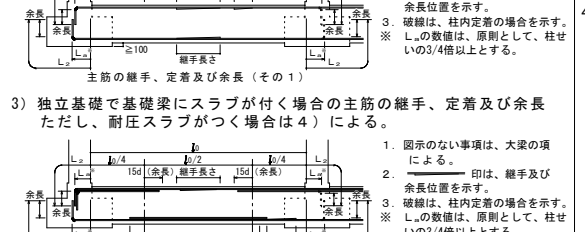
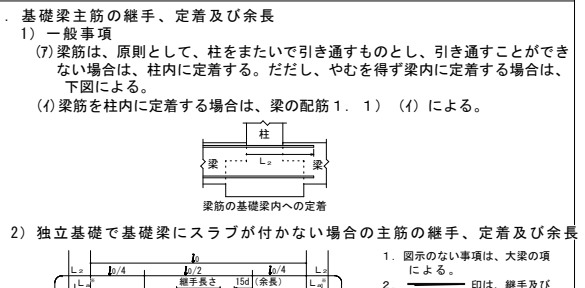
- 2. 鉄筋相互のあき
1) 次の値のうち最大のもの以上とする。
(ア) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(イ) 25mm
(ウ) 隣り合う鉄筋の径の平均の1.5倍
2) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
3) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

Table showing spacing requirements for reinforcement bars based on diameter (D).

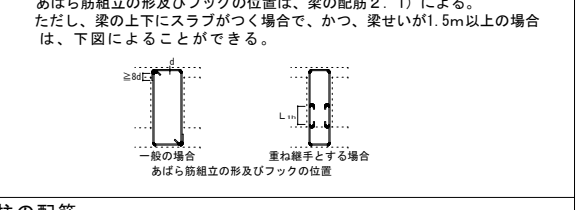
基礎の配筋



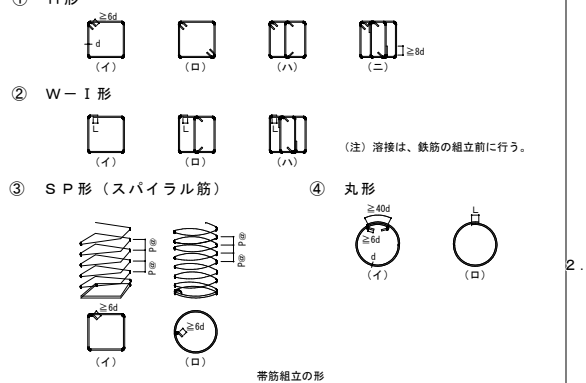
基礎梁の配筋



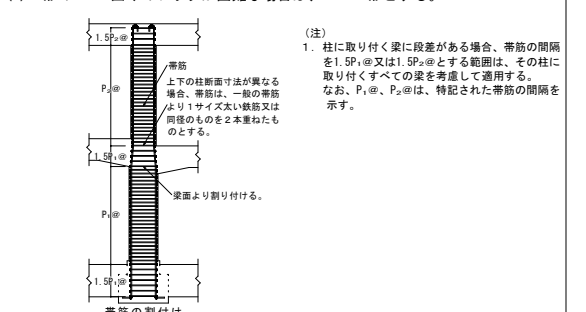
柱の配筋



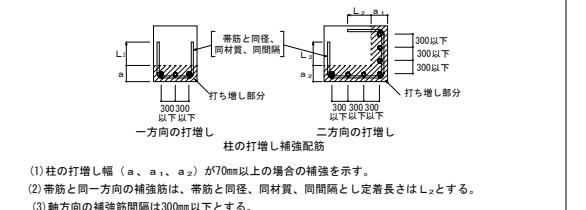
2. 帯筋組立の形及び割付け



- (1) H形を標準とする。
(2) フック及び継手の位置は、交互とする。
(3) 溶接する場合の溶接長さsは、両面重ねアーク溶接の場合は5d以上、片面重ねアーク溶接の場合は10d以上とする。
(4) S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。
(5) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

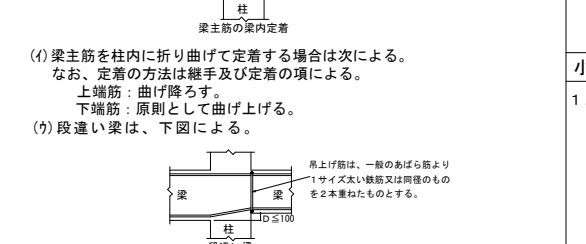


- 4. 柱の打ち増し補強

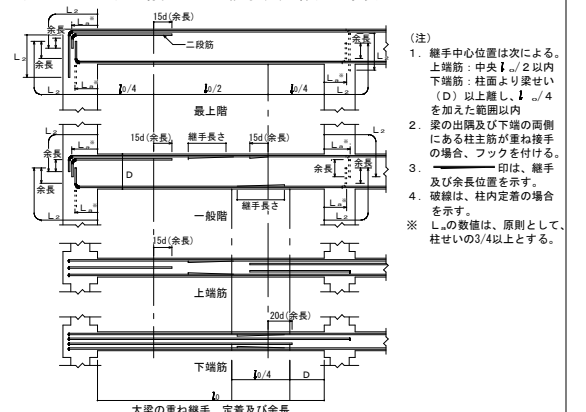


梁の配筋

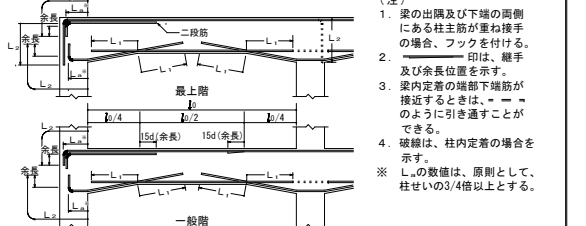
- 1. 大梁主筋の継手、定着及び余長
1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(ア) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
(イ) 段違い梁は、下図による。



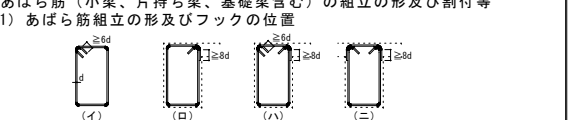
- 2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



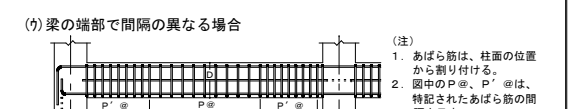
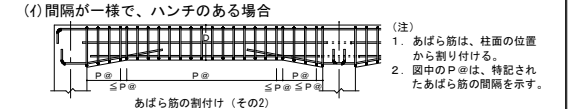
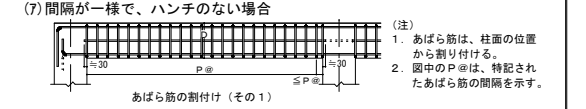
3) ハンチのある場合の定着及び余長



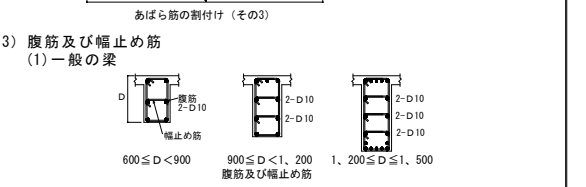
- 2. あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け等
1) あばら筋組立の形及びフックの位置



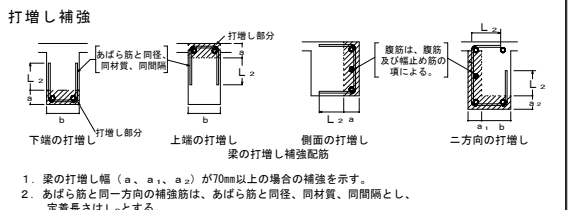
- (1) (イ) 形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ) 、T形梁の場合は、(ロ) ~ (ニ) とすることができる。
(2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ) の場合は、床版の付く側を90°折曲げとする。



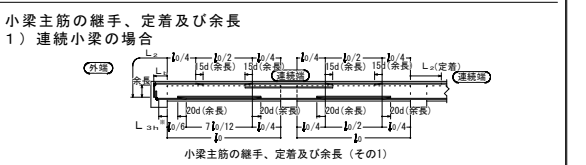
- 3) 腹筋及び幅止め筋
(1) 一般の梁



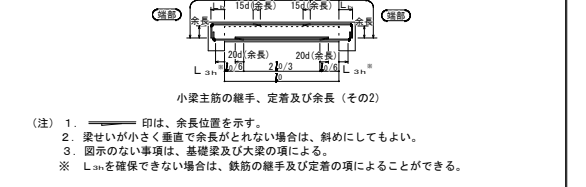
- 2. 打ち増し補強



小梁及び片持ち梁



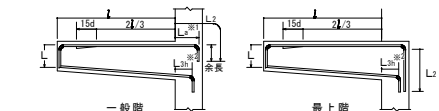
- 2) 単小梁の場合



鉄筋工事仕様書 No. 2

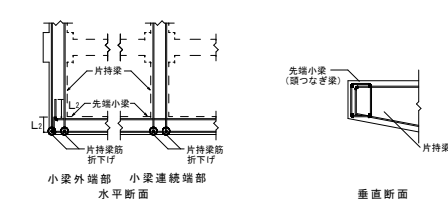
2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁がない場合



- (注) 1. 印は、余長位置を示す。 2. 先端の折曲げ長さは、梁せいからかり厚さを除いた長さとする。 3. 図示のない事項は、大梁の項による。 ※1. Lの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。 ※2. Lを確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



- (注) 1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。 2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

Table with 4 columns: 種別 (Type), 縦筋及び横筋 (Vertical and horizontal reinforcement), 断面図 (mm) (Cross-section diagram), and 階段の配筋種別 (Staircase reinforcement type). Rows include W12, W15A, W15B, W18A, W18B, W20A, W20B.

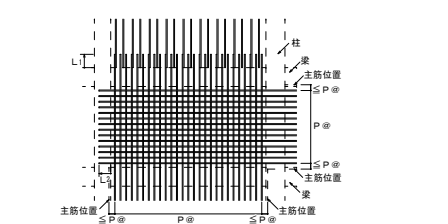
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

Table with 4 columns: 種別 (Type), 縦筋及び横筋 (Vertical and horizontal reinforcement), 断面図 (mm) (Cross-section diagram), and 階段の配筋種別 (Staircase reinforcement type). Rows include KW1, KW2.

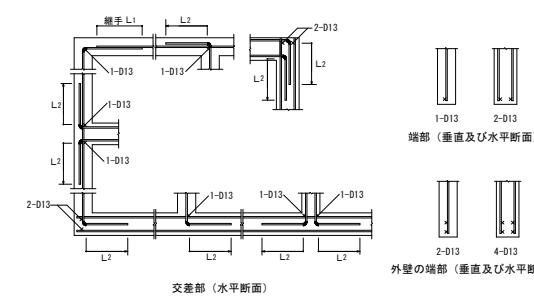
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注) 1. 図中のP印は、特記された壁筋の関開を示す。 2. 壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL1とする。 3. 幅止め筋は、縦横ともD10-1、000@程度とする。 4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

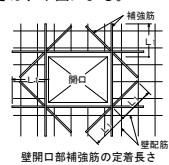


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

Table with 2 columns: 壁開口部補強筋 (A形) and 壁開口部補強筋 (B形). Each column has 3 rows for reinforcement types (縦横, 斜め) and their respective diameters.

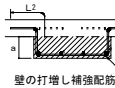
2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。



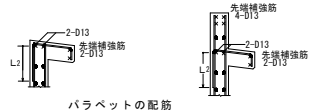
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す



6. パラベットの配筋



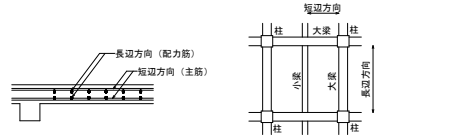
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

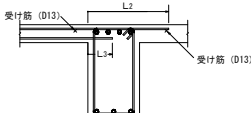
Table with 5 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 短辺方向 (主筋) 全域 (Short edge direction (main reinforcement) entire area), 長辺方向 (配力筋) 全域 (Long edge direction (distribution reinforcement) entire area), 配筋種別 (Reinforcement type), 短辺方向 (主筋) 全域 (Short edge direction (main reinforcement) entire area), 長辺方向 (配力筋) 全域 (Long edge direction (distribution reinforcement) entire area). Rows include S1 through S7.

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

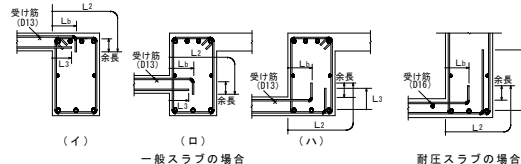


- 1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた関開以下とする。 2. 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。

2. スラブ筋の定着及び受け筋



スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)



3. 片持ちスラブの基準配筋

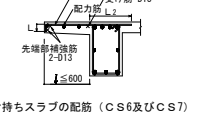
1) 片持ちスラブの基準配筋

Table with 4 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 主筋 (Main reinforcement), 配筋種別 (Reinforcement type), 主筋 (Main reinforcement). Rows include CS1 through CS7.

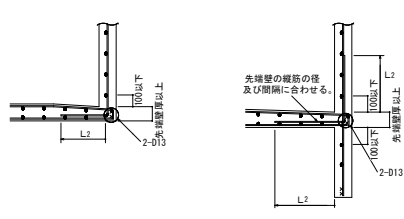
(注) 1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。 2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。



(注) 1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。 2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

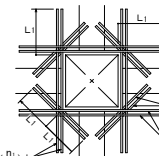


4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



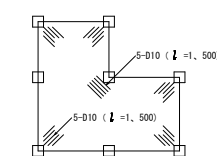
5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- 1) スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋を周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (1-2L1) シングルを上下筋を上下筋の内側に配筋する。 2) スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



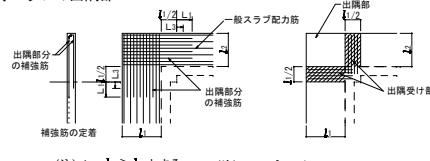
6. 出隅部及び入隅部の補強

1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部



補強筋を上端筋の下側に配置する。 出隅及び入隅部の補強配筋

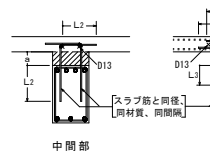
2) 片持ちスラブの出隅部



- (注) 1. L1 ≥ L2 とする。 2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にL1定着する。 出隅受け部配筋

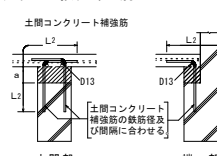
7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強



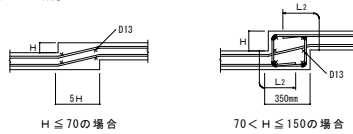
打継ぎ補強配筋 (注: 基礎梁と土間スラブを一体打ちとし、打継ぎを設ける場合の補強を示す。)

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。 2. a が300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



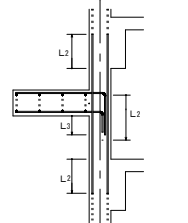
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

Table with 4 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), KA1, KA2, KA3, KA4. Rows include 配筋図 (Reinforcement diagram) and 配筋種別 (Reinforcement type).



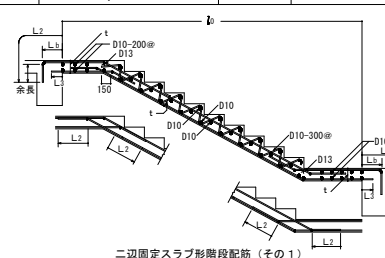
- (注) 1. 壁筋は、片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋による。 2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから配筋する。 3. スラブ配筋の継手及び定着の長さは、【鉄筋の定着長さ】のL1とする。

片持ちスラブ形階段配筋の定着

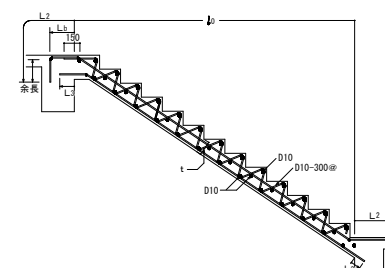
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

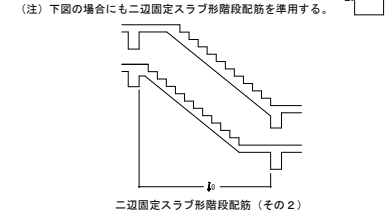
Table with 4 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 上端筋、下端筋とも (全域) (Top and bottom reinforcement both (entire area)), 配筋種別 (Reinforcement type), 上端筋、下端筋とも (全域) (Top and bottom reinforcement both (entire area)). Rows include KB1 through KB4.



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



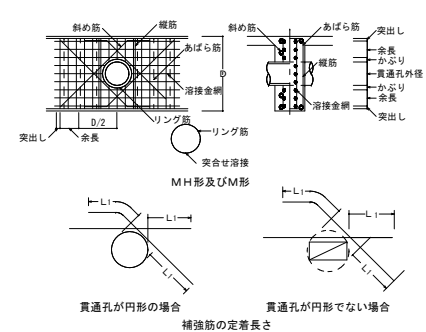
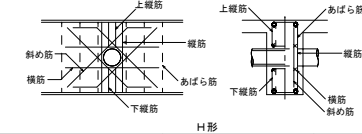
二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)



梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。 3) 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。 4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。 6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。 11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



2. 梁貫通孔の補強形式

Table with 5 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 斜め筋 (Diagonal reinforcement), 縦筋 (Vertical reinforcement), 横筋 (Horizontal reinforcement), 上下筋 (Top and bottom reinforcement), 配筋図 (Reinforcement diagram). Rows include H1 through H7.

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

Table with 4 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 縦筋 (Vertical reinforcement), 溶接金網 (Welded mesh), 配筋図 (Reinforcement diagram). Rows include M1 through M4.

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

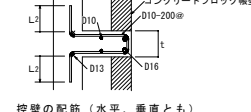
Table with 4 columns: 配筋種別 (Reinforcement type), 斜め筋 (Diagonal reinforcement), 縦筋 (Vertical reinforcement), 溶接金網 (Welded mesh), 配筋図 (Reinforcement diagram). Rows include MH1 through MH7.

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

- (注) 1. 大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

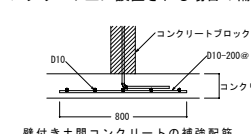
3. コンクリートブロック横壁との取合い

1) 控壁の配筋



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付き土間コンクリートの補強配筋

福山市工事区分表

- 1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。
- 2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。

分類	項目	区分						分類	項目	区分											
		建	電	給	空	ガ	昇			建	電	給	空	ガ	昇						
6	器具等	築	気	排水	調	ス	降	9	ビット・マンホール・水槽等	築	気	排水	調	ス	降						
1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎	※						1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ	※						13 昇降機	1. 昇降路内ピットの防水、集水槽の製作及び設置	※				
	2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※	※	2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置	※							2. 昇降路内点検用タラップの製作及び設置	※				
	3. 建物外部の機器類の基礎	※	※	※	※	※	※	3. 防火戸の扉、枠の製作・設置（自動閉鎖装置用切り込み補強共）	※							3. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置（S造に限る）	※				
	4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※	※	4. 同上用自動閉鎖装置の製作・設置	※							4. 出入り口扉三方枠、杏槽の製作及び設置					※
	5. 外灯基礎の製作及び設置	※						5. 同上用自動閉鎖装置及び感知器の製作・設置		※						5. 同上枠廻り空隙の充填及び補修	※				
2 設備機器類取付下地	1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置	※	※	※	※	※	※	6. 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の電気配管配線工事	※						6. 屋内マンホールのRC造躯体、鉄蓋蓋及び化粧蓋の設置	※					
	2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置	※	※	※	※	※	※	7. 可動式防煙壁及び自動降下装置緩衝装置の製作・設置	※						7. 屋外マンホールのRC造躯体、鉄蓋蓋の設置	※	※	※	※	※	
	3. 設備機器類の取付け用下地補強	※	※	※	※	※	※	8. 同上用連動制御器、感知器の製作・設置及び電気配管配線工事	※						8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置	※					
								9. 電動式排煙窓の開放装置の製作・設置及び二次側電気配管配線工事	※						9. 同上化粧蓋の仕上	※					
								10. 同上一次側電気配管配線工事		※					10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ	※	※				
3 躯体貫通	1. 地中梁の連通管、通気管及び人孔の製作、設置及び開口補強	※						11. 電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側電気配管配線工事	※						11. 同上マンホール蓋及びタラップの設置		※				
	2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	※						12. 同上一次側電気配管配線工事		※					12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く）		※				
	3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強	※						13. 電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側電気配管配線工事	※						13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置		※				
	4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置	※	※	※	※	※	※	14. 同上各種減水警報、液面電極棒取付け			※				14. 湧水槽、蓄熱槽等液面電極取付け座の設置	※				※	
	5. 同上開口補強	※						15. 同上電気配管配線工事			※				15. 同上各種減水警報、液面電極棒取付け	※					
4 躯体以外の貫通・開口	6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置	※	※	※	※	※	※	1. 屋内、敷地内雨水排水工事（側溝等への放流を含む）	※						16. 同上電気配管配線工事	※					
	7. 同上開口補強	※						2. 敷地内汚水、雑排水工事		※											
	8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※	3. 屋内汚水、雑排水工事		※	※										
	9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※	4. 下水道本管への接続（汚水・雑排水（雨水を除く））		※											
								5. 玄関マット等の排水管	※												
5 点検口・ガラリ	1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む）	※						1. 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置	※	※					1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事	※					
	2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む）	※						2. 同上給排水管及び排水金物の接続		※					2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ	※					
	3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口	※	※	※	※	※	※	3. 同上フードへのダクト接続			※				3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事		※				
	4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※	4. 洗面化粧台の製作及び設置	※						4. 自家発電運転用給排水設備工事		※				
	5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※						5. 同上給排水管接続		※					5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事		※	※	※	※	
6 躯体以外の貫通・開口	6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※						6. 洗面化粧台の製作及び設置	※						6. 自動制御などの現場盤への電源接続	※					
	7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口	※						7. 同上陶製洗面器の設置（一体型を除く）		※					7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事	※					
	8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※	7. ユニットバス・ユニットシャワー類の設置	※												
	9. ユニットバスの換気扇の開口（メーカー規格外の場合）	※						8. 同上給排水管接続		※					1. 一般換気扇（壁付型を含む）、全熱交換器の設置			※			
	1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	※						9. 同上給排水管接続		※					2. 同上用の取付け枠の製作及び設置		※				
	2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置	※		※				10. 同上一次側電気配管配線		※					3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む）		※				
	3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置			※				11. オストメイト対応トイレバック（既製品）（汚物流し・シャワー・電気温水器・ライニング含む）	※						4. ユニットバスの換気扇の設置			※			
	4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置	※		※				12. 同上給排水管接続		※					5. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	5. 各室建具ガラリの製作及び設置	※						13. 同上一次側電気配管配線		※					6. 空調機器のスイッチの設置			※			
								14. 電気湯沸器、電気温水器、電磁ヒーターの設置		※					7. 同上二次側電気配管工事		※				
								15. 同上一次側電気配管配線		※					8. 同上二次側電気配管工事		※				
								16. 既製化粧鏡の設置	※						9. 同上一次側電気配管配線工事		※				
							17. 特注化粧鏡の設置	※						10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置			※				
							18. 大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置		※					11. 同上一次側電気配管配線工事		※					
							19. 手すり	※													
							20. ベビーシート、ベビーチェア、介助用ベッド	※						1. 消火栓ボックスの設置		※					
							21. ペーパーホルダー		※					2. 同上起動押印、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事		※					
							22. 洗濯機パン		※					3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事		※					
							23. 同上給排水管接続		※					4. 同上一次側電気配管配線工事		※					
							24. 洗面器・衛生陶器の設置及び給排水管接続		※					5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置		※					
														6. 同上一次側電気配管配線工事		※					
														7. ガス漏れ警報設備		※			※		

協同組合
広島県東部設計センター
〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一般建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
2024年1月
代表理事
本田 哲也

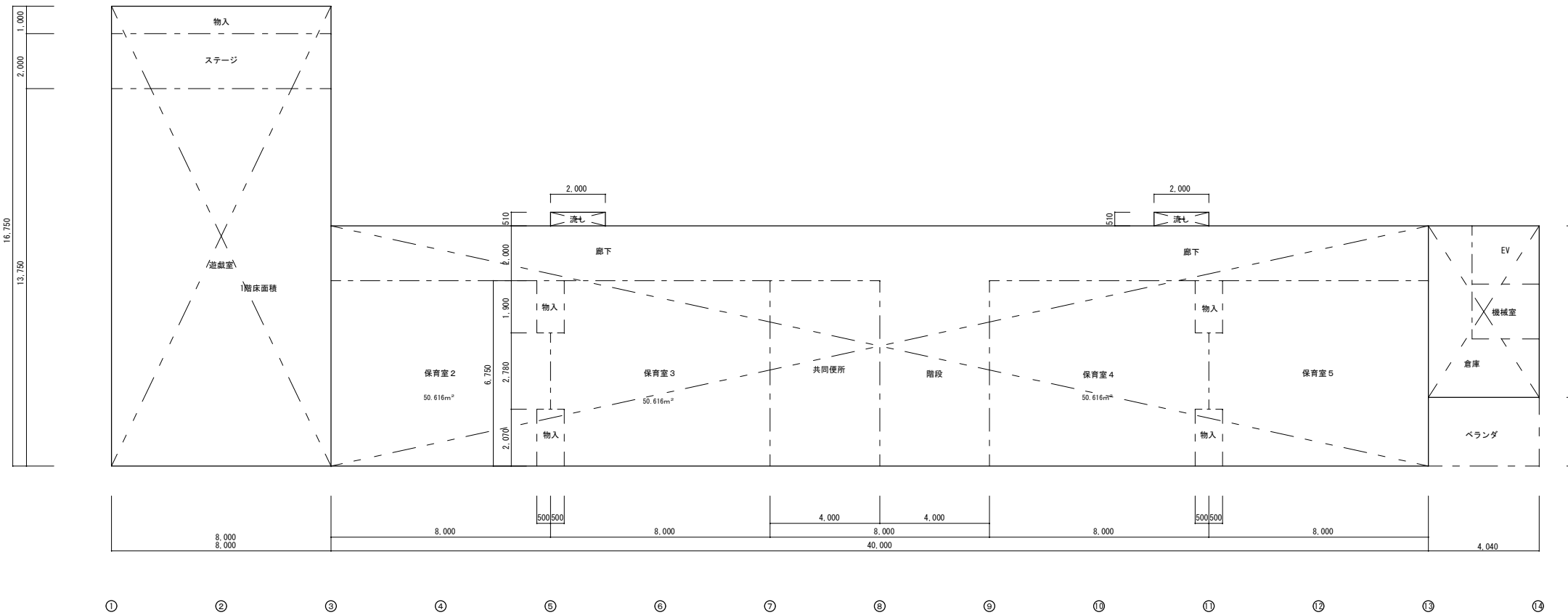


福山市建設局建築部営繕課
2024年1月

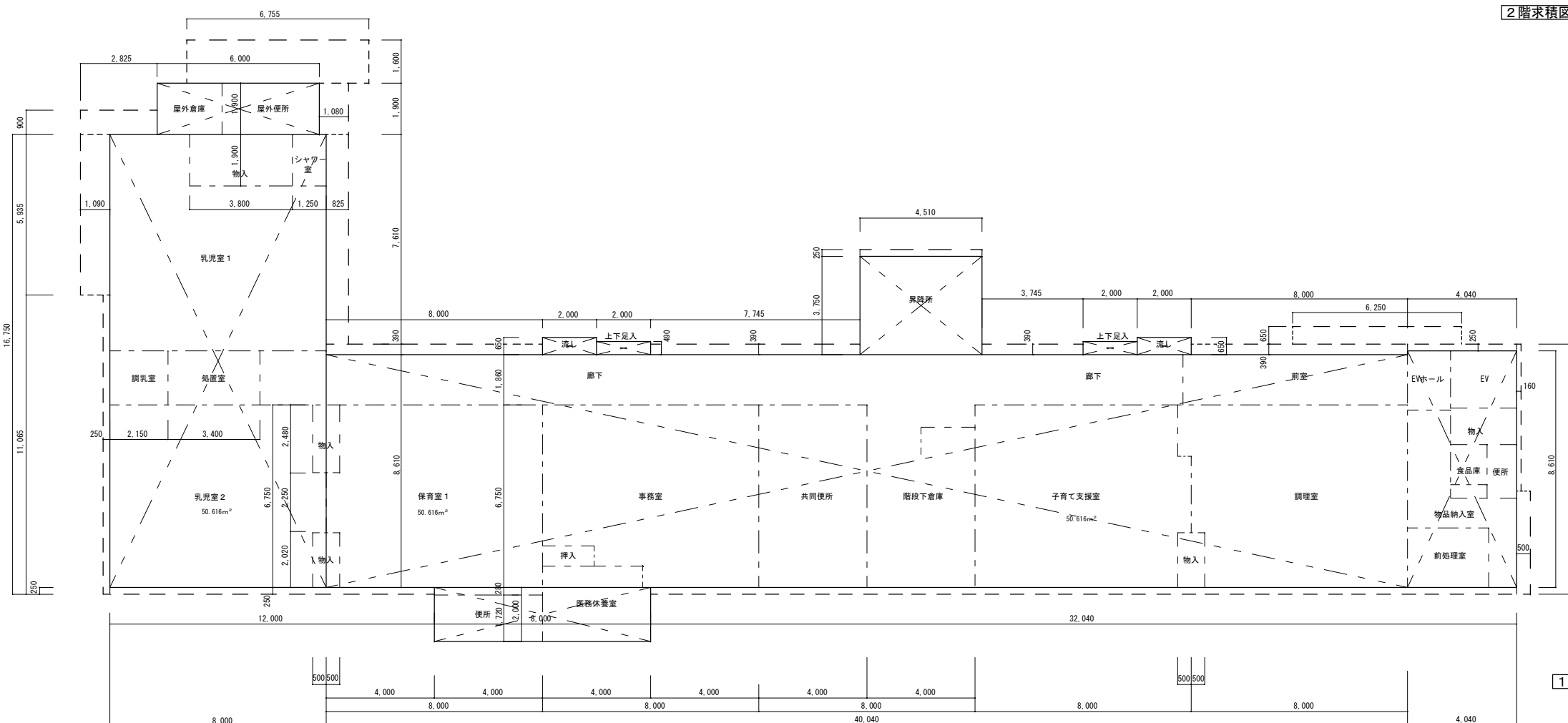
工事名称
福山市立新市保育所園舎改修工事
図面名称
工事区分表
A1-100%
A2-70.7%
A3-50%
9/A

Table with 12 columns: 部位, 改修, 仕上, 部位, 改修, 仕上, 部位, 改修, 仕上, 部位, 改修, 仕上. It details exterior renovation work for various parts like roof, walls, and windows.

Main table with 12 columns: 室名, 改修, 床, 巾木, 壁, 表示名札等, 天井, CH, 経緯・カーテン・タタミ及び避難, 備考, 室名札設置. It details interior renovation work for rooms like classrooms, nurseries, and offices.



2階床面積図 1:200



1階床面積図 1:200

(参考)

2階床面積計算式		
8.000 X 16.750	=	134.000
40.000 X 8.750	=	350.000
4.040 X 6.250	=	25.250
2.000 X 0.51 X 2	=	2.040
計		511.290 m ²

(参考)

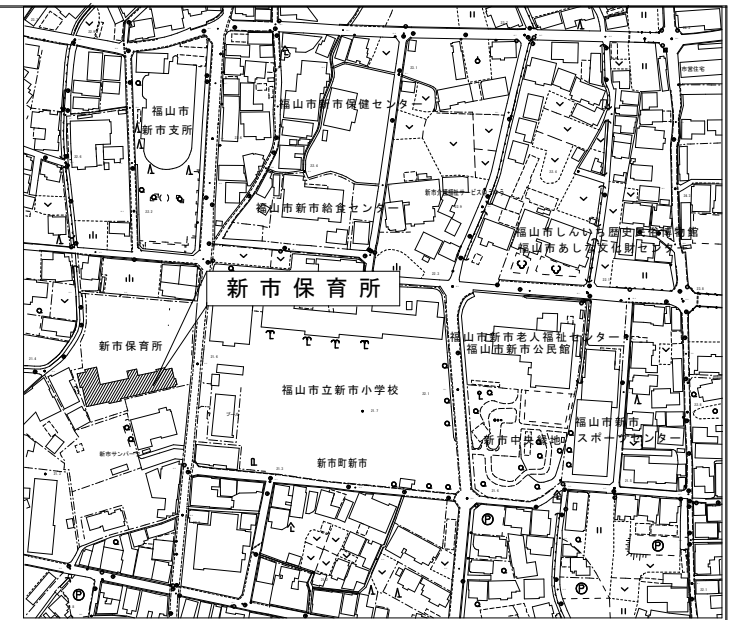
建築面積計算式		
1階床面積	=	570.954
6.755 X 1.600	=	10.808
2.850 X 0.900	=	2.565
1.090 X 5.935	≒	6.469
0.250 X 11.065	≒	2.766
0.250 X 12.000	=	3.000
0.250 X 32.040	=	8.010
0.500 X 3.185	≒	1.593
0.160 X 5.435	≒	0.870
0.250 X 4.510	≒	1.128
0.390 X 8.000	=	3.120
0.390 X 7.745	≒	3.021
0.390 X 7.745	≒	3.021
0.250 X 4.040	=	1.010
0.650 X 6.250	=	4.062
0.390 X 8.000	=	3.120
0.825 X 7.610	≒	6.278
1.080 X 1.900	=	2.052
計		630.410 m ²

(参考)

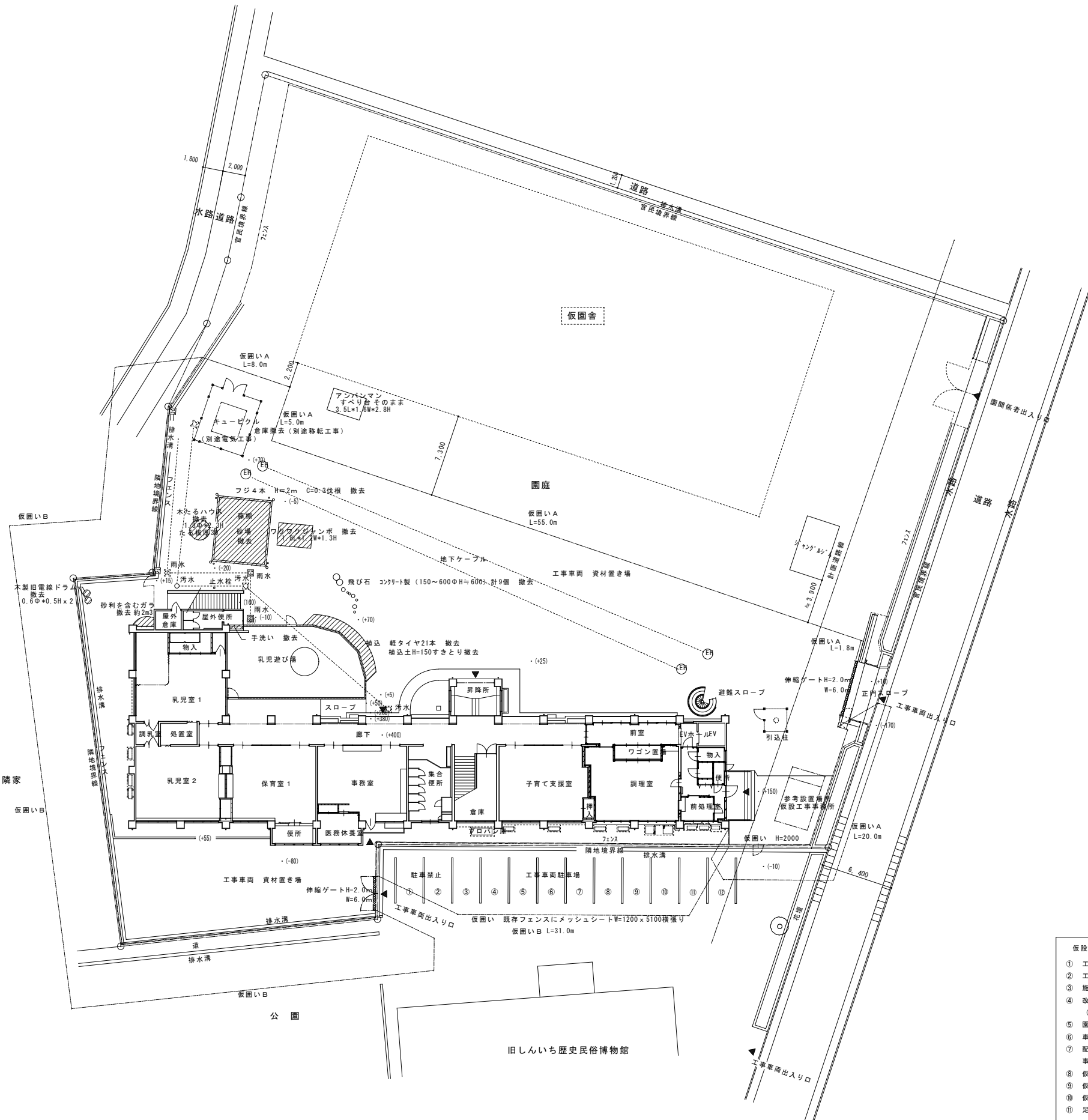
延べ面積計算式		
2階		511.290
1階		570.954
計		1,082.244 m ²

(参考)

1階床面積計算式		
6.000 X 1.900	=	11.400
8.000 X 16.750	=	134.000
40.040 X 8.610	≒	344.744
4.000 X 8.750	=	35.000
8.000 X 2.000	=	16.000
4.510 X 3.750	=	25.250
2.000 X 0.65 X 2	=	2.600
2.000 X 0.49 X 2	=	1.960
計		570.954 m ²



工事場所 新市保育所 福山市立新市町大字新市867番地5
敷地案内図



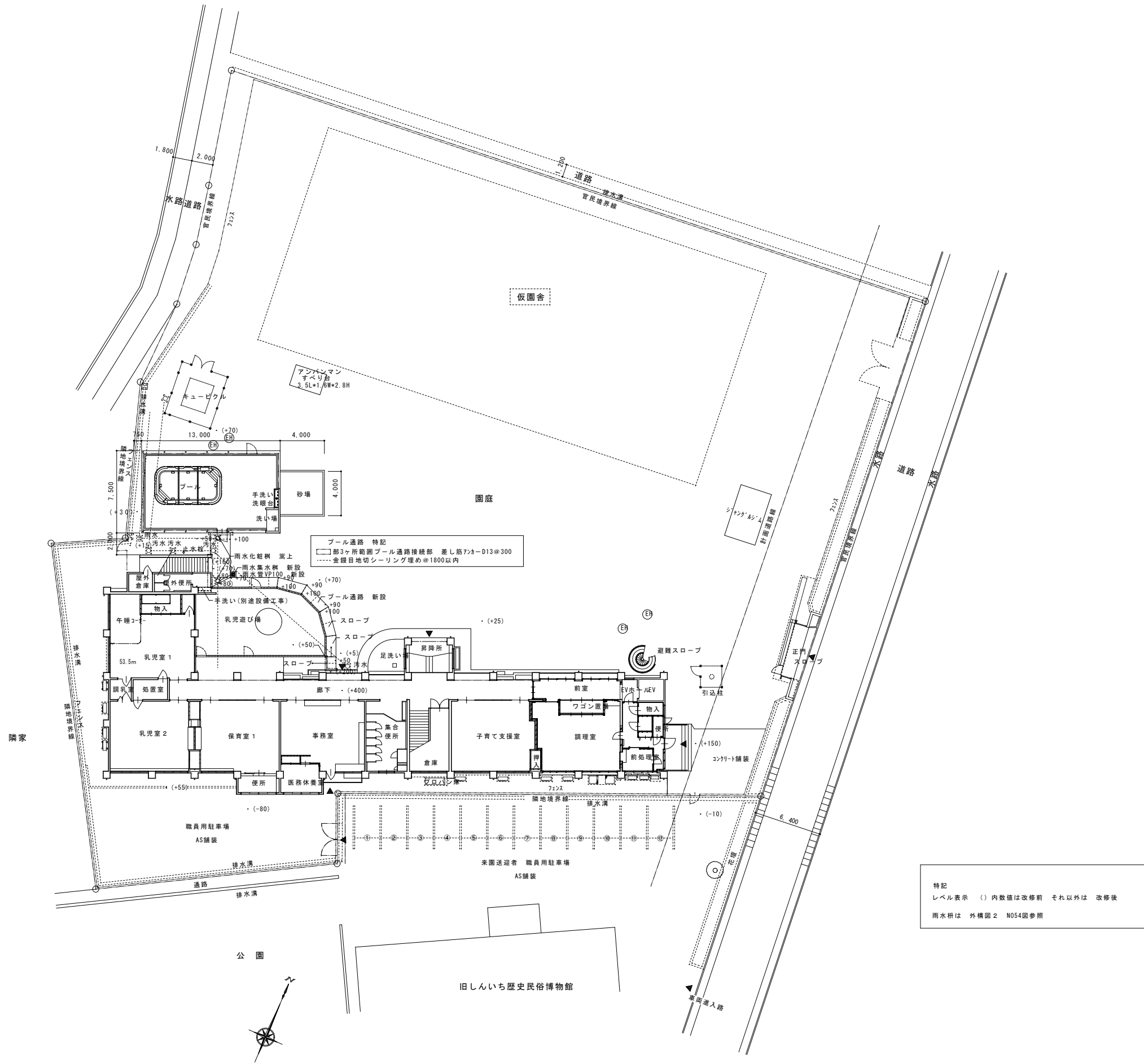
仮囲い
仮囲いA : 成形鋼板H=2.0m L=90.0m
仮囲いB : 既存フェンスにメッシュシートW=1200x5100横張り L=82.6m

特記
レベル表示 ()内数値は改修前 それ以外は改修後

- 仮設工事特記仕様書
- ① 工事車両出入口・主要機器・資材搬入口は正門とする。
 - ② 工事車両出入口：既存門扉部を利用し、通行時のみ開放する。
 - ③ 施工が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
 - ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
 - ⑤ 園児や保護者の移動が集中する時間帯(登所退所時等)は重機、資材の搬入を避ける。
 - ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
 - ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
 - ⑧ 仮設計画をたてる前に、保育所関係者及び監督員と十分協議する。
 - ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
 - ⑩ 仮設足場(先行足場、900枠、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
 - ⑪ 足場解体後は、現状復旧すること。

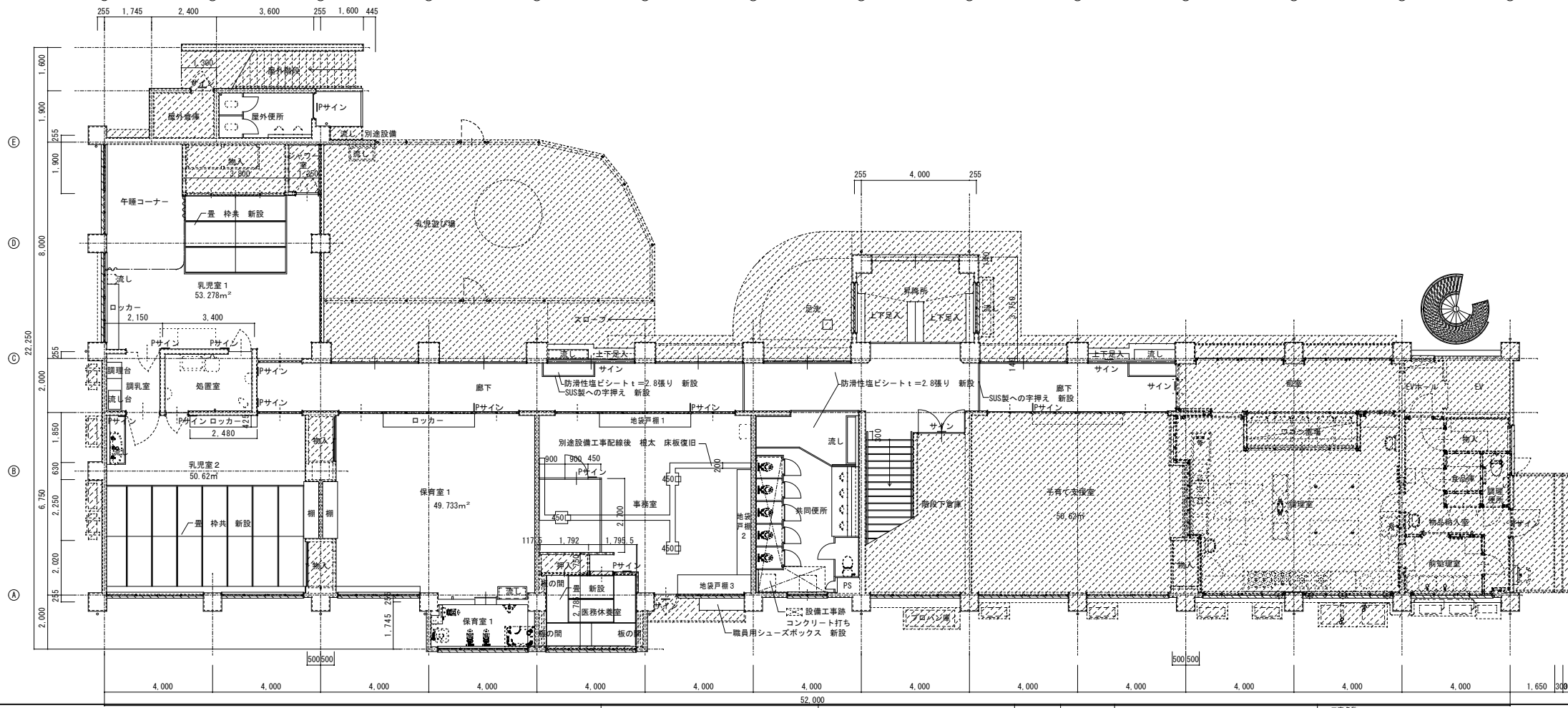
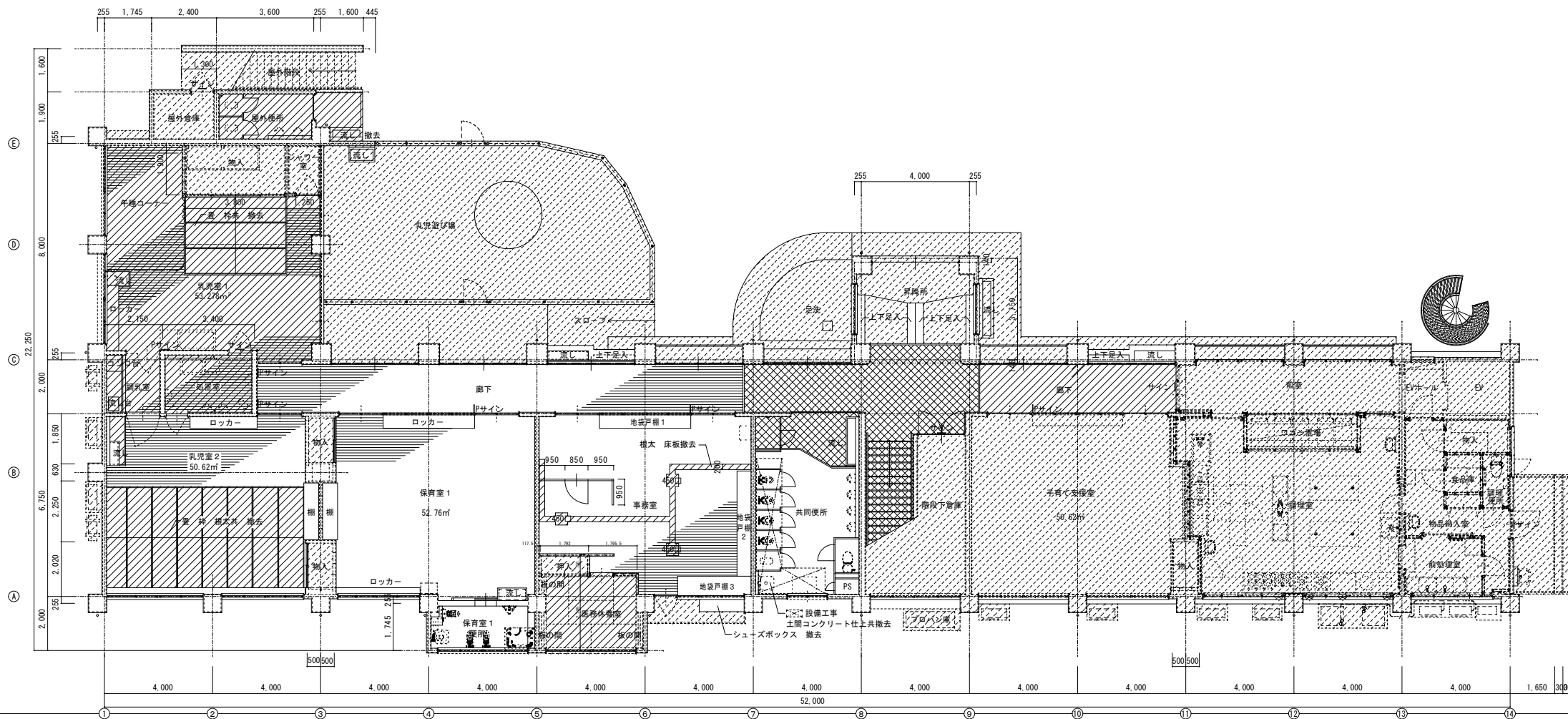
配置図(改修前) 敷地面積 4,004.441m²
仮設計画図

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 敷地案内図・配置、仮設図 (改修前)	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50% 12 / A	縮尺 1/200
--	--	---	-------------------------------------	-----------------	-------------------------------	---	---	-------------



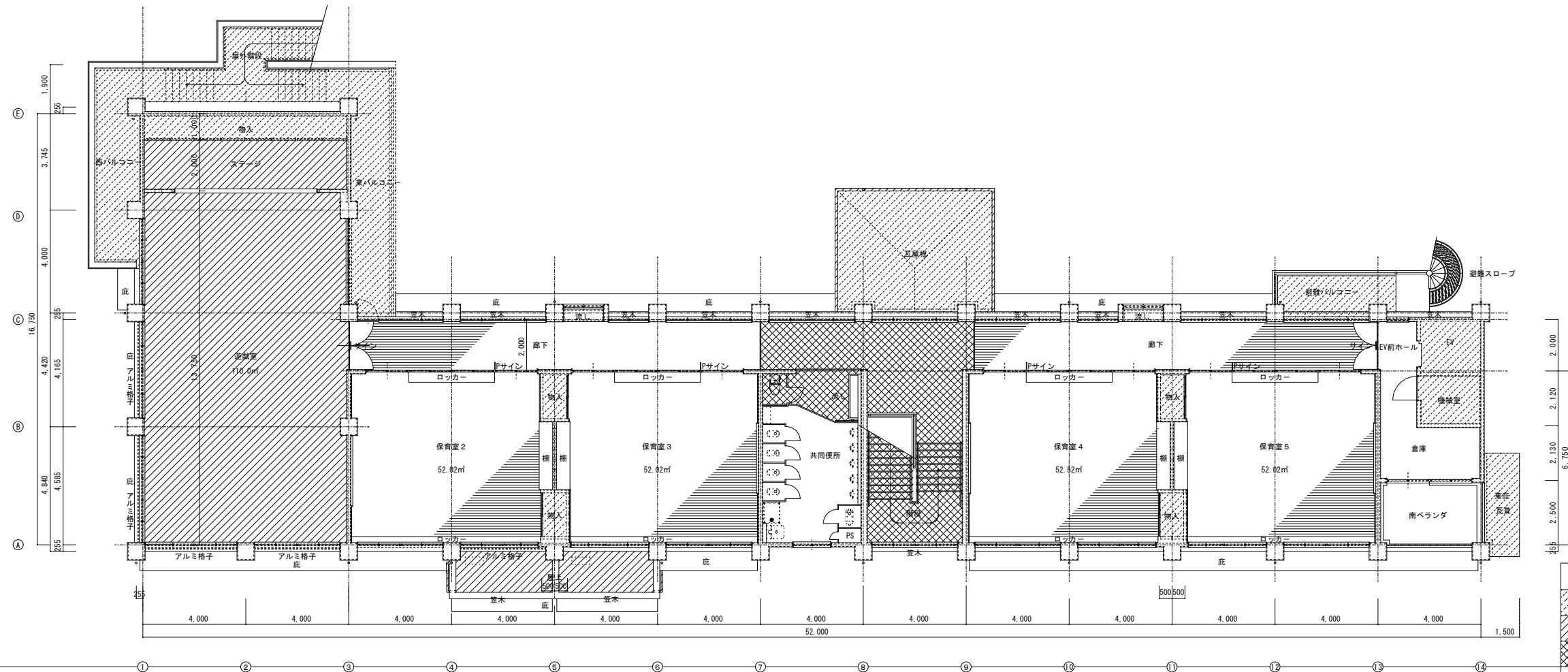
配置図 (改修後) 敷地面積 4,004.441m²

	協同組合 広島県東部設計センター 〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL 0841-921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 作成 測山 正	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 配置図 (改修後)	縮尺 1/200	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50% 13 / A



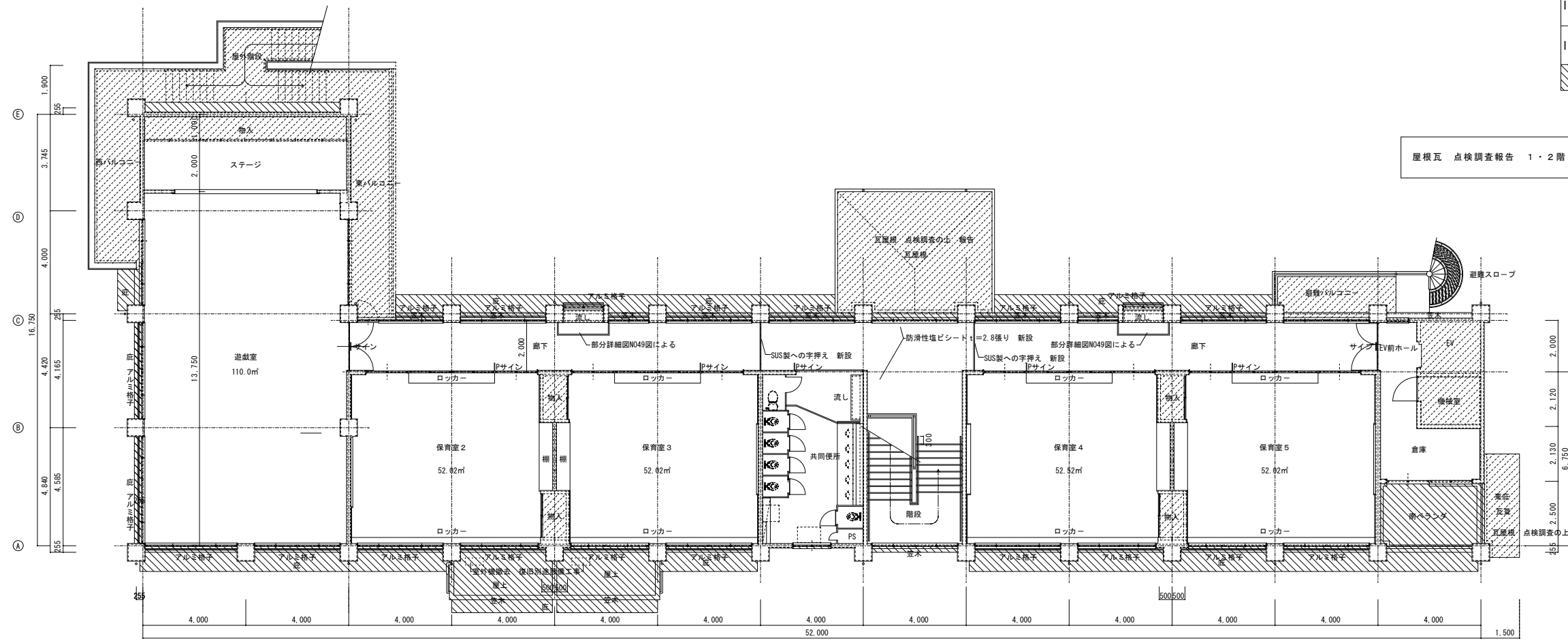
凡例	工事区分	ヶ所
[Hatched Pattern]	工事対象外部	
[Diagonal Lines]	工事撤去部	
[Cross-hatched]	工事撤去部(アスベスト含有)	
I Pサイン	前	6
	後	3
I サイン	前	4
	後	6
[Diagonal Lines]	遮断防水仕上 水切 改修	

前
後
改修

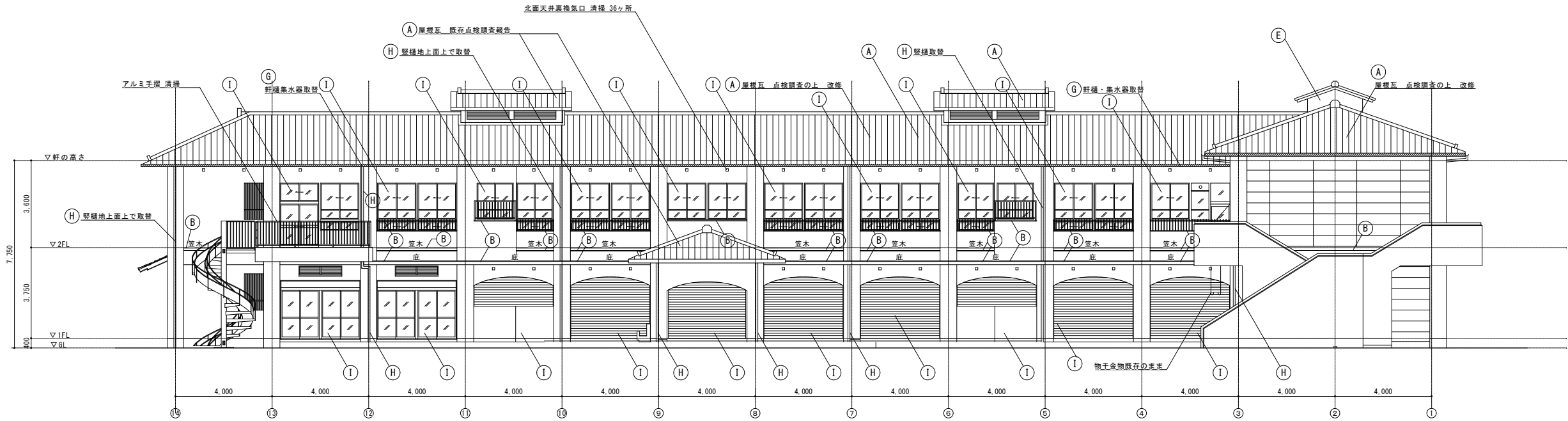


凡例	工事区分	ヶ所
[Hatched pattern]	工事対象外部	
[Cross-hatched pattern]	工事撤去部	
[Diagonal hatched pattern]	工事撤去部(アスベスト含有)	
Pサイン	前	4
	後	5
	撤去	0
サイン	前	2
	後	2
[Diagonal hatched pattern]	遮断防水仕上 庇 窓木 水切 屋上 ベランダ改修	

屋根瓦 点検調査報告 1・2階・越屋根 総面積 1,166m²



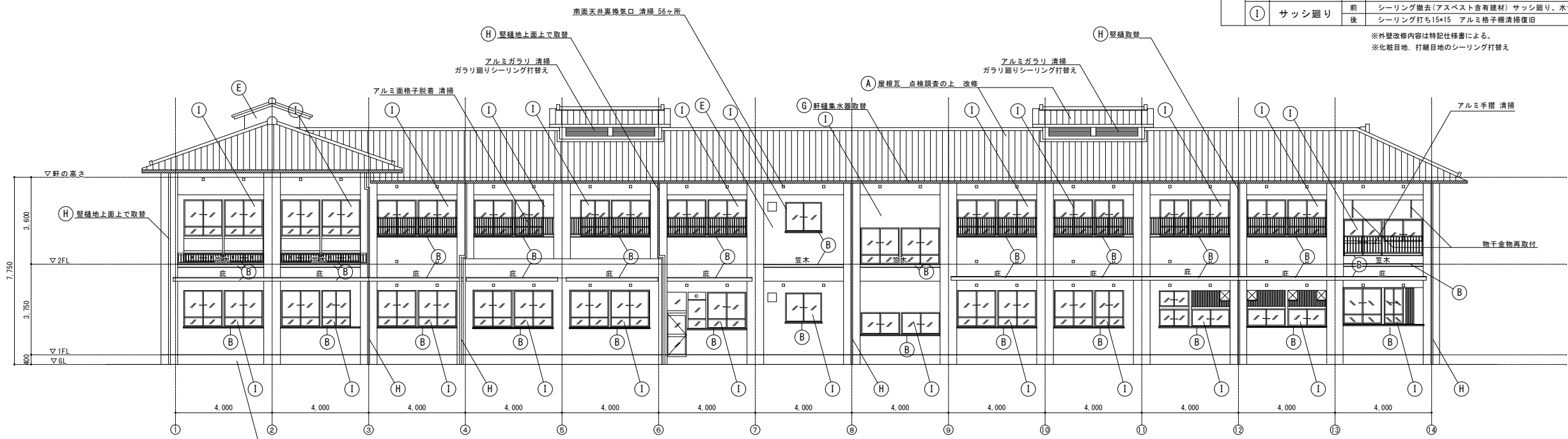
前後
改修



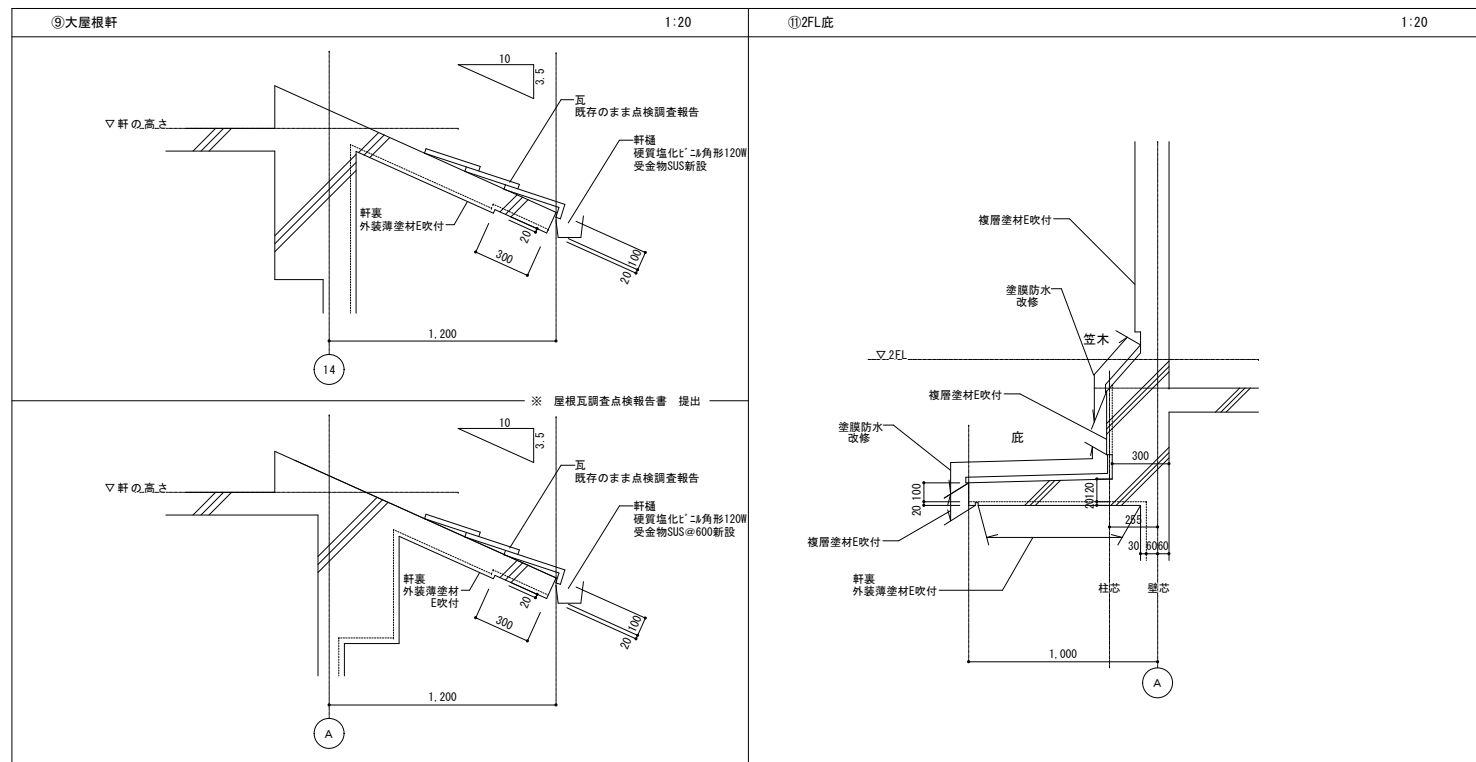
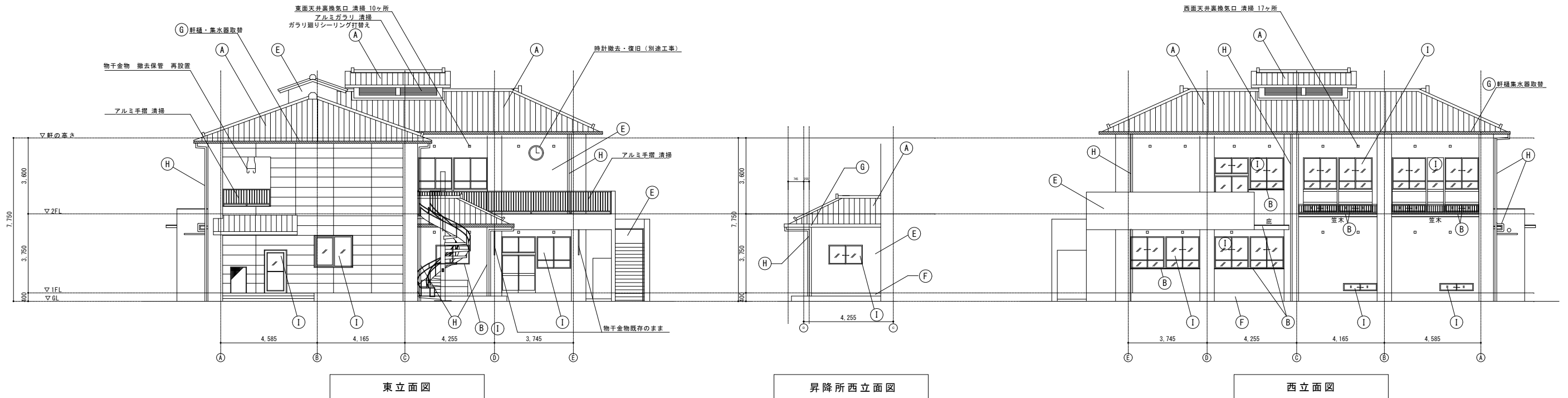
北立面図

部位	改修	仕上	
		前	後
(A) 屋根	前	和形釉薬瓦葺き	
	後	屋根瓦 点検調査報告図書提出	
(B) 庇・笠木・水切	前	北面 塗装防水 南面 防水モルタル塗り	
	後	高圧洗浄 塗膜防水仕上	
(C) 破風鼻隠	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切継ぎ補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付	
(D) 軒裏	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切継ぎ補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄塗材E吹付	
(E) 外壁・越屋根妻壁	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切継ぎ補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付	
(F) 巾木	前	モルタル金コテ仕上H=400	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査の上 改修	
(G) 軒樋	前	オリエンタルメタル28番150W*100H 受金物FB*6*38*600 撤去処分	
	後	硬質塩化ビニル角形120W 受金物SUS製φ600 新設	
(H) 縦樋	前	硬質エンビパイプ VP75φ 編み金物鋼製φ1200 撤去処分	
	後	カラー硬質塩化ビニル VP75φ 編み金物SUS製φ1200 新設	
(I) サッシ廻り	前	シーリング撤去(アスベスト含有建材) サッシ廻り、水切廻り、シャッター3方 アルミ格子撤去保管	
	後	シーリング打ち15*15 アルミ格子撤去清掃復旧	

※外壁改修内容は特記仕様による。
※化粧目地、打継目地のシーリング打替え



南立面図

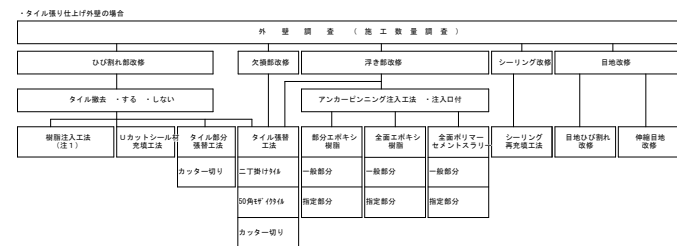
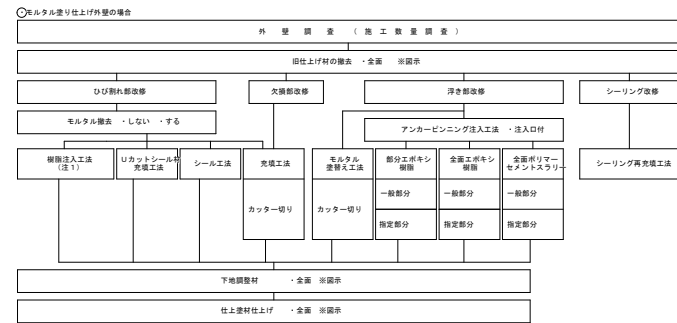
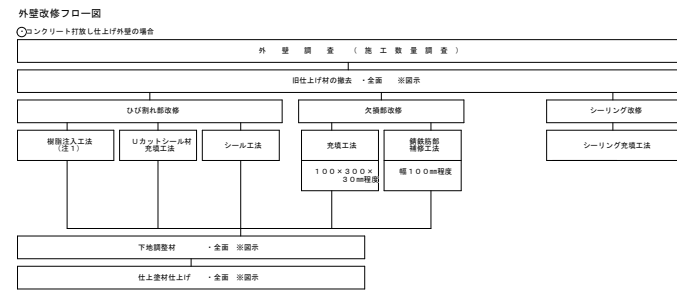


部位	改修	仕上	
		前	後
A 屋根	前	和形軸瓦葺き	
	後	屋根瓦 点検調査報告図書提出	
B 庇・笠木・水切	前	北面 塗膜防水 南面 防水モルタル塗り	
	後	高圧洗浄 塗膜防水仕上	
C 破風	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付	
D 軒裏	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄塗材E吹付	
E 外壁・越屋根妻壁	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付	
F 巾木	前	モルタル金コ字仕上H=400	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査の上 改修	
G 軒樋	前	オリエンタルメタル28番150W*100H 受金物FB+6*38@600 撤去処分	
	後	硬質塩化ビニル角形120W 受金物SUS製@600 新設	
H 壁樋	前	硬質エンビパイプ VP75φ 覆み金物鋼製@1200 撤去処分	
	後	カラー硬質塩化ビニル VP75φ 覆み金物SUS製@1200 新設	
I サッシ廻り	前	シーリング撤去(アスベスト含有建材) サッシ廻り、水切廻り、シャッター3方 アルミ格子欄撤去保管	
	後	シーリング打ち15*15 アルミ格子欄清掃復旧	

※外壁改修内容は特記仕様による。
※化粧目地、打離目地のシーリング打替え

外壁改修工事特記仕様書

Table with 2 columns: 仕様 (Specifications) and 内容 (Content). It details construction methods for exterior wall repair, including material selection, application techniques for various finishes, and safety considerations.



(注) 補修注入工法の工法の種類を示す

Main technical specification table with columns for Name (名称), Code (記号・仕様), Before/After (改修前/改修後), and Work (工程). It provides detailed diagrams and descriptions for various repair methods like surface sanding, joint filling, and rust treatment.

協同組合 広島県東部設計センター 千720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL 084(9)921-8035

一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 (株) 渋谷設計 代表理事 本田 哲也

担当事務所 設計年月 (株) 渋谷設計 2024年1月 作図 渋谷 和正 高橋 啓之



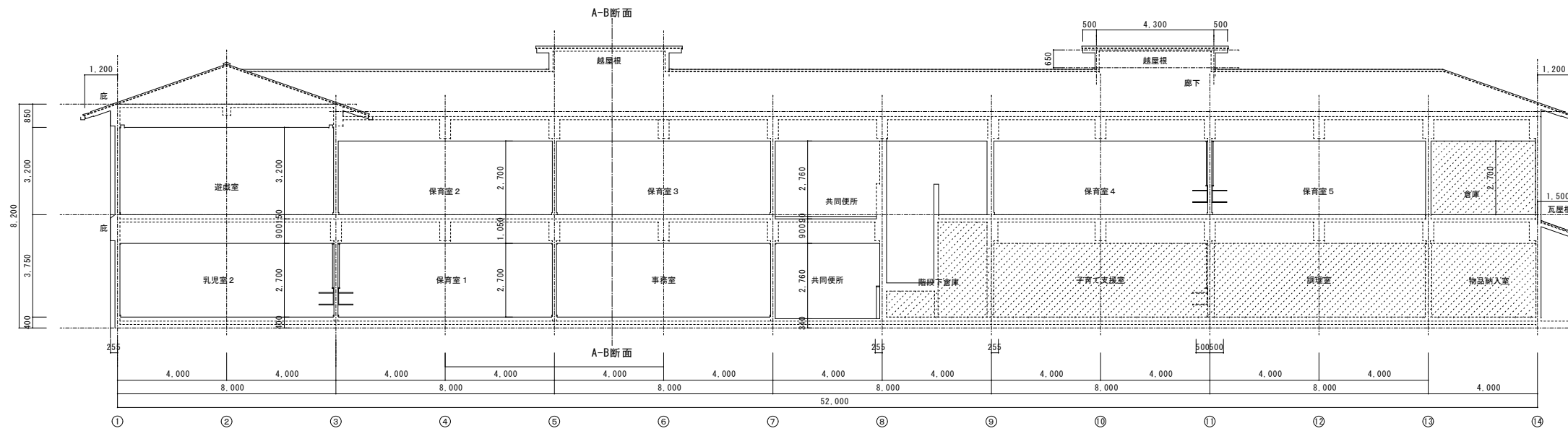
福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月

工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 外壁改修工事特記仕様書

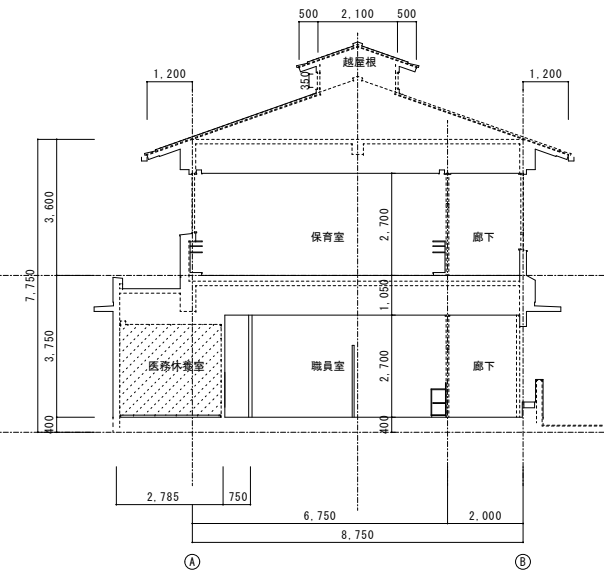
縮尺 1/50・1/20

A1-100% A2-70.7% A3-50% 18/A

凡例
工事対象外



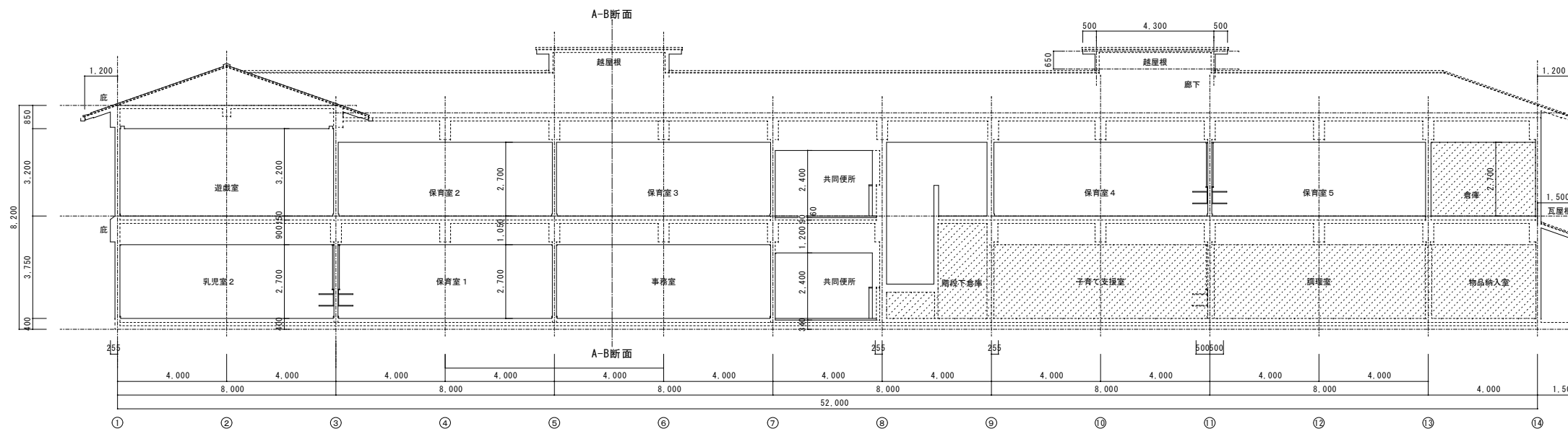
1-14断面図



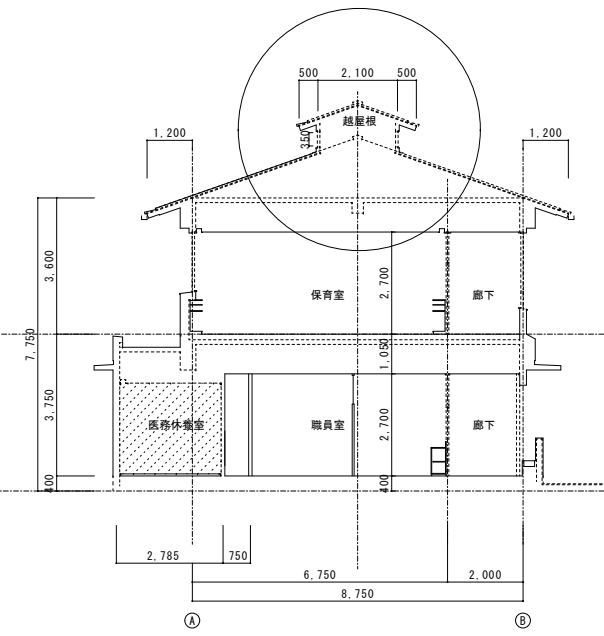
A-B断面図

前後
改修


※ 屋根瓦部 点検調査報告図書作成提出

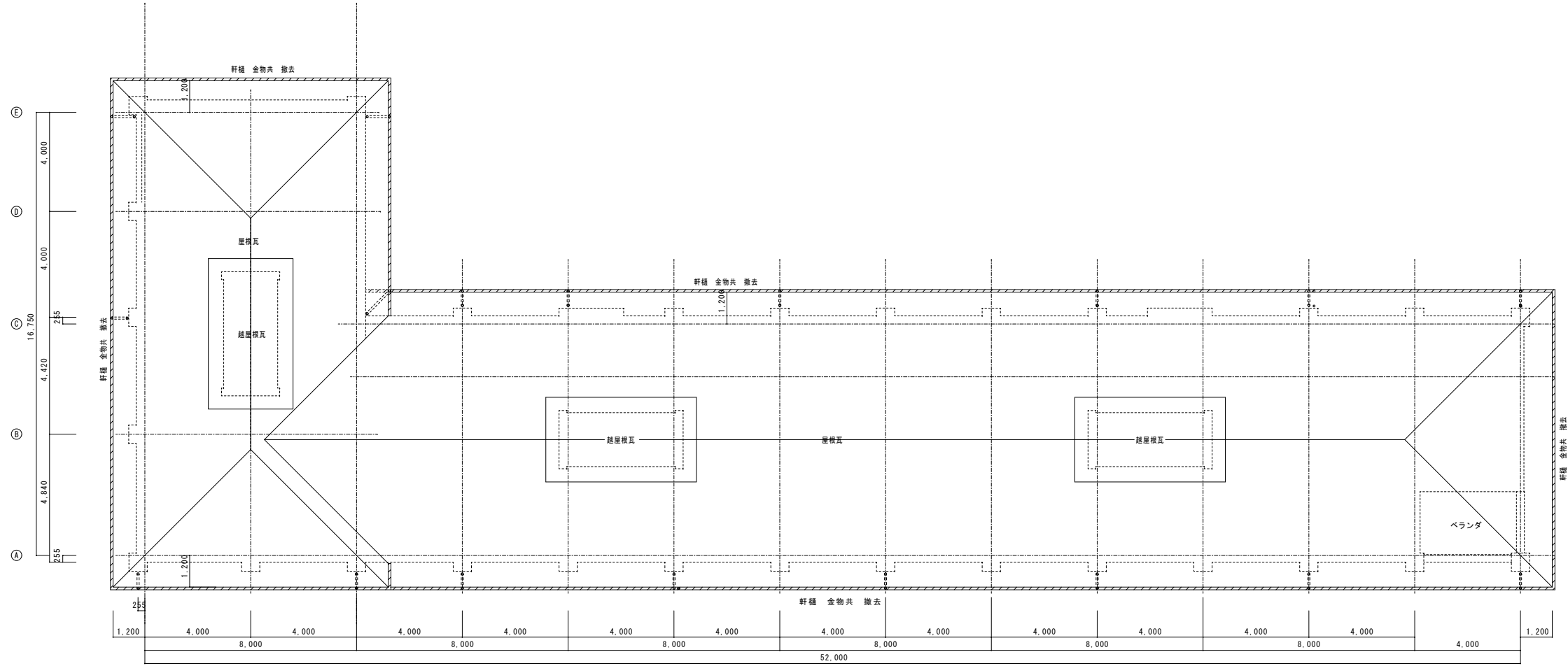


1-14断面図

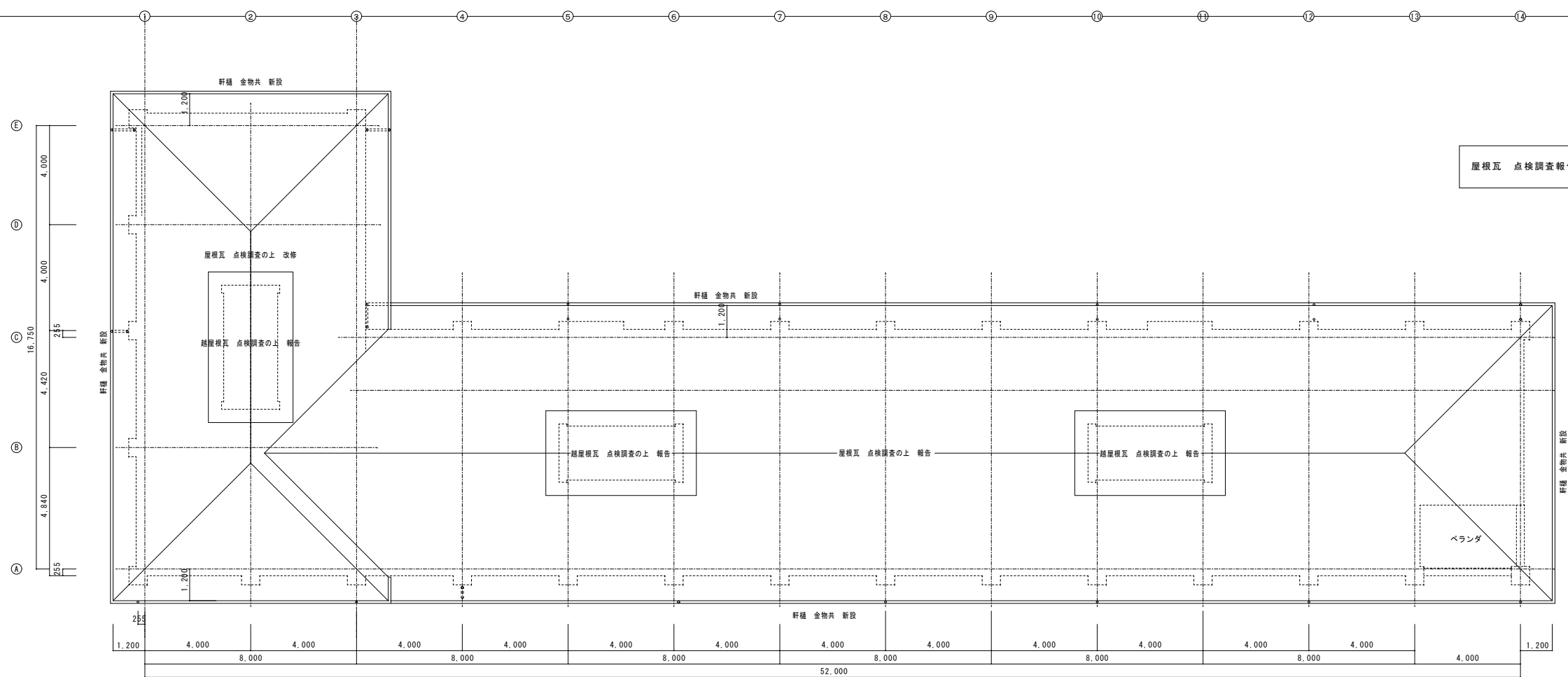


A-B断面図

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 作図 測山 正	設計年月 2024年1月 代表理事 高橋 啓之		福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 断面図(改修前・後)	縮尺 1/200	図面No. A1-100% A2-70.7% A3-50% 19 / A
---	--	--	----------------------------------	----------------------------------	---	-------------------------------	--	-------------	---



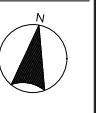
1階屋根伏図



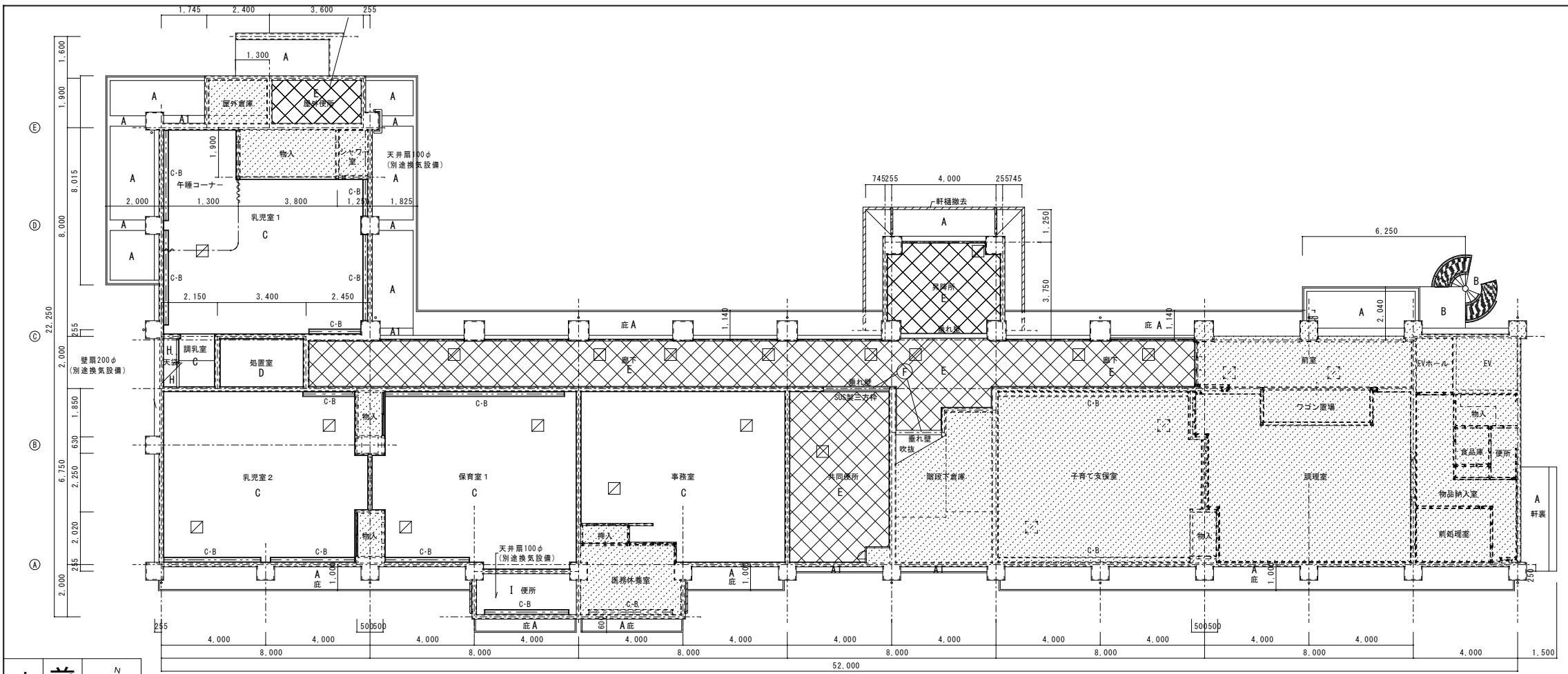
2階屋根伏図

屋根瓦 点検調査報告 1・2階・越屋根 総面積 794m²

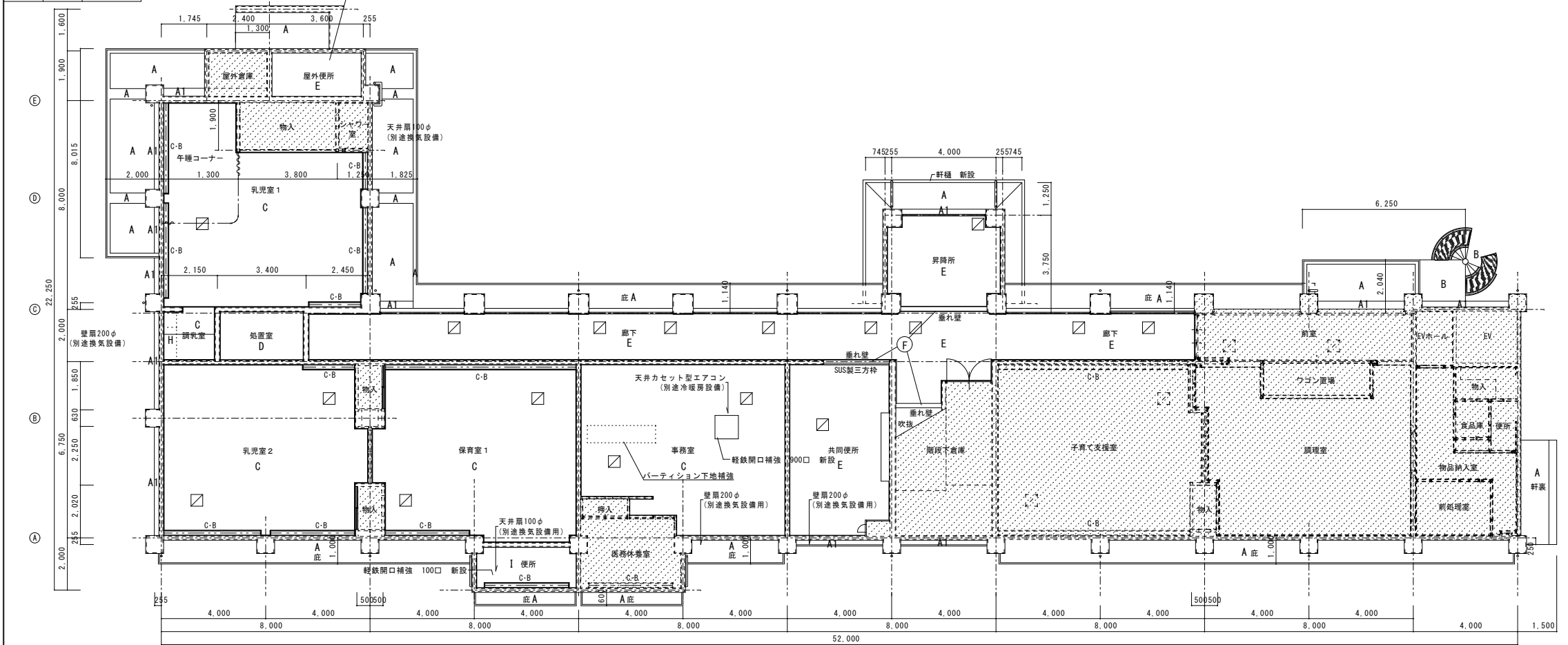
改修前後



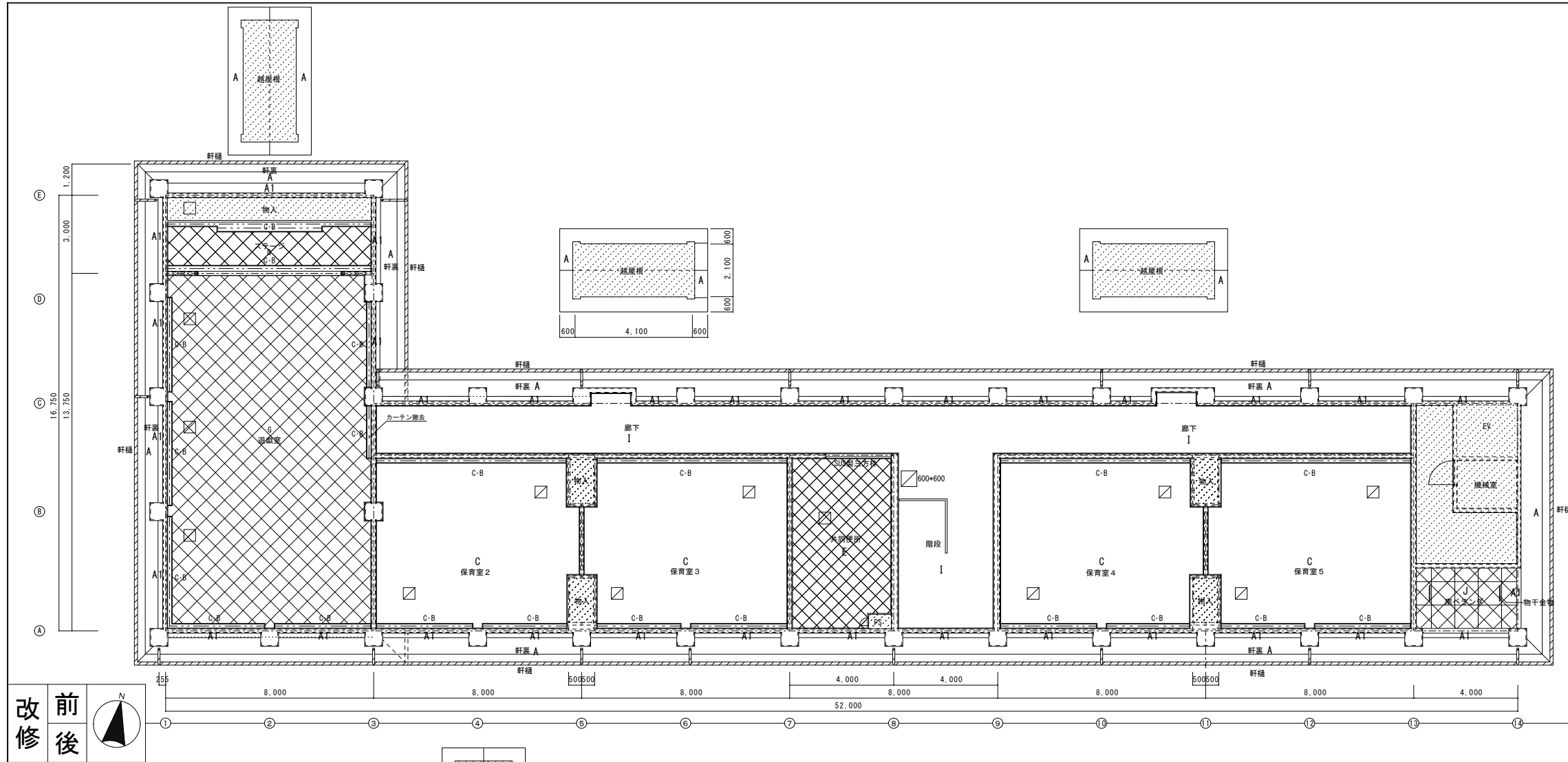
協同組合 広島県東部設計センター 〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第96537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 作図 測山 正 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 代表理事 高橋 啓之		福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 屋根伏図(改修前・後)	縮尺 1/200	図面No. A1-100% A2-70.7% A3-50% 20/A
---	--	--	---	-------------------------------	--	----------------------------	--	-------------	---



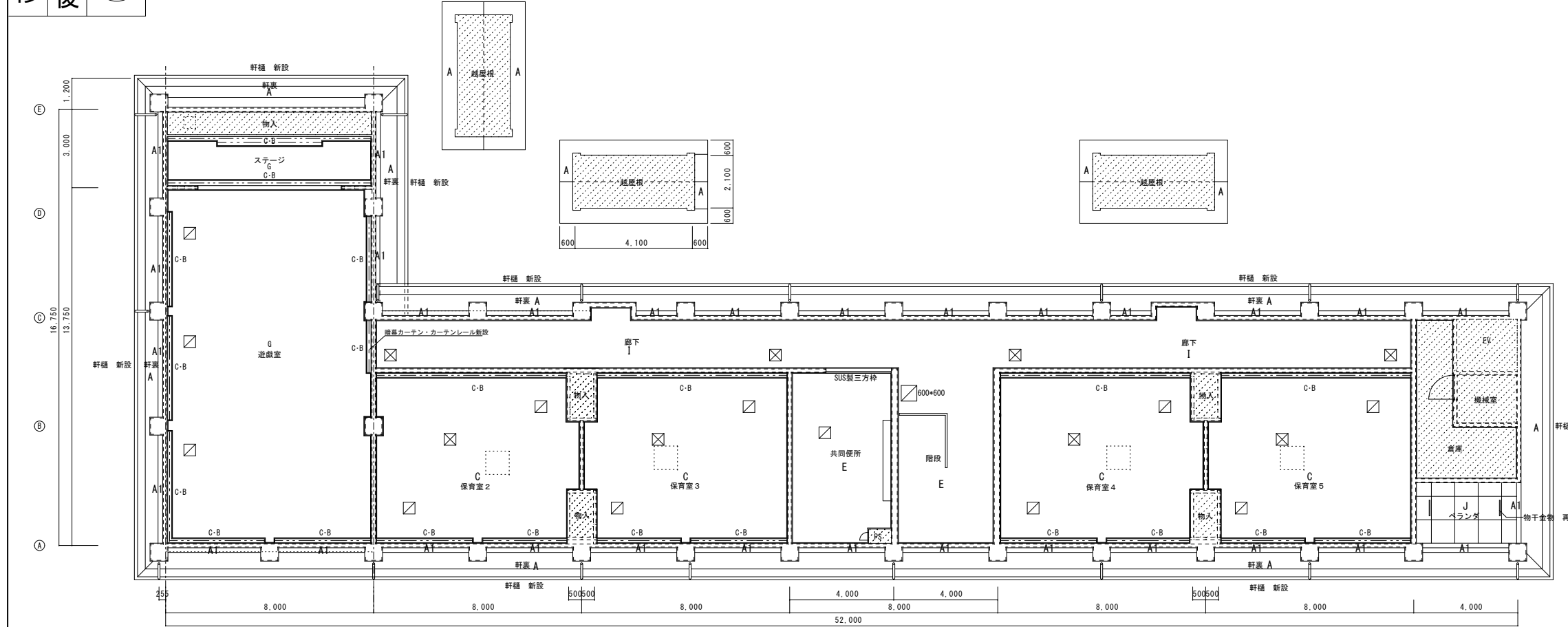
改修前後



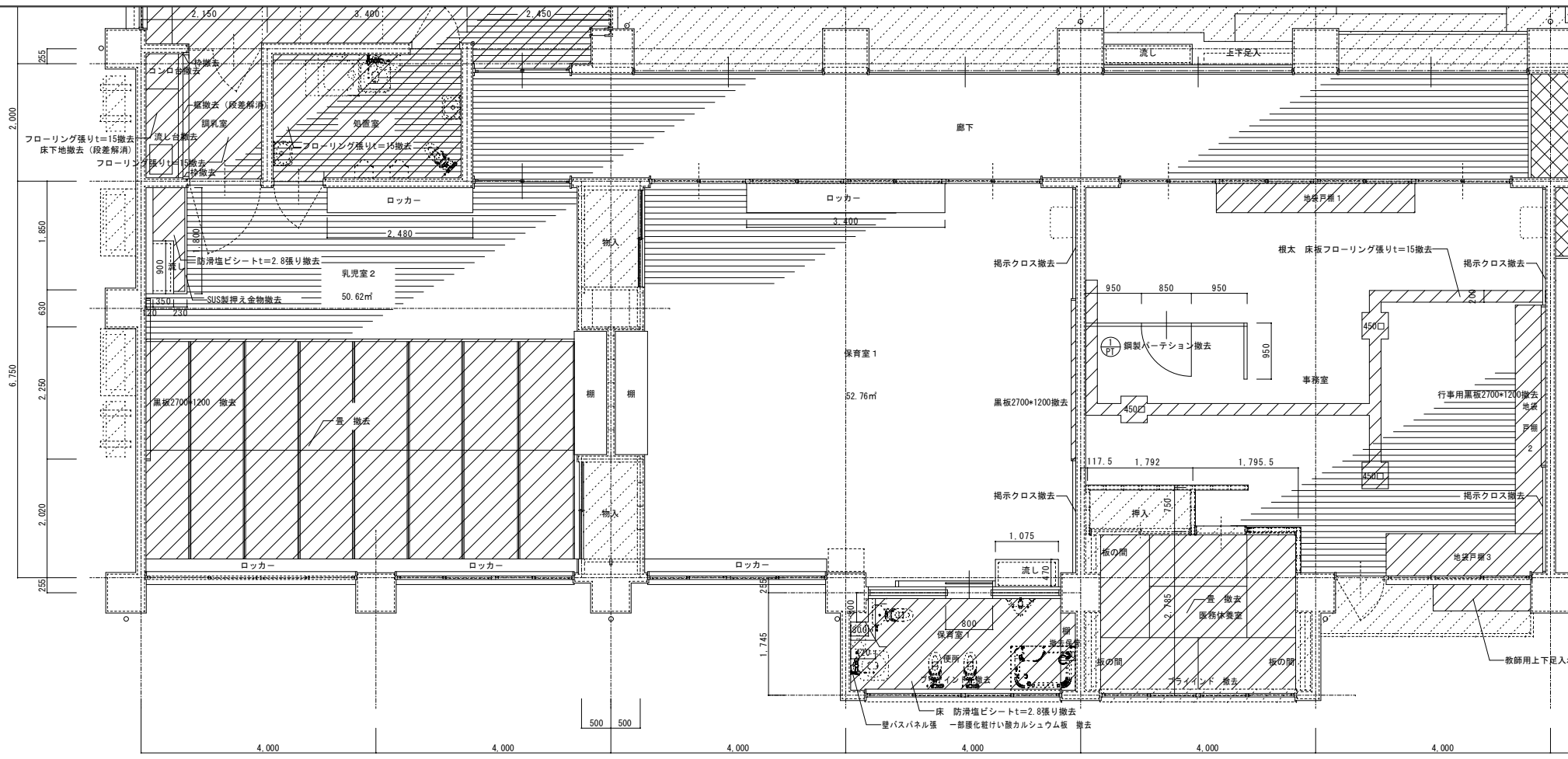
符号	改修	仕上	
A	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄付塗材E吹付け	
A1	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付	
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付け	
B	前	鉄部 OP塗り	
	後	鉄部-下地処理の上 耐候性塗料 (DP) 塗り SUS部 高圧洗浄	
C	前	化粧せつこうボード t=9.5 455x910 撤去 天井点検口 撤去	
	後	化粧せつこうボード t=9.5 455x910 新設 塩ビ廻り縁共 天井点検口 新設	
D	前	けい酸カルシウム板 t=6 Vカット突付け張り VP塗り 撤去	
	後	けい酸カルシウム板 t=6張り EP-G塗 新設 天井点検口 新設	
E	前	石綿ケイカル板 t=6張 (アスベスト含有) VP塗 撤去 天井点検口 撤去	
	後	けい酸カルシウム板 t=6 910口 張 EP-G塗 新設 天井点検口 新設	
F	前	有孔化粧石こうボードt=9 撤去 一部モルタル金コテ磨きアクリルソフト仕上	
	後	吸音用穴あきせつこうボードt=9.5 新設 垂れ壁部 複層塗材E吹付け	
G	前	せつこうボードt=9捨て張り (仕上 壁紙吸音板と一体撤去) 岩綿吸音板 t=12貼 (アスベスト含有) 撤去 天井点検口 撤去 カーテンボックス OP 塗 裏、レール共 撤去保管	
	後	せつこうボードt=9.5下地-ロックワール化粧吸音板t=12.5貼 新設 天井点検口 新設 カーテンボックス SOP 塗替 裏、レール共 再取付	
H	前	ラワン合板 t=3 せつこうボードt=9 VP塗	
	後	天井下地 化粧せつこうボード t=9.5 455x910 新設 塩ビ廻り縁共	
I	前	化粧せつこうボード t=9 455x910 撤去	
	後	けい酸カルシウム板 t=6 張 EP-G塗 新設	
撤去	アルミ製天井点検口		17ヶ所
新設	特記なき大きさ 450x450		0ヶ所
撤去	天井カセット型エアコン (別途冷暖房設備)		17ヶ所
新設	経鉄開口補強 既存のまま		1ヶ所
新設	天井カセット型エアコン (別途冷暖房設備)		1ヶ所
新設	経鉄開口補強新設 900口		1ヶ所
撤去	天井100φ (別途換気設備) ダクト ウェザーカバー 既存のまま		1ヶ所
新設	天井100φ (別途換気設備) 既存のまま		1ヶ所
新設	天井100φ (別途換気設備) ダクト ウェザーカバー 既存のまま		1ヶ所
撤去	壁面200φ (別途換気設備) ウェザーカバー 既存のまま		2ヶ所
新設	壁面200φ (別途換気設備) 既存のまま		1ヶ所
新設	壁面200φ (別途換気設備) ウェザーカバー サッシュパネル開口新設 200口		1ヶ所
C, B	前	木製 OP塗り カーテン・カーテンレール 取り外し保管	
	後	SOP塗替え カーテン・カーテンレール 再取付	
		工事対象外	



改修前後

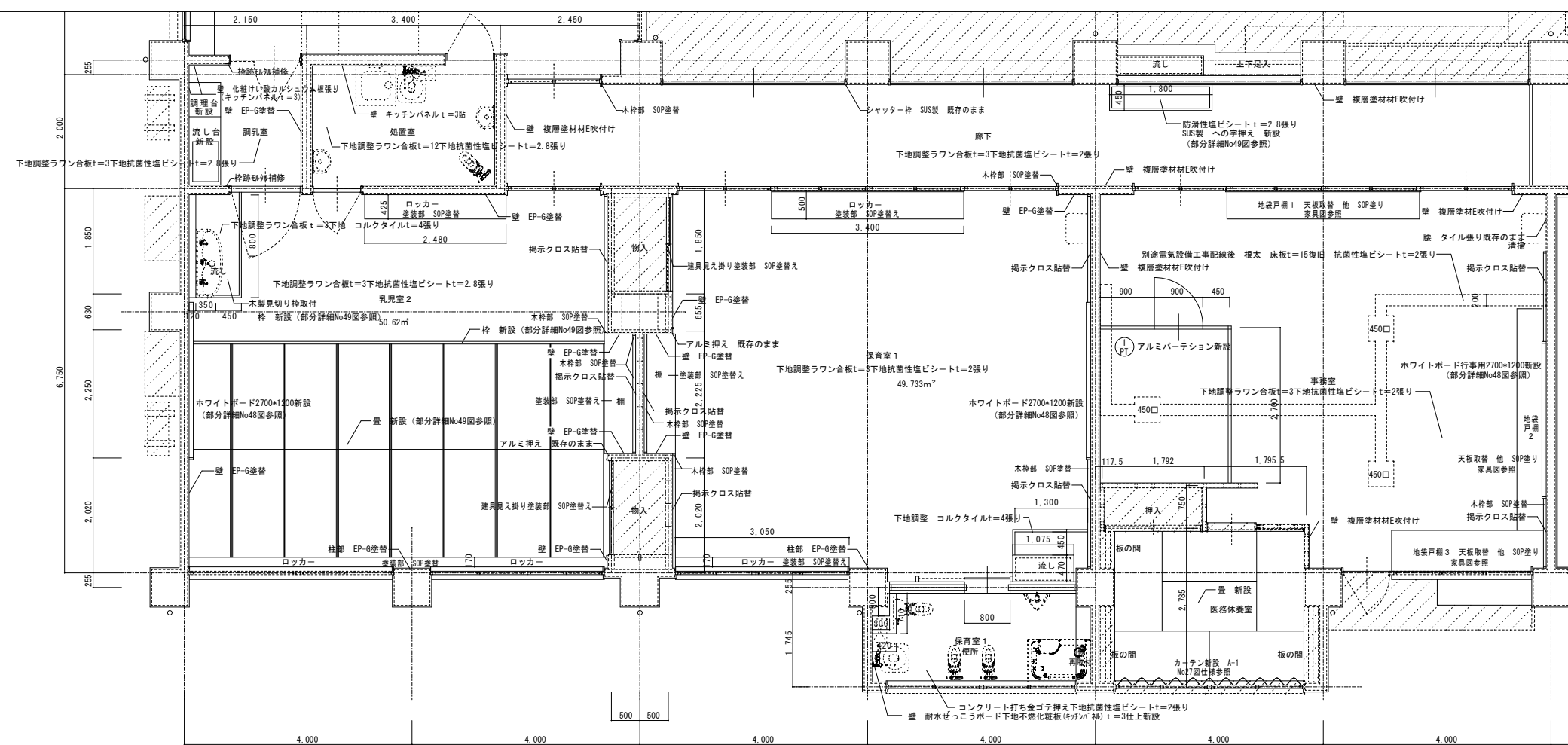


符号	改修	仕上		
A	前	合板型特コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付		
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄付塗材E吹付		
A1	前	合板型特コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付		
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付		
B	前	鉄部 OP塗り		
	後	鉄部-下地処理の上 耐錆性塗料(DP)塗り SUS部 高圧洗浄		
C	前	化粧せっこうボード t=9.5 455x910 撤去 天井点検口 撤去		
	後	化粧せっこうボード t=9.5 455x910 新設 塩ビ廻り縁共 天井点検口 新設		
D	前	けい酸カルシウム板 t=6 Vカット突付け張り VP塗り 撤去		
	後	けい酸カルシウム板 t=6張り EP-G塗 新設 天井点検口 新設		
E	前	石綿ケイカル板 t=6 910口 張(アスベスト含有) VP塗 撤去 天井点検口 撤去		
	後	化粧せっこうボード t=9.5 910口張 新設 天井点検口 新設		
F	前	モルタル金コテ磨きアクリルソフト仕上		
	後	外装用塗材E吹付け		
G	前	石こうボードt=9張張り(仕上岩綿吸音板と一体) 撤去 岩綿吸音板 t=12貼(アスベスト含有) 撤去 カーテンボックス OP 塗 幕、レール共 撤去 天井点検口 撤去		
	後	せっこうボード t=9.5張下地ロックウール化粧吸音板 t=12.5貼 新設 天井点検口 新設 カーテンボックス SOP 塗替 幕、レール共 新設		
H	前	化粧石こうボード t=9 撤去		
	後	化粧せっこうボード t=9.5 455x910 新設 塩ビ廻り縁共		
I	前	有孔化粧石こうボードt=9張り 撤去 天井点検口 撤去		
	後	吸音用穴あきせっこうボード t=9.5 新設 天井点検口 新設		
J	前	石綿ケイカル板 t=6 910口 張(アスベスト含有) VP塗 撤去 物干金物 撤去保管		
	後	けい酸カルシウム板 t=6 910口 張 目選し ジョイナー EP-G 新設 物干金物 再取付		
欄	前	軒樋 壁樋 金物共 撤去		
	後	軒樋 壁樋 金物共 新設		
撤去	前	アルミ製天井点検口	450*450	12ヶ所
	新設	特記なき大きさ	600*600	1ヶ所
新設	前	同上 軽鉄下地開口補強新設	450*450	8ヶ所
	新設	軽鉄開口補強 既存のまま		4ヶ所
撤去	前	軽鉄開口補強 既存のまま		3ヶ所
	新設	壁開口 既存のまま		1ヶ所
C・B	前	木製 OP塗 カーテン・カーテンレール取り外し保管		
	後	SOP塗替え カーテン・カーテンレール 再取付		
		工事対象外		



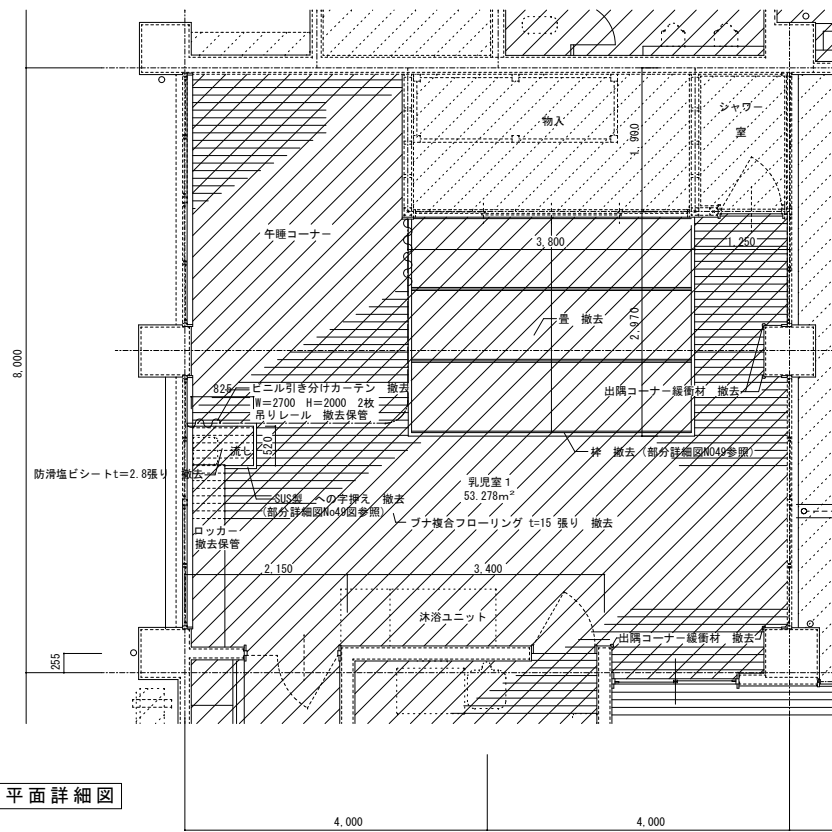
1階平面詳細図(1)

改修前後

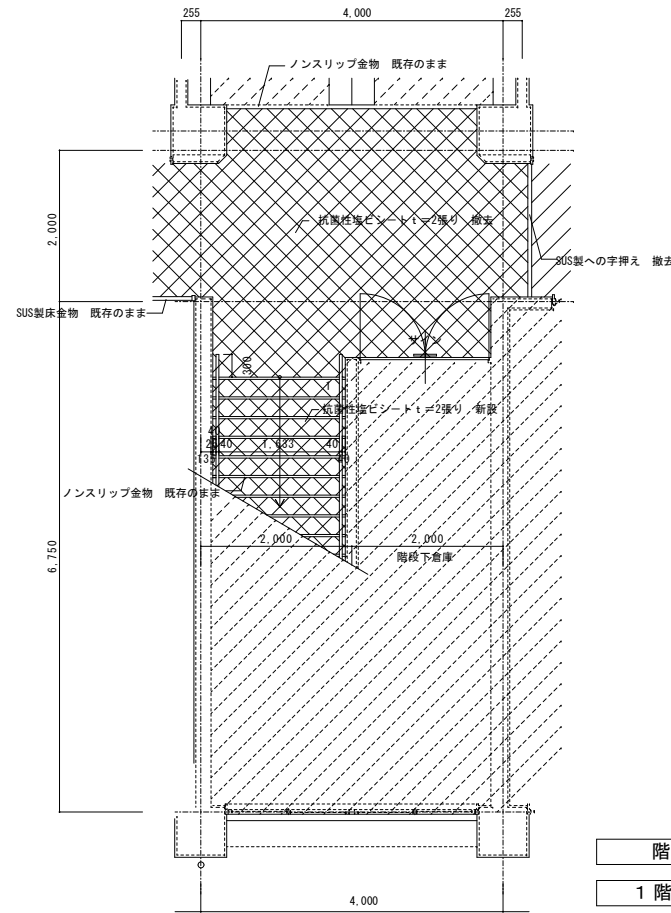


1階平面詳細図(1)

凡例	工事区分
[Diagonal Hatching]	工事対象外部
[Diagonal Hatching]	工事撤去部
[Cross-hatching]	工事撤去部 (アスベスト含有)

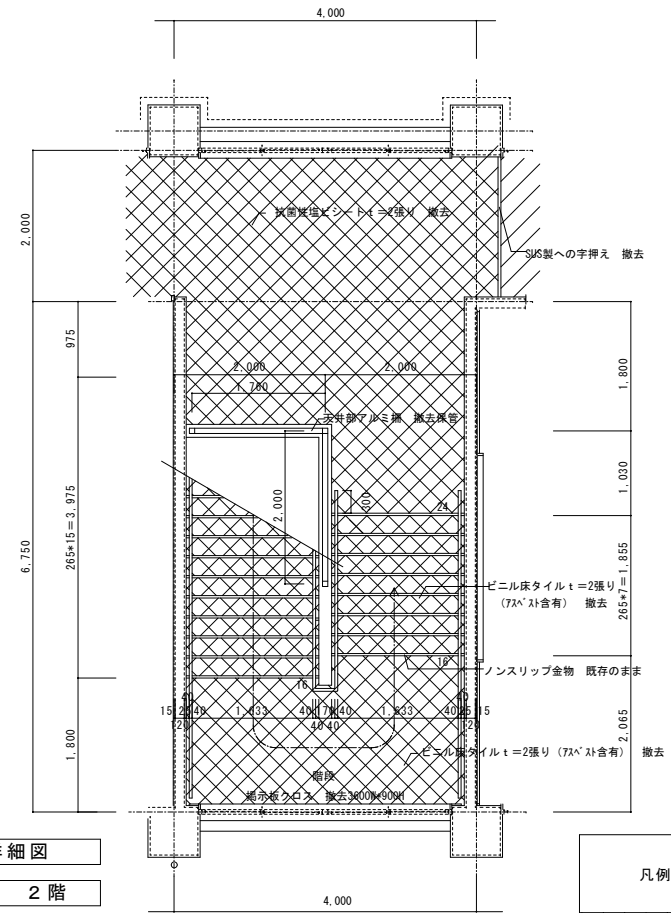


乳児室(1) 平面詳細図

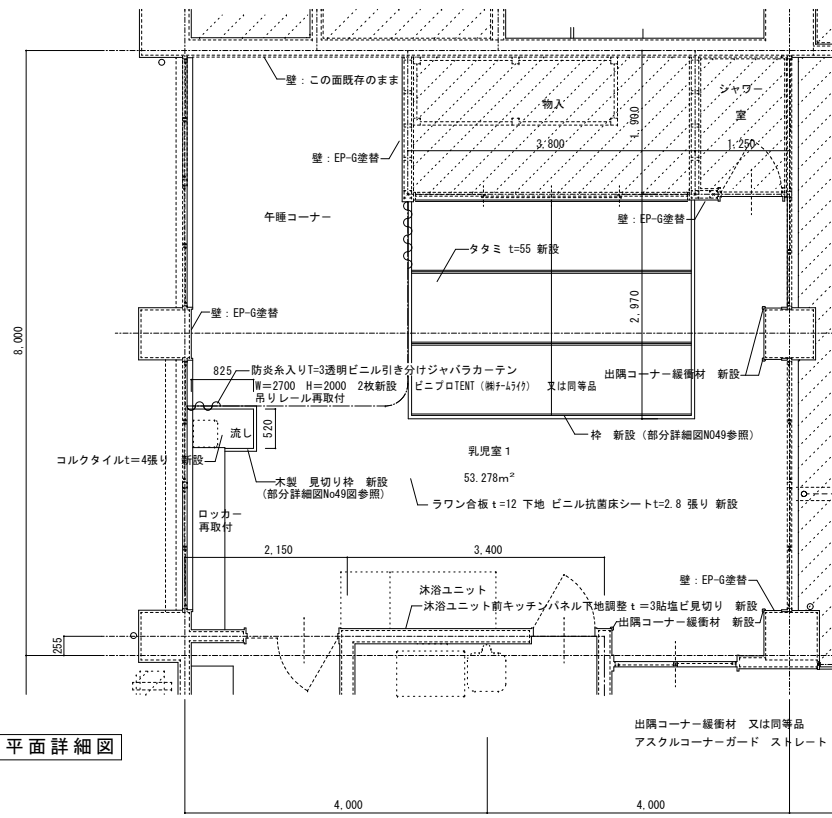
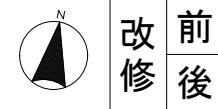


階段 平面詳細図

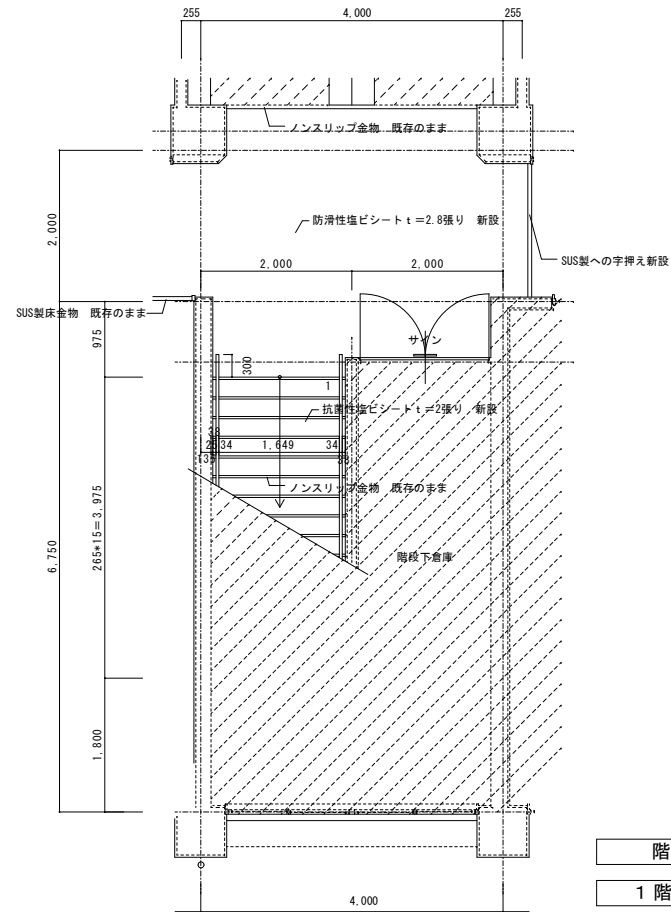
1階 2階



凡例	工事区分
	工事対象外部
	工事撤去部
	工事撤去部 (アスベスト含有)

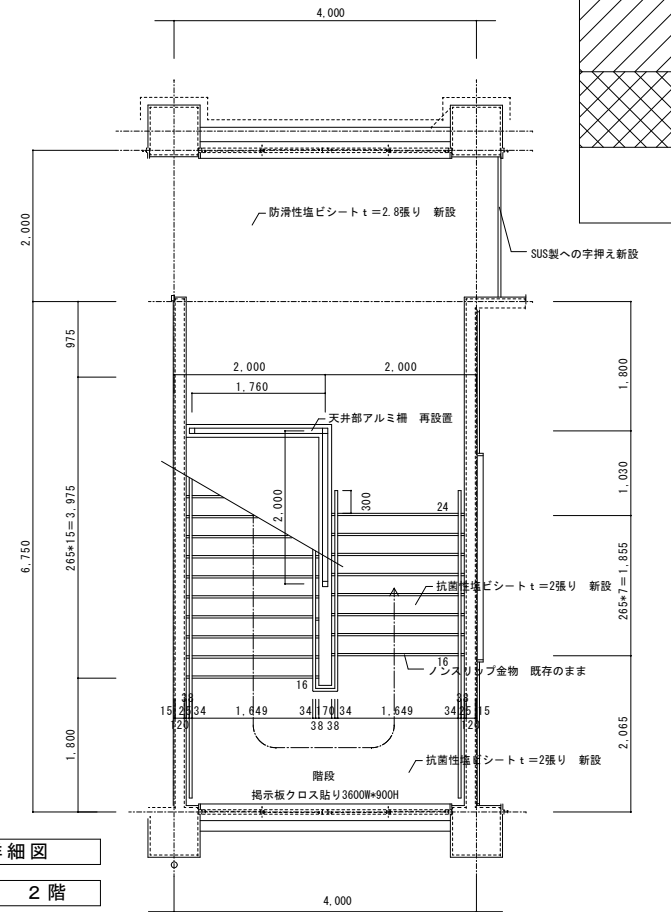


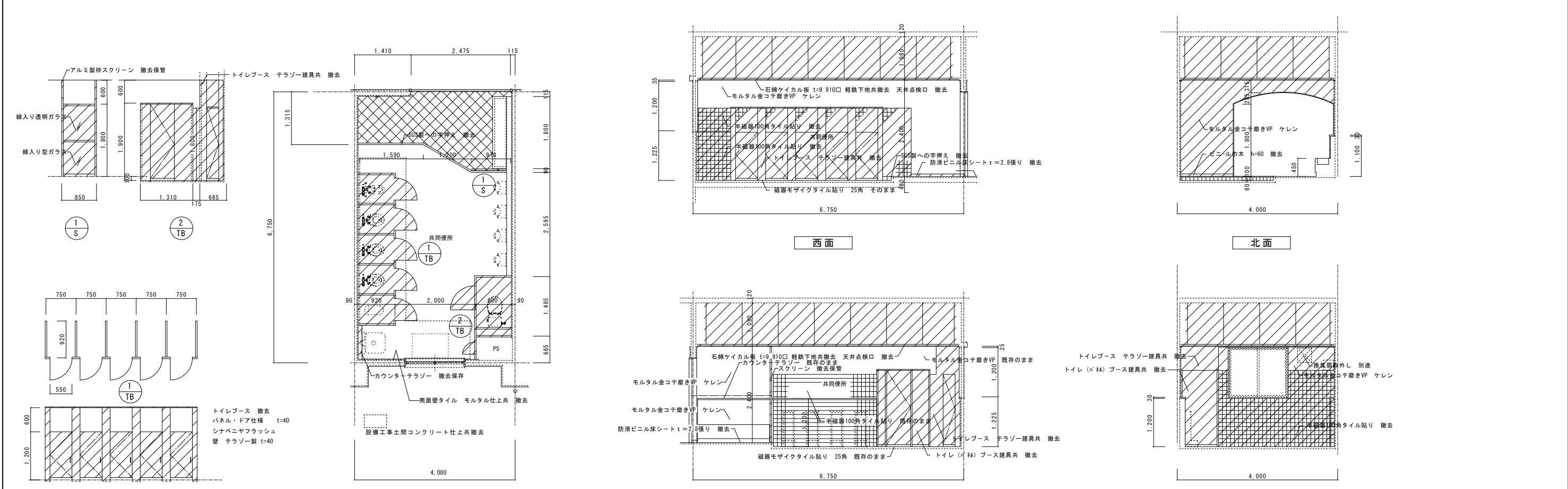
乳児室(1) 平面詳細図



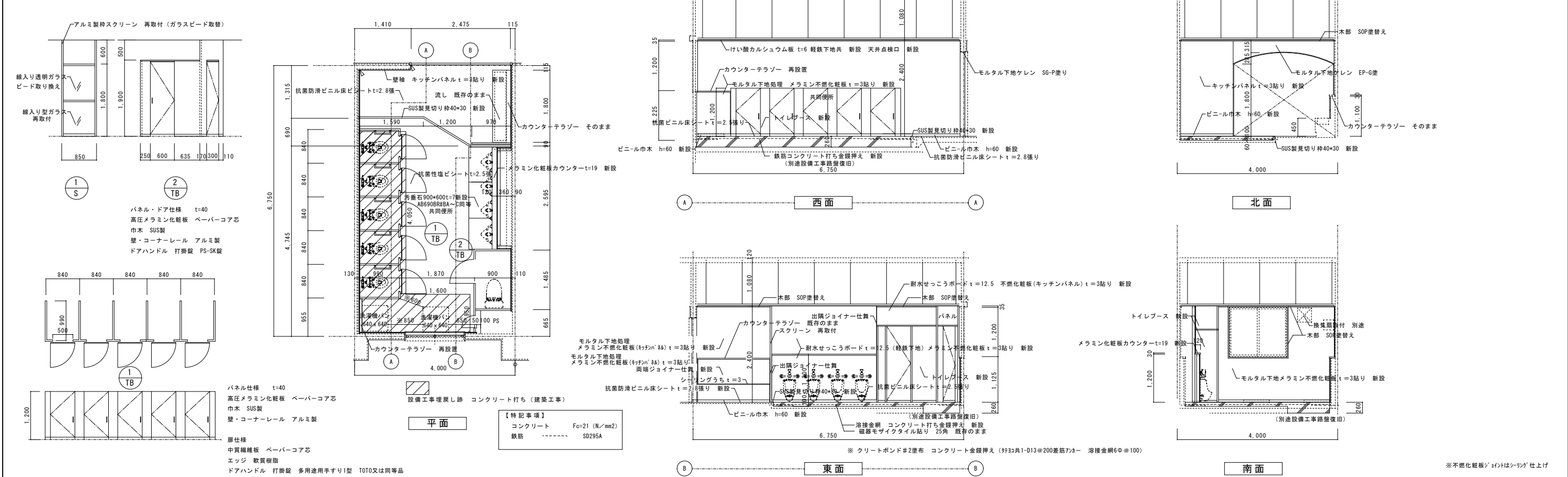
階段 平面詳細図

1階 2階



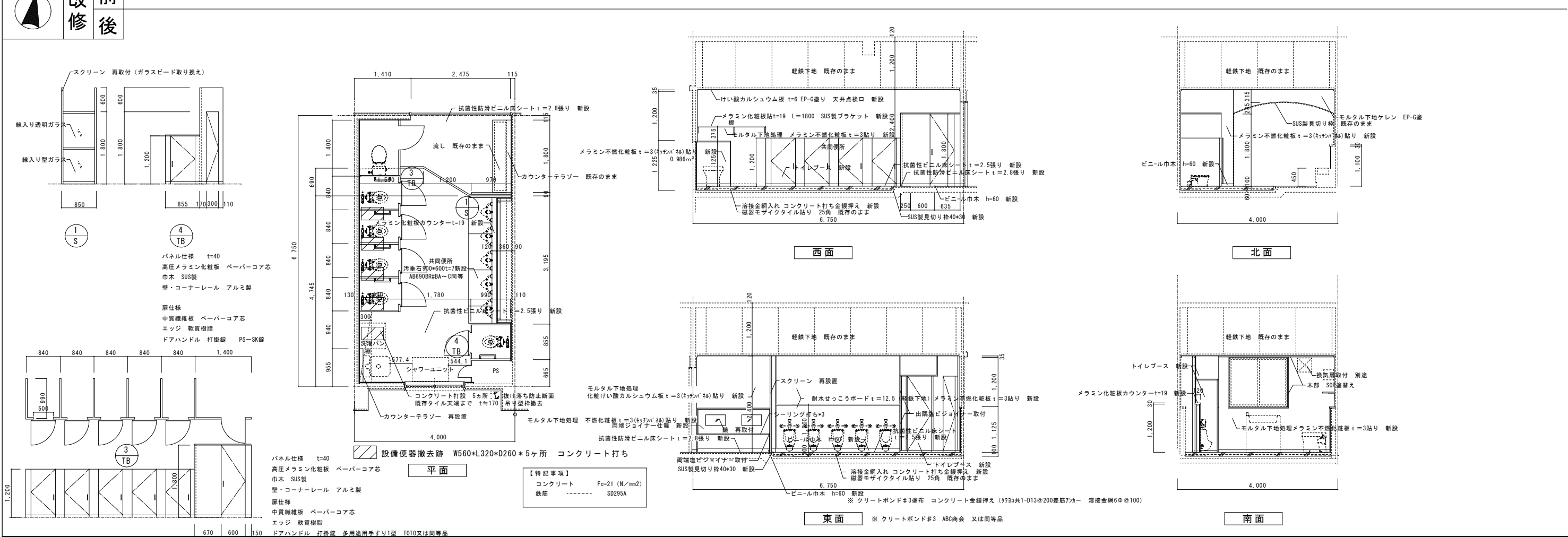
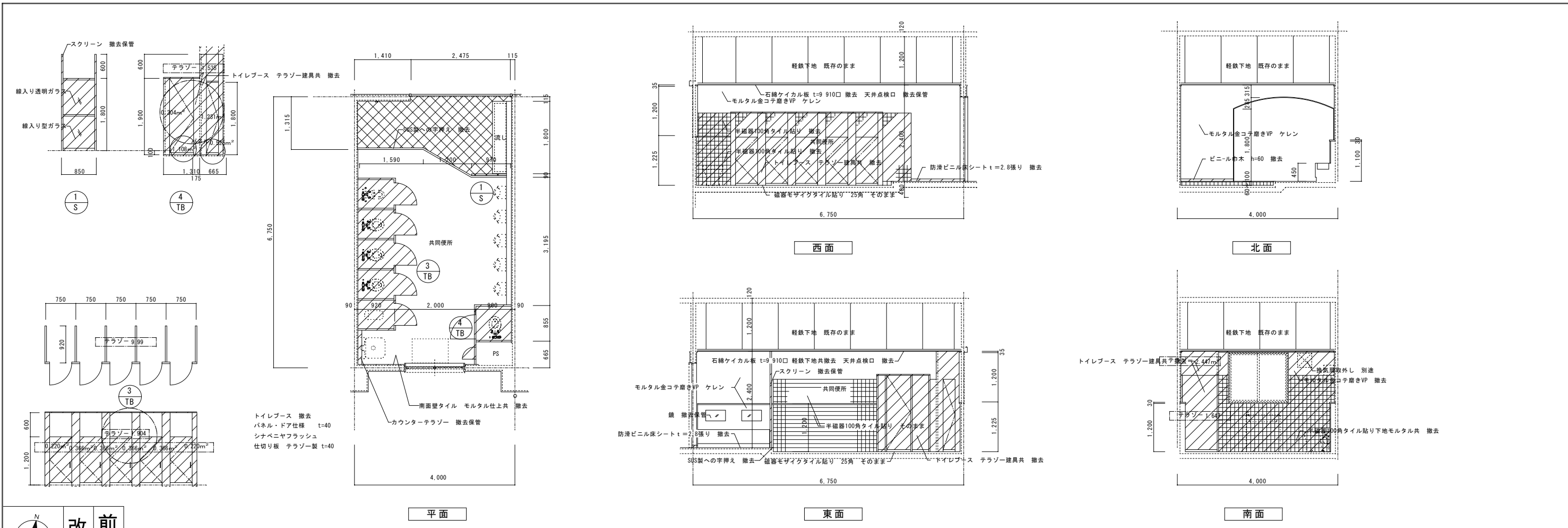


改修前

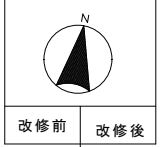


協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 淵山 正	設計年月 2024年1月 高橋 啓之		福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50%
						図面名称 1階共同便所詳細図(改修前・後)	縮尺 1/50

※不燃化粧板「ジョイント」は「シリカ」仕上げ



協同組合 広島県東部設計センター <small>〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035</small>	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大匠登録第96537号) 本田 哲也	担当事務所 <small>岡山建設設計事務所</small> 代表理事 淵山 正	設計年月 2024年1月 代表理事 高橋 啓之	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	図面名称 2階共用便所詳細図	工事内容 A1-100% A2-70.7% A3-50%	縮尺 1/50	図面番 26 / A
	【特記事項】 コンクリート Fc=21 (N/mm ²) 鉄筋 S0295A ※ クリートポンド#3 溶接金網#6φ@100 ※ クリートポンド#3 ABC商会 又は同等品								

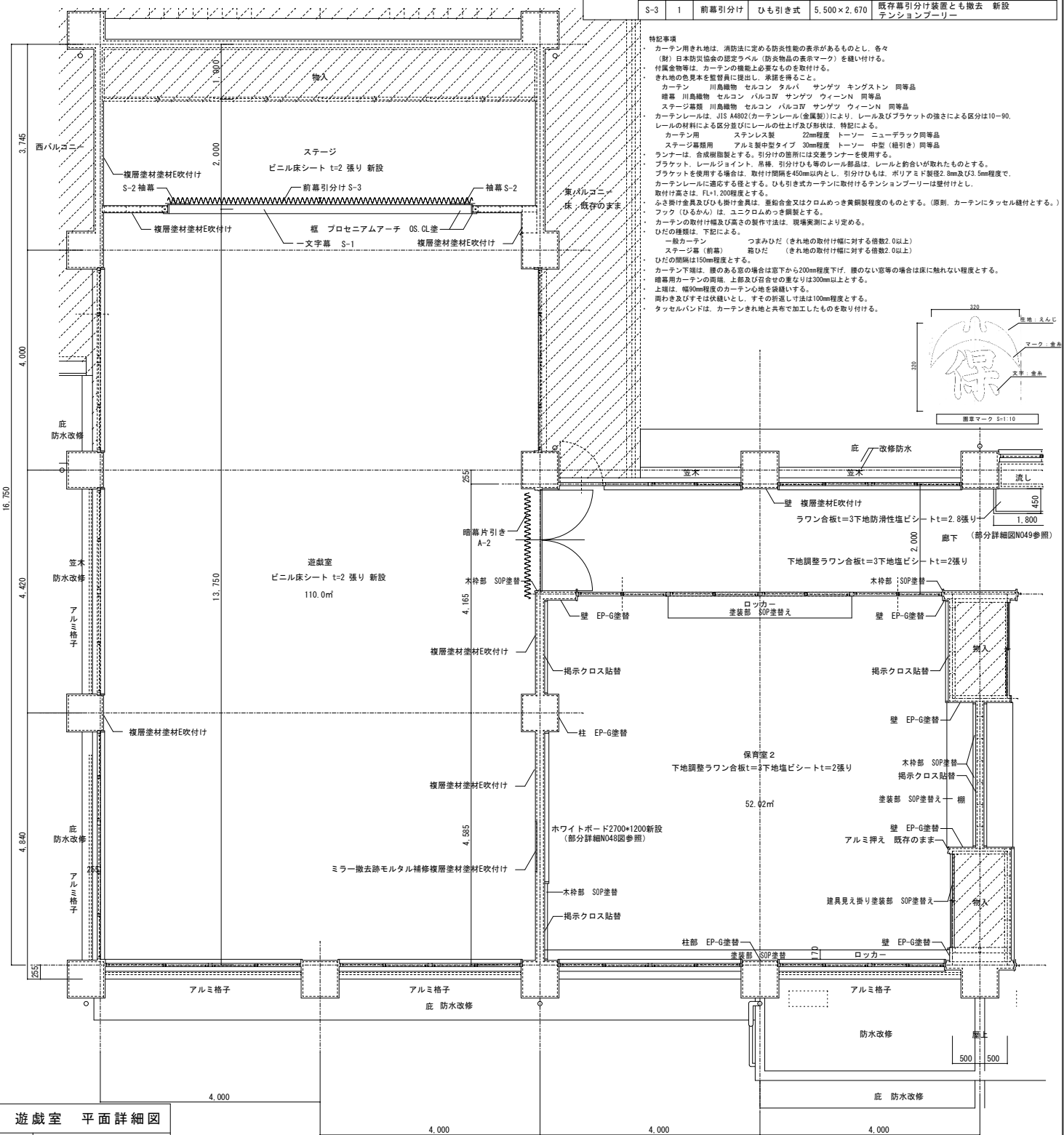
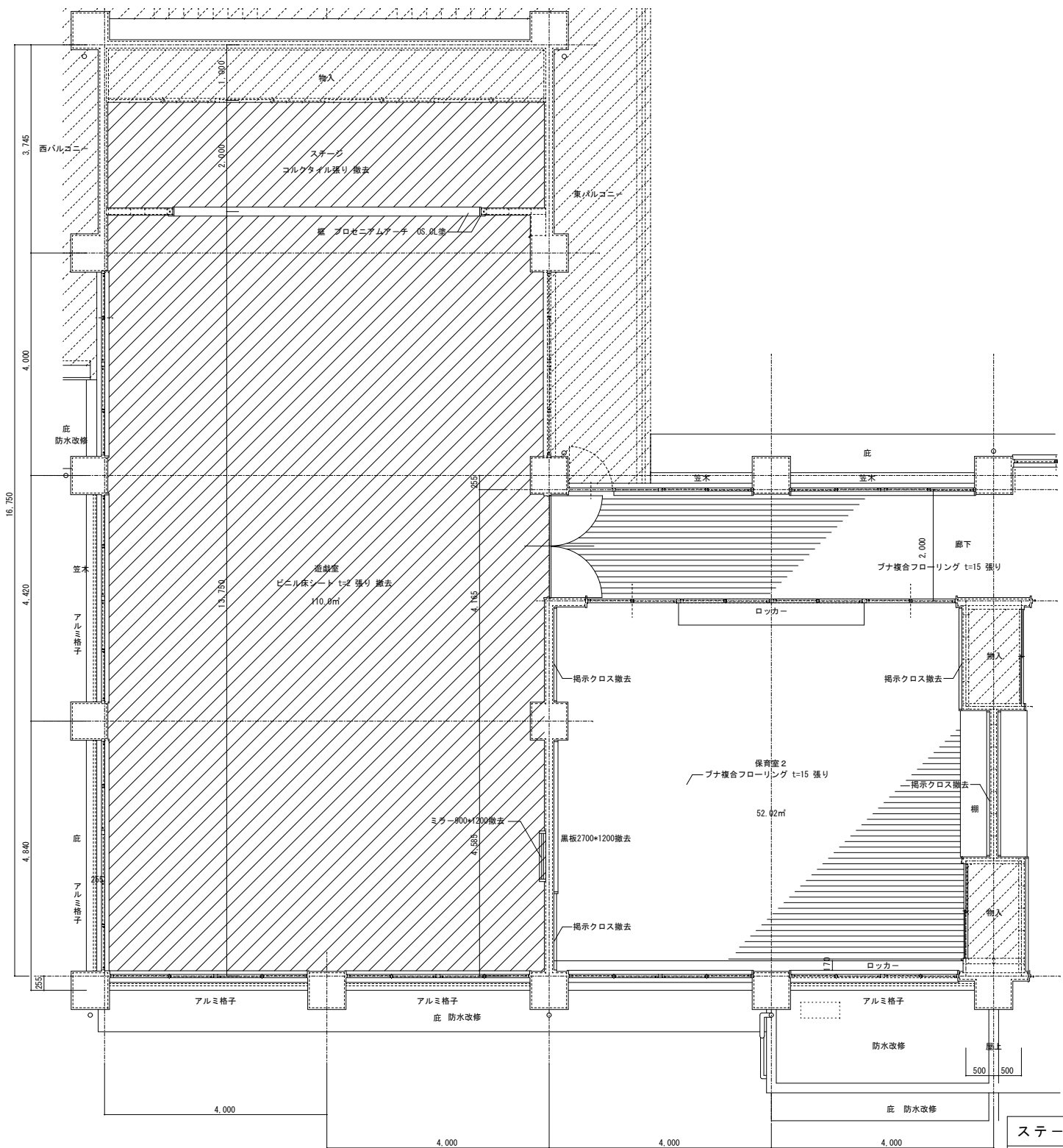


新設カーテンリスト						
室名	符号	数量	形式	開閉操作方式	寸法 (W×H)	備考
医務休養室	A-1	1	引分け	手引き	3,200×1,800	既存ブラインド撤去 カーター新設 ポリエステル100%
遊戯室	A-2	1	暗幕片引き	手引き	2,000×3,300	既存幕撤去 新設 ポリエステル100%
ステージ	S-1	1	一文字幕	---	6,200×400	画幕マーク300φ程度本刺繍 フレンジ120mm
	S-2	2	袖幕	---	400×2,670	フレンジ120mm 裏打ち布も同材料 ひだなし
	S-3	1	前幕引分け	ひも引き式	5,500×2,670	既存幕引分け装置とも撤去 新設 テンションブリー

特記事項
カーテン用きれ地は、消防法に定める防火性能の表示があるものとし、各々(財)日本防火協会の認定ラベル(防火物品の表示マーク)を縫い付ける。特異品等は、カーテンの縫製に必要なものを取付ける。きれ地の色見本を監督員に提出し、承認を得ること。

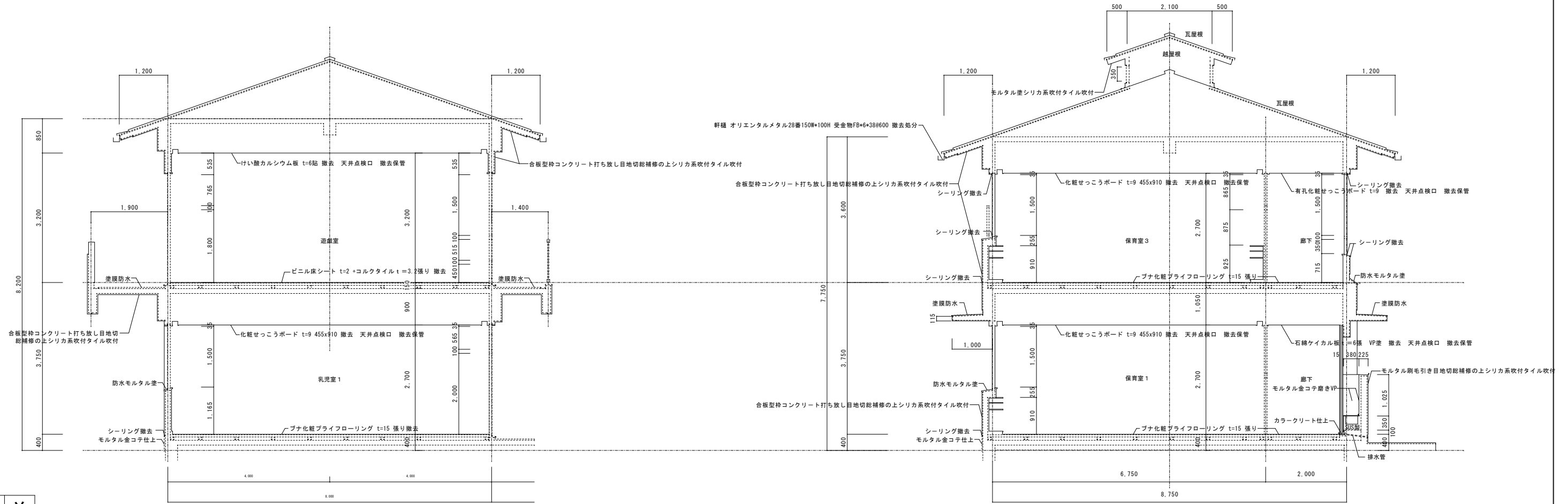
カーテン 川島織物 セルコン タルバ サンダツ キングストーン 同等品
 画幕 川島織物 セルコン パルコIV サンダツ ウィーン 同等品
 ステージ幕 川島織物 セルコン パルコIV サンダツ ウィーン 同等品
 カーテンレールは、JIS 4402(カーテンレール(従属品))により、レール及びブラケットの強さによる区分は10-90。レールの材料による区分はレールの仕上げ及び形状は、特記による。

カーテン用 ステンレス製 22mm程度 トーゾ ニューデラック同等品
 ステージ幕用 アルミ製中型タイプ 30mm程度 トーゾ 中型(結引き)同等品
 ランナーは、合板製とする。引分けの箇所には交互ランナーを使用する。
 ブラケット、レールジョイント、昇降、引分けひも等のレール部品は、レールと約合いが取れたものとする。ブラケットを使用する場合は、取付け間隔を450mm以内とし、引分けひもは、ポリamid製2.8mm及び3.5mm程度で、カーテンレールに適合する径とする。ひも引き式カーテンに取付けるテンションブリーは壁付けとし、取付け高さは、R1.200程度とする。
 ふき掛け装置及びひも掛け装置は、重合金又はロムめっき黄銅製のものとする。(原則、カーテンにタッセル付とする。)フック(ひもかん)は、ユニクロめっき鋼製とする。
 カーテンの取付け幅及び高さの製作方法は、現場実測により定める。
 ひだの種類は、下記による。
 一般カーテン つまみひだ(きれ地の取付け幅に対する倍数2.0以上)
 ステージ幕(前幕) 隠ひだ(きれ地の取付け幅に対する倍数2.0以上)
 ひだの間隔は150mm程度とする。
 カーテン下地は、壁のある場合は落下から200mm程度下げ、壁のない等の場合は床に貼れない程度とする。
 縦幕用カーテンの両端、上部及び召合せの箇所は300mm以上とする。
 上端は、幅約50mm程度のカーテン心棒を挿入する。
 開き及びすそは伏せとし、すそは折返し寸法は100mm程度とする。
 タッセルバンドは、カーテンきれ地と共布で加工したものを取付ける。



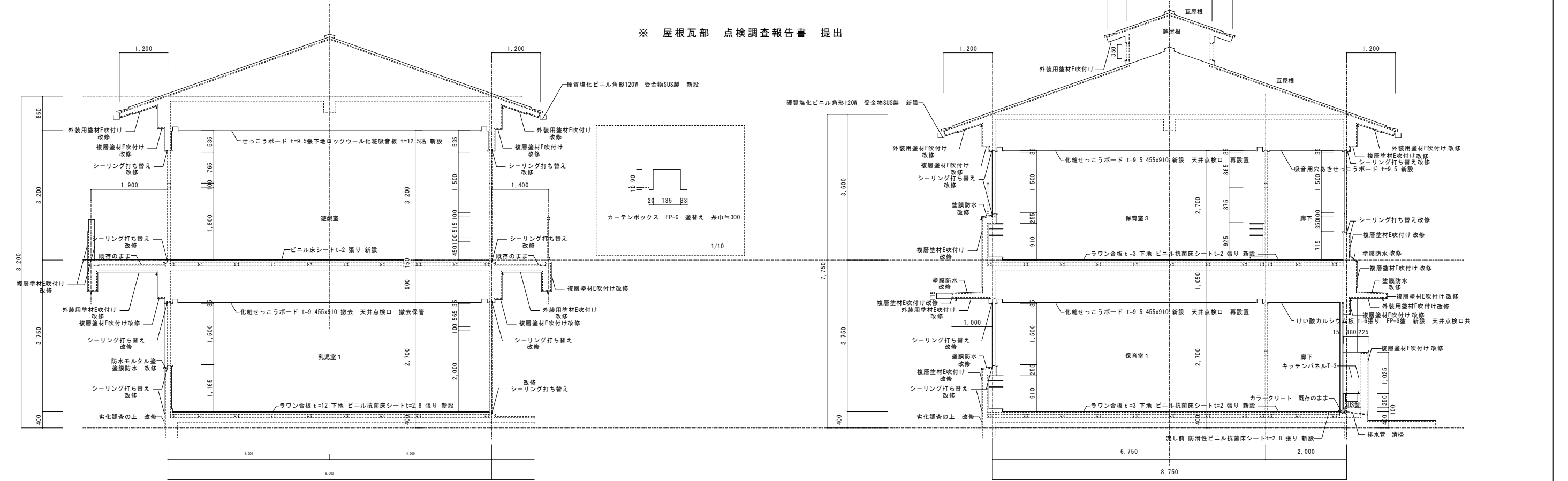
ステージ 遊戯室 平面詳細図


凡例	工事区分
(斜線)	工事対象外部
(点線)	工事撤去部
(格子)	工事撤去部 (アスベスト含有)

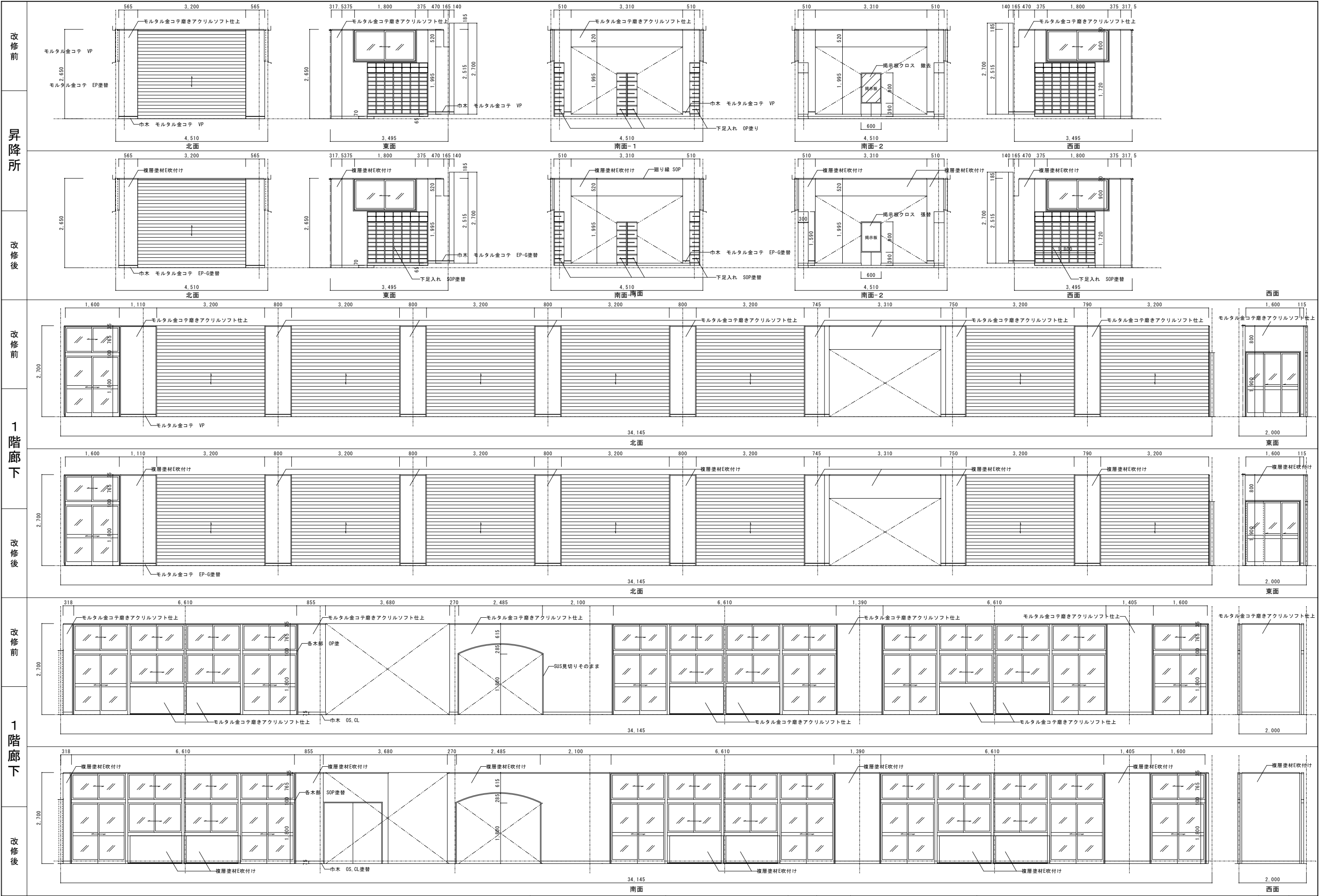


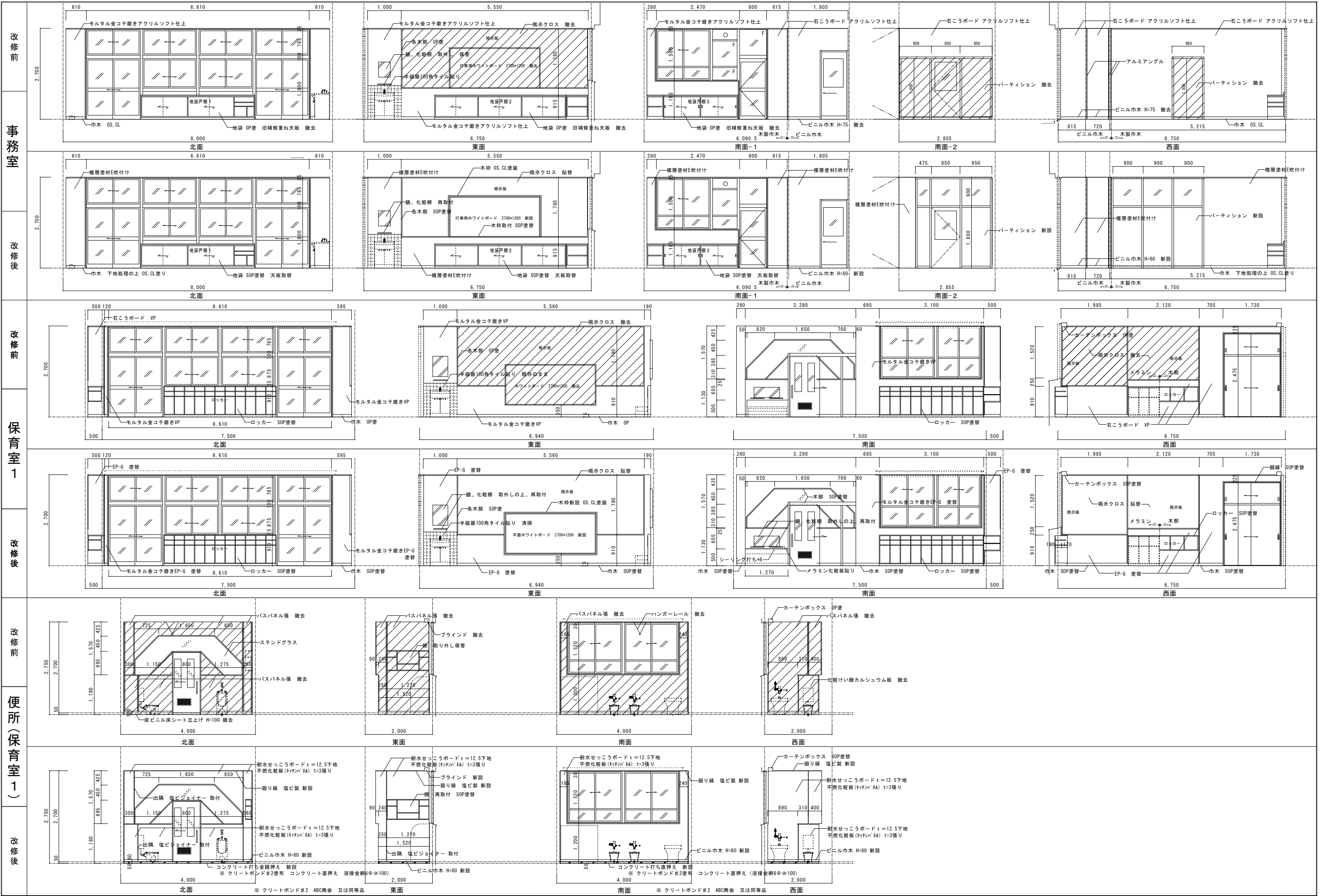
改修前後

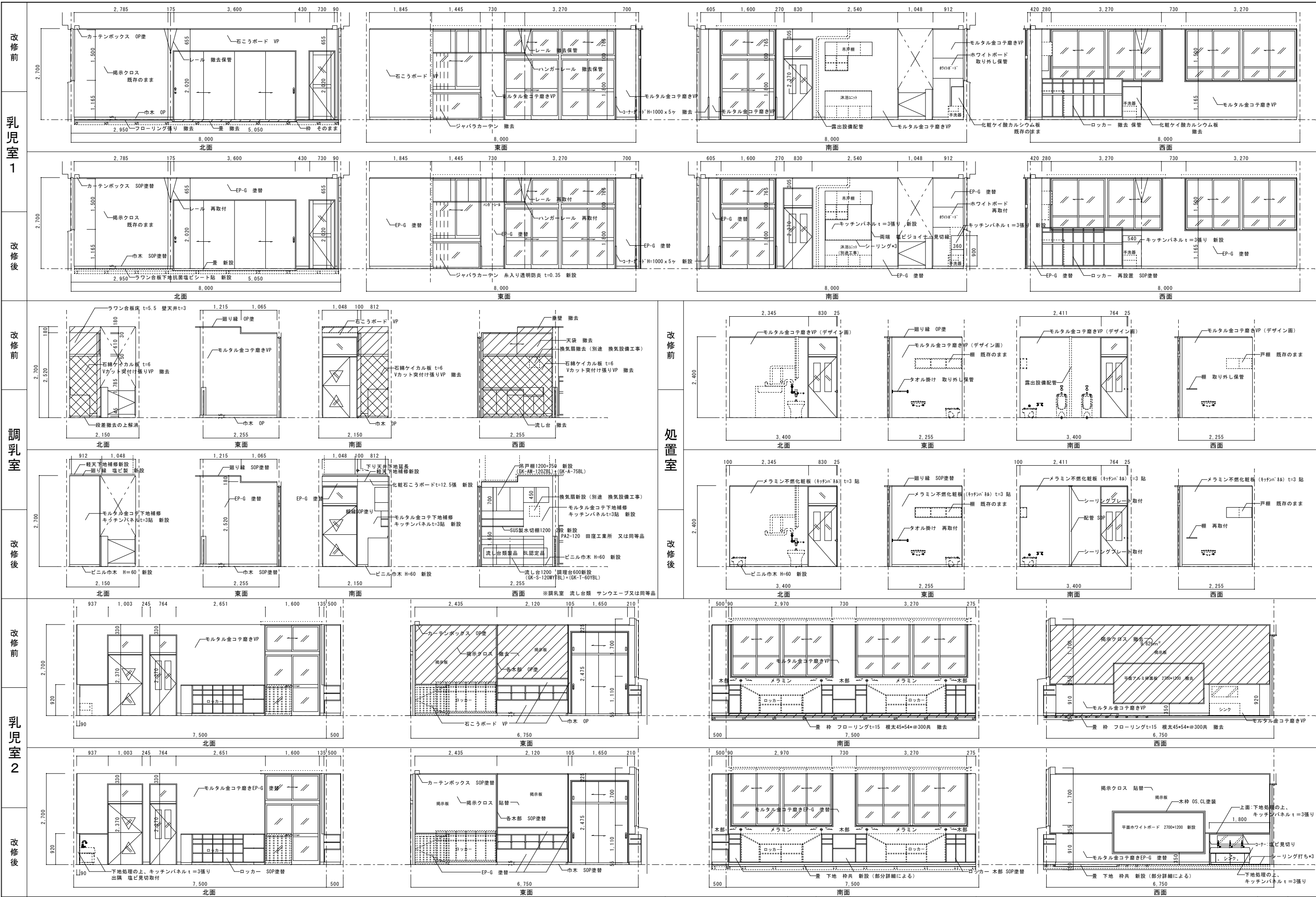
※ 屋根瓦部 点検調査報告書 提出



協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 測山 正 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 設計 2024年1月	 福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 断面詳細図(改修前・後) 縮尺 1/50・1/10	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50% 28 / A
---	--	--	---	----------------------------------	---	---	--







協同組合
 広島県東部設計センター
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

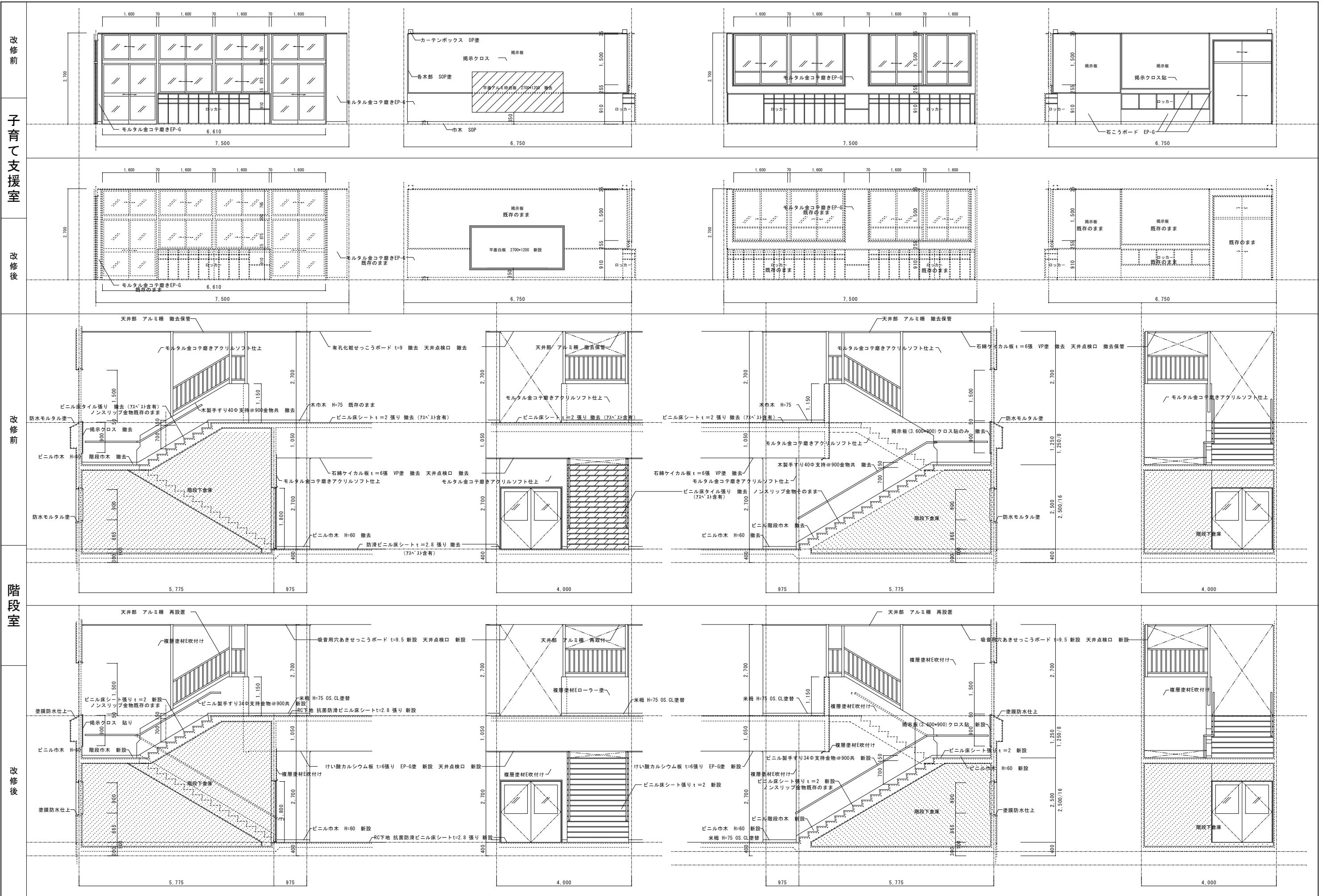
一級建築士事務所 代表
 広島県知事登録 第19(1)-2616号
 一級建築士(大臣登録第86537号)
 本田 哲也

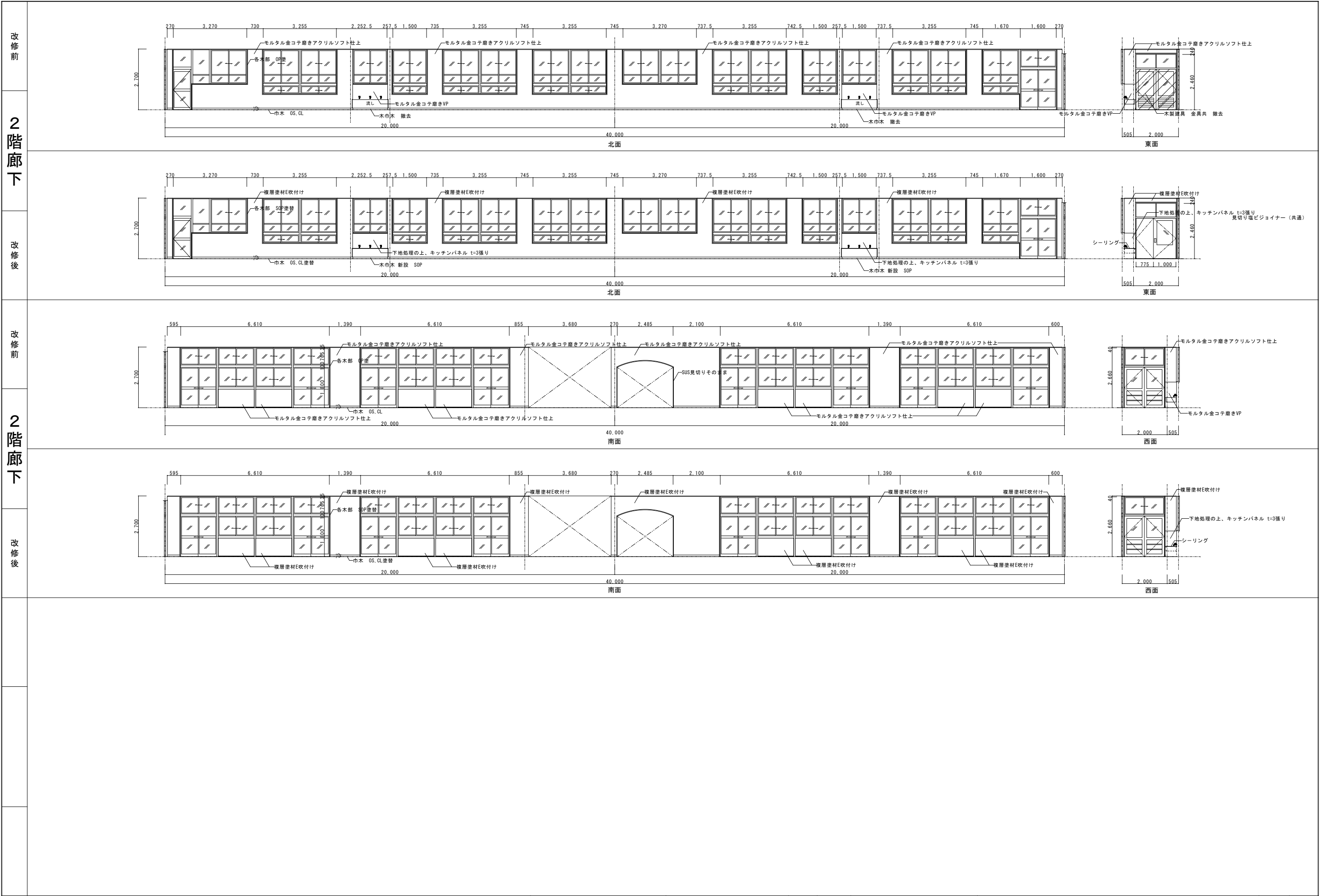
担当事務所
 設計年月
 2024年1月
 代表理事
 西村 崇
 高橋 啓之



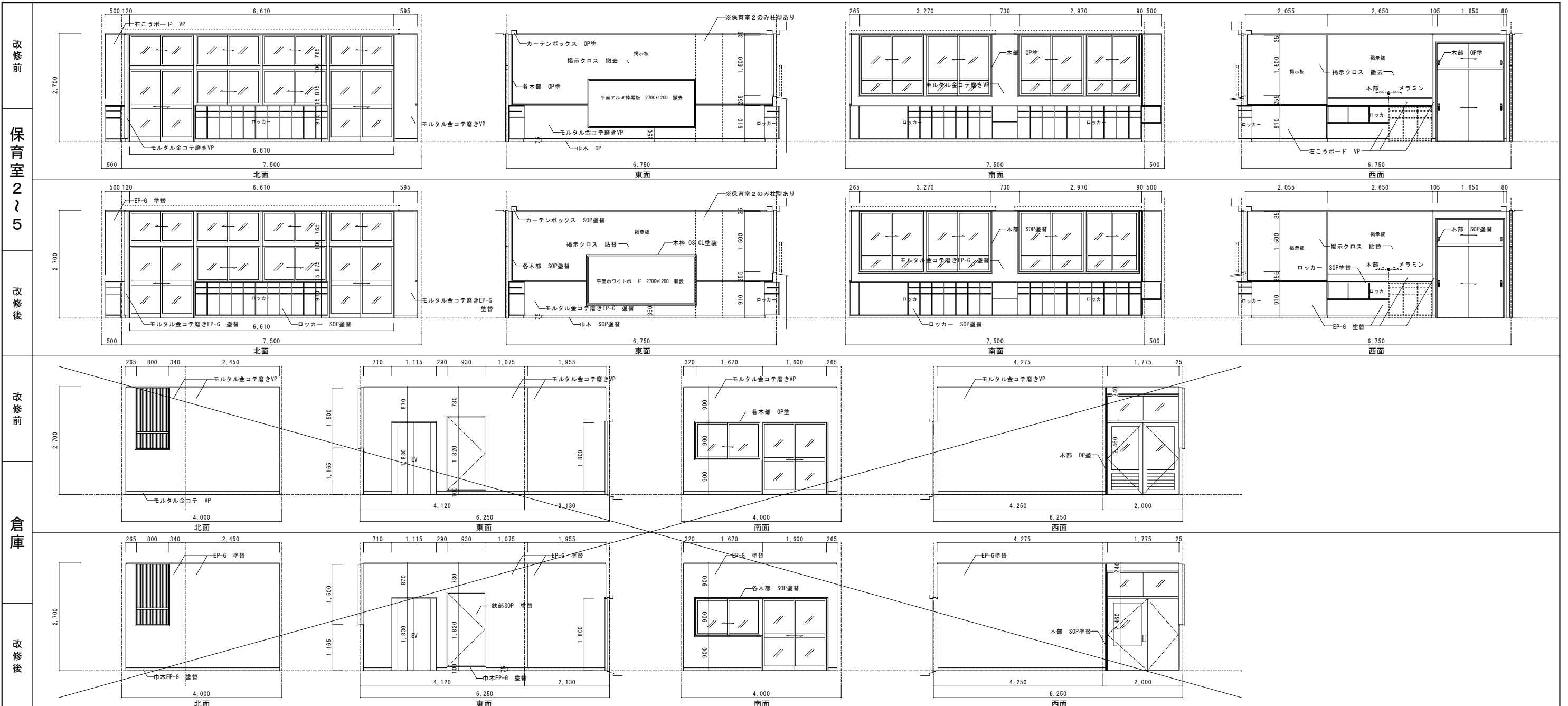
福山市建設局建築部営繕課
 設計
 2024年1月

工事名称
 福山市立新市保育所園舎改修工事
 図面名称
 展開図 3 (改修前・後)
 縮尺
 1/50
 図面No
 A1-100%
 A2-70.7%
 A3-50%
 31/A





協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第66537号) 本田 哲也	担当事務所 西村無建築設計事務所 西村 崇 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 代表理事 高橋 啓之	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	A1-100% A2-70.7% A3-50%	図面No 33 / A
					図面名称 展開図 5 (改修前・後)		



改修前	改修後	改修前	改修後
-----	-----	-----	-----



協同組合
広島県東部設計センター
〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一級建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
一級建築士(大臣登録第66537号)
本田 哲也

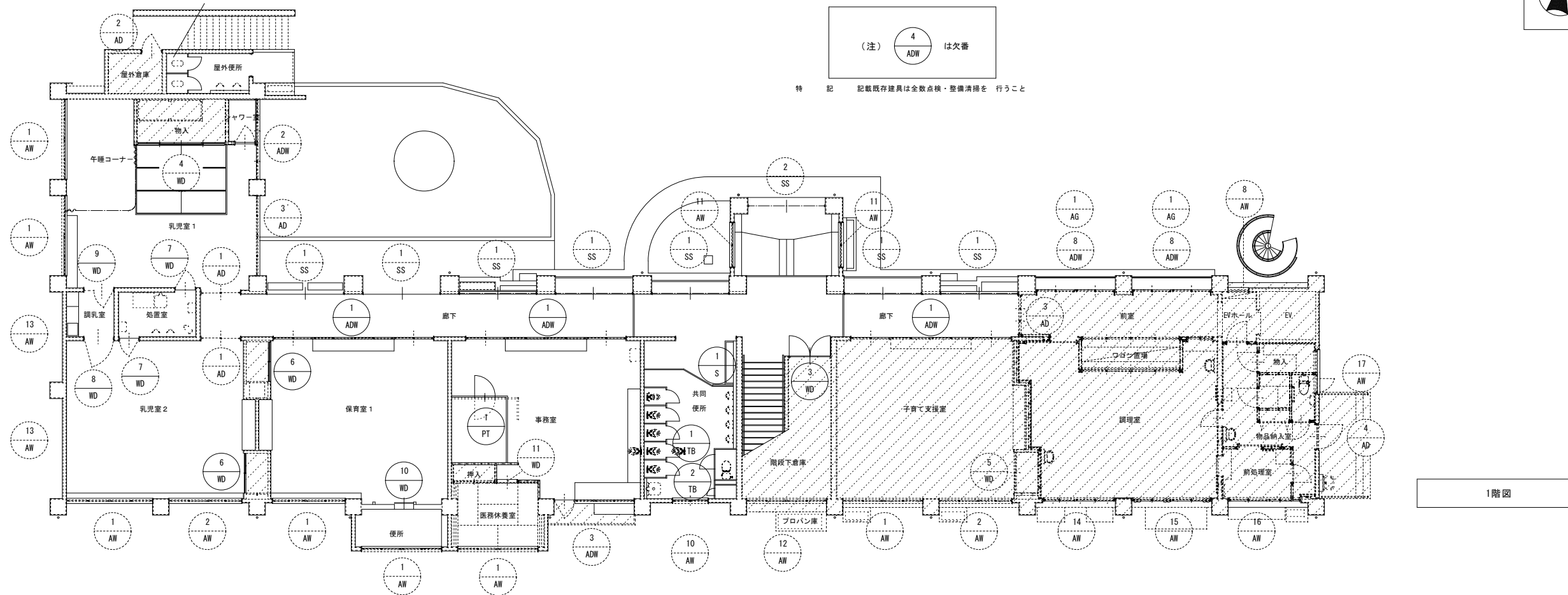
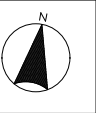
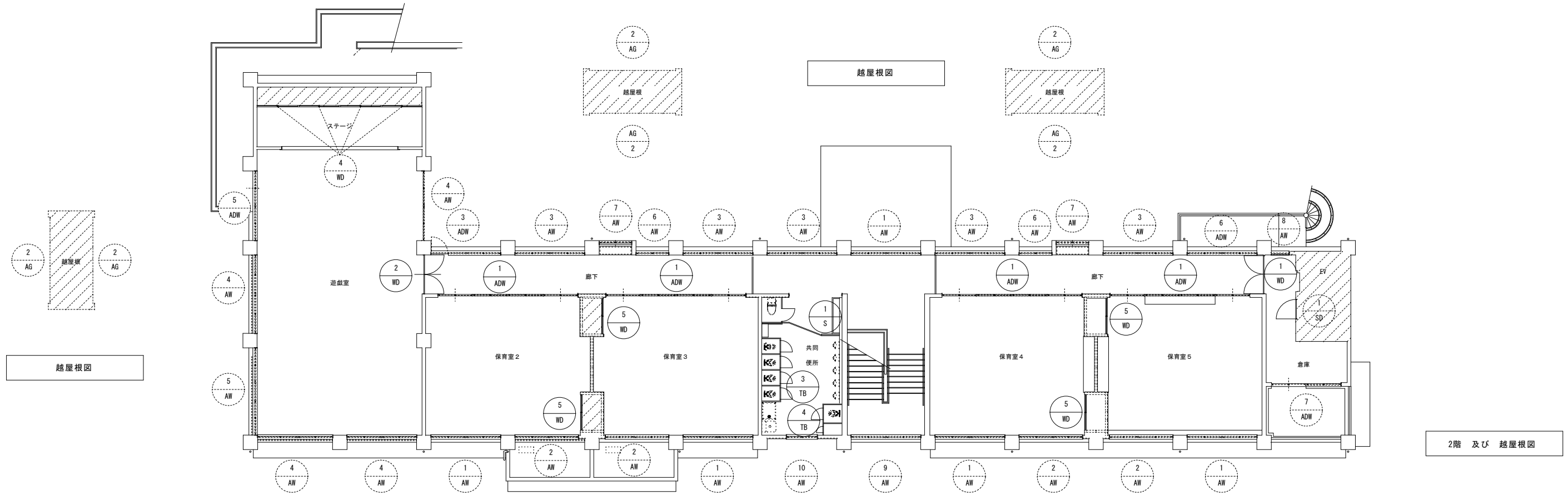
担当事務所
設計年月
2024年1月
代表理事
西村 崇
高橋 啓之



福山市建設局建築部営繕課
設計
2024年1月

工事名称
福山市立新市保育所園舎改修工事
図面名称
展開図7(改修前・後)

縮尺
1/50
A1-100%
A2-70.7%
A3-50%
35/A



(注) 4/ADW は欠番

特記 記載既存建具は全数点検・整備清掃を行うこと

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 代表理事 福山 正 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 設計 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 建具符号図	縮尺 1/100	図面No. A1-100% A2-70.7% A3-50% 36 / A
	図面No. 36 / A						

<p>符号 数量</p> <p>① SS x 7 軽量電動シャッター 既存のまま</p> <p>窓名 1F廊下</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 鋼製スラット 「SUS製-ガイドレール、まぐさ、座板」</p> <p>塗装 両面OP塗</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>① SS x 1 軽量電動シャッター 既存のまま</p> <p>窓名 昇降口</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>① AD x 2 ランマ 引違い窓付 引違い戸 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室 1・2</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製</p> <p>塗装 FL3、他 AC3</p> <p>硝子 小学校・幼稚園用サッシ標準金物一式、戸当り手詰め防止ゴム付き 引き戸用シリンダー-鍍銀ステンレス戸車、ナイロン戸車、</p> <p>金物</p> <p>備考 下枠SUS製フラットレール AP*3方 x 2</p>	<p>符号 数量</p> <p>① AD x 1 片開き戸 既存のまま</p> <p>窓名 屋外倉庫</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>① AD x 1 ランマ 引違い窓付 引違い戸 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室 1</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>① AD x 7 ランマ 引違い窓付 引違い窓・戸 塗装改修</p> <p>窓名 事務室、1.2F保育室、子育て支援室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>		
<p>符号 数量</p> <p>② AD x 1 ランマ 引違い窓付 引違い窓・戸 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室1・シャワー室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>③ AD x 1 片開き戸・ハメ殺窓ランマ 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 事務室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>④ AD x 2 ランマ 引違い窓付 引違い窓・戸 既存のまま</p> <p>窓名 遊戯室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑤ AD x 1 ランマ 引違い窓付 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 2階廊下</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑥ AD x 1 引違い窓・戸 既存のまま</p> <p>窓名 倉庫</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑦ AD x 1 片開き戸・ハメ殺窓ランマ 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 2F廊下</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑧ AD x 7 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室 保育室 医務休憩室 子育て支援室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	
<p>符号 数量</p> <p>② AD x 4 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室2 保育室 子育て支援室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>③ AD x 5 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 2階廊下</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>④ AD x 1 引違い窓地窓付き 既存のまま</p> <p>窓名 遊戯室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑤ AD x 1 引違い窓地窓付き 既存のまま</p> <p>窓名 遊戯室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑥ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 2階廊下</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑦ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 2階廊下(水栓)</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑧ AD x 2 ハメ殺し窓 既存のまま</p> <p>窓名 EVホール</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑨ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 階段室(踊場)</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>
<p>符号 数量</p> <p>⑩ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 共同便所</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑪ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 昇降口</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑫ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 階段下倉庫</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑬ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室 2</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑭ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑮ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑯ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑰ AD x 1 滑り出し窓 ハメ殺し窓付 既存のまま</p> <p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>
<p>符号 数量</p> <p>⑩ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 共同便所</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑪ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 昇降口</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑫ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 階段下倉庫</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑬ AD x 2 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 乳児室 2</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑭ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑮ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑯ AD x 1 引違い窓 既存のまま</p> <p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑰ AD x 1 滑り出し窓 ハメ殺し窓付 既存のまま</p> <p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>
<p>窓名 共同便所</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製</p> <p>塗装</p> <p>硝子 PW6.8</p> <p>金物 標準金物一式</p> <p>備考 アルミ水切り、AP4方</p>	<p>窓名 昇降口</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製</p> <p>塗装</p> <p>硝子 AC3</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>窓名 階段下倉庫</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子 PW6.8</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>窓名 乳児室 2</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上 アルミ製カバー工法</p> <p>塗装</p> <p>硝子 PW6.8</p> <p>金物 標準金物一式、SUS製網戸</p> <p>備考</p>	<p>窓名 調理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>窓名 前処理室</p> <p>見込 70</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>
<p>FL フロート板ガラス</p> <p>F 強化ガラス</p> <p>FW 網入り強化ガラス</p> <p>ST 学校用強化ガラス</p> <p>TFL 強化ガラス</p> <p>TF 強化型板ガラス</p> <p>SC 熱線反射ガラス</p> <p>HFL 熱線吸収フロート板ガラス</p> <p>HTFL 熱線吸収強化ガラス</p> <p>FTFL 耐熱強化ガラス</p> <p>A 空気層</p> <p>AC アクリル板</p>	<p>注：特記なき限り、木枠、木組網SOP塗装改修(対象外部屋敷除く)</p>	<p>協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035</p>	<p>一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第84537号) 本田 哲也</p>	<p>担当事務所 福山市建設局建築部営繕課 設計年月 2024年1月 作図 山本 正 代表理事 高橋 啓之</p>	<p>福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月</p>	<p>工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 建具表1(改修前・後) 縮尺 1/50</p>	<p>A1-100% 図面No A2-70.7% A3-50% 37/A</p>

<p>符号 数量 (10) x 2 引違い窓 ハメ殺しランマ付 既存のまま</p>	<p>(11) x 1 2枚ハンガー引き込み戸 既存のまま</p>	<p>(12) x 1 片開き通風戸 既存のまま</p>	<p>(13) x 2 固定ガラリ 既存のまま</p>	<p>(14) x 1 片開き戸 既存のまま</p>	<p>(15) x 1 嵌め殺しランマ付 両開き戸 撤去</p>	<p>x 1 両開き戸 新設</p>
室名 前室	前室	物品納入室	前室	機械室	2階EVホール	
見込 70				70	40	40
仕上 アルミ				鋼製	メラミン化粧板フラッシュ	メラミン化粧板フラッシュ
塗装				SOP塗	小口OP塗	小口OP塗
硝子 TF4	TFL4	下部アルポリックパネルt=3 上部F4			FL3、中抜き F4	中抜き AC4 (透明)
金物 標準金物一式、SUS製網戸	標準金物一式、戸当り手詰め防止ゴム付き戸先錠 (シ/フ)	アングルピース、アルミ水切り、附属金物一式、DC		標準金物一式	SUS製網戸、DC、本締シリンダーモノロック 上部掛付け金	SUS製網戸、DC、シリンダーモノロック両4分錠 新設 小扉 フランス落し 戸当り等 新設
備考 アルミ水切り、AP3方25*70 クレセント抗菌		SUS網戸 アルミ水切り、AP3方25*70 クレセント抗菌	SUS網戸			
符号 数量 (2) x 1 ランマ 引違い窓付両開き戸 改修	(3) x 1 両開き戸 改修	(4) x 4 引違いフラッシュ戸 天袋付 既存のまま	(5) x 5 引違いフラッシュ戸 天袋付 改修 (6) x 2 改修	(7) x 2 片開き戸 既存のまま	(8) x 1 片開き戸 既存のまま	(9) x 1 片開き付開き戸 既存のまま
室名 道徳室	階段下倉庫	ステージ (物入) 乳児室1	保育室 乳児室2 (子育て支援室除く)	給食室	調乳室	
見込 40						
仕上 メラミン化粧板フラッシュ	シナベニヤフラッシュ			メラミン化粧板フラッシュ		
塗装 OP塗 → SOP塗替え	OP塗 → 両面SOP塗替え	OP塗りのまま	OP塗 → 見え掛りSOP塗替え			
硝子 S3 複アクリル板3	F2					
金物 SUS製網戸、DC、本締シリンダーモノロック フランス落し 戸当り クレセント ナイロン戸車	SUS製網戸、DC、本締シリンダーモノロック フランス落し	引き手、平戸車、		SUS製網戸 引き手		SUS製オートヒンジ
備考						
符号 数量 (10) x 1 片引戸 改修	(11) x 1 片引戸 既存のまま		(1) x 1 パーティション 撤去	(1) x 1 パーティション 新設	(2) x 6 固定ガラリ 既存のまま	
		<p>共同便所の建具は 共同便所詳細図に (注 建具配置図は 改修前表示に)</p>				
室名 保育室 1	医師休養室		事務室		應接室	
見込 40			40	50	70	
仕上 ポリ合板フラッシュ			鋼製パネル	アルミ製 AP-3 パネル化粧板t=0.4 ベーバーコア芯厚26 厚厚30	アルミ	
塗装 小口OP塗 → 小口のみSOP塗替え						
硝子 中抜きAC板t=3			中抜き半透明AC板t=3	中抜き半透明AC板t=3 ランマ半透明AC板t=5		
金物 引き手、平戸車、			丁番 取っ手	丁番 錠前 (空錠) DC(ストッ110度程度) 取付		
備考				三和シャッター製 DCリヨビ製又は同等品	SUS防鳥ネット	

硝子 F	型板ガラス	HFL	熱線吸収フロート板ガラス
PW	網入り遮光ガラス	HTFL	熱線吸収強化ガラス
FW	網入り強化ガラス	FTFL	耐熱強化ガラス
ST	学校用強化ガラス	A	空気層
TFL	強化ガラス	AC	アクリル板
TF	強化型板ガラス		

注: 特記なき限り、木枠、木隠線SOP塗装改修 (対象外部屋除く。)

協同組合
広島県東部設計センター
〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

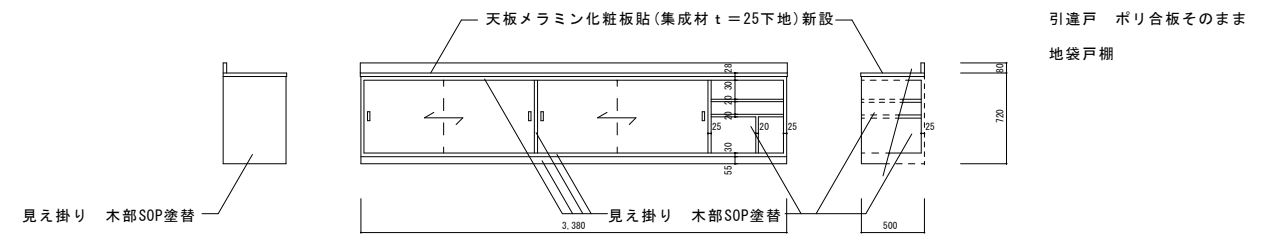
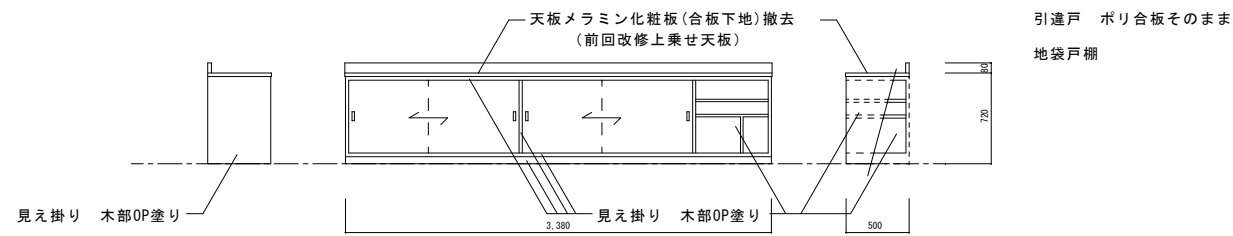
一級建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
一級建築士(大臣登録第86537号)
本田 哲也

担当事務所 設計年月
福山市建設局建築部営繕課
2024年1月
代表理事 高橋 啓之

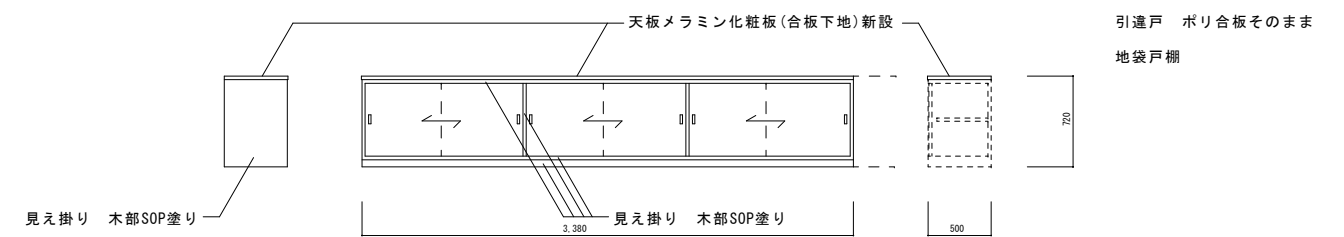
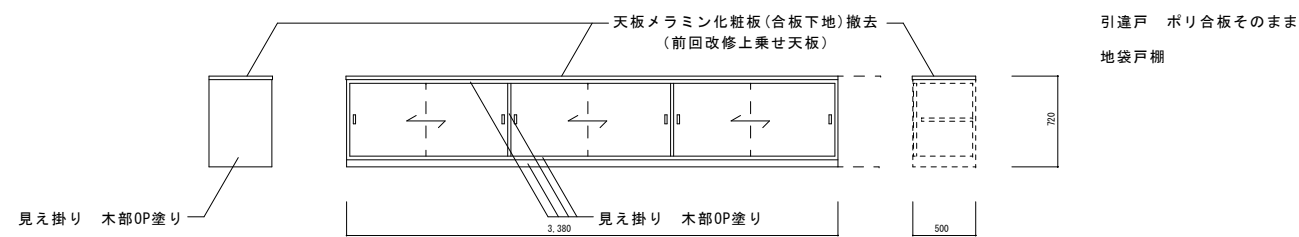
工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事
2024年1月
図面名称 建具表 2 (改修前・後)
縮尺 1/50・1/100

A1-100%	図面No
A2-70.7%	38 / A
A3-50%	

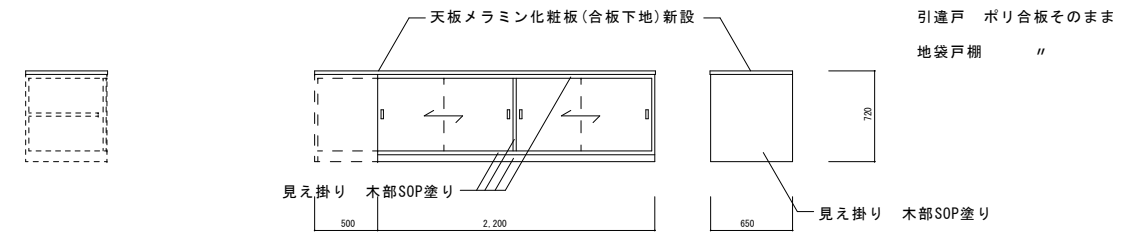
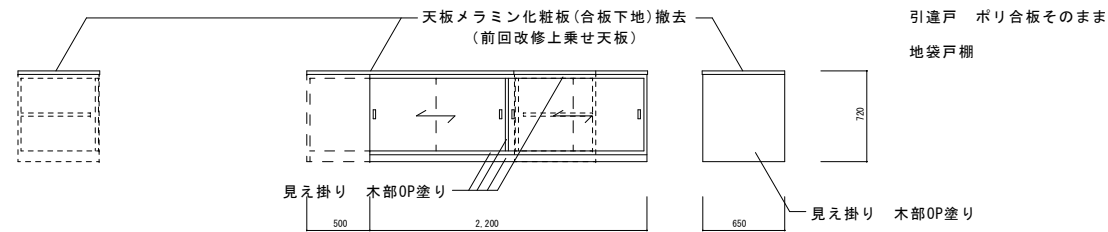
改修前 改修後
事務室 地袋戸棚 1



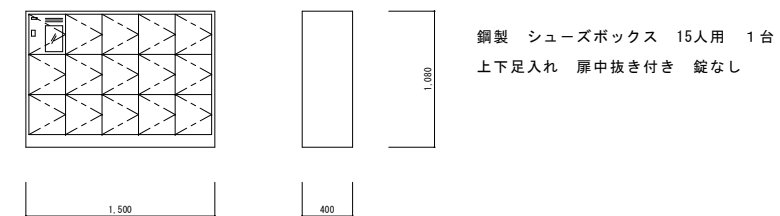
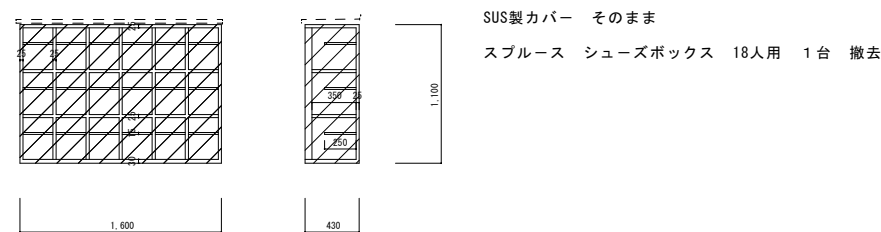
事務室 地袋戸棚 2



事務室 地袋戸棚 3

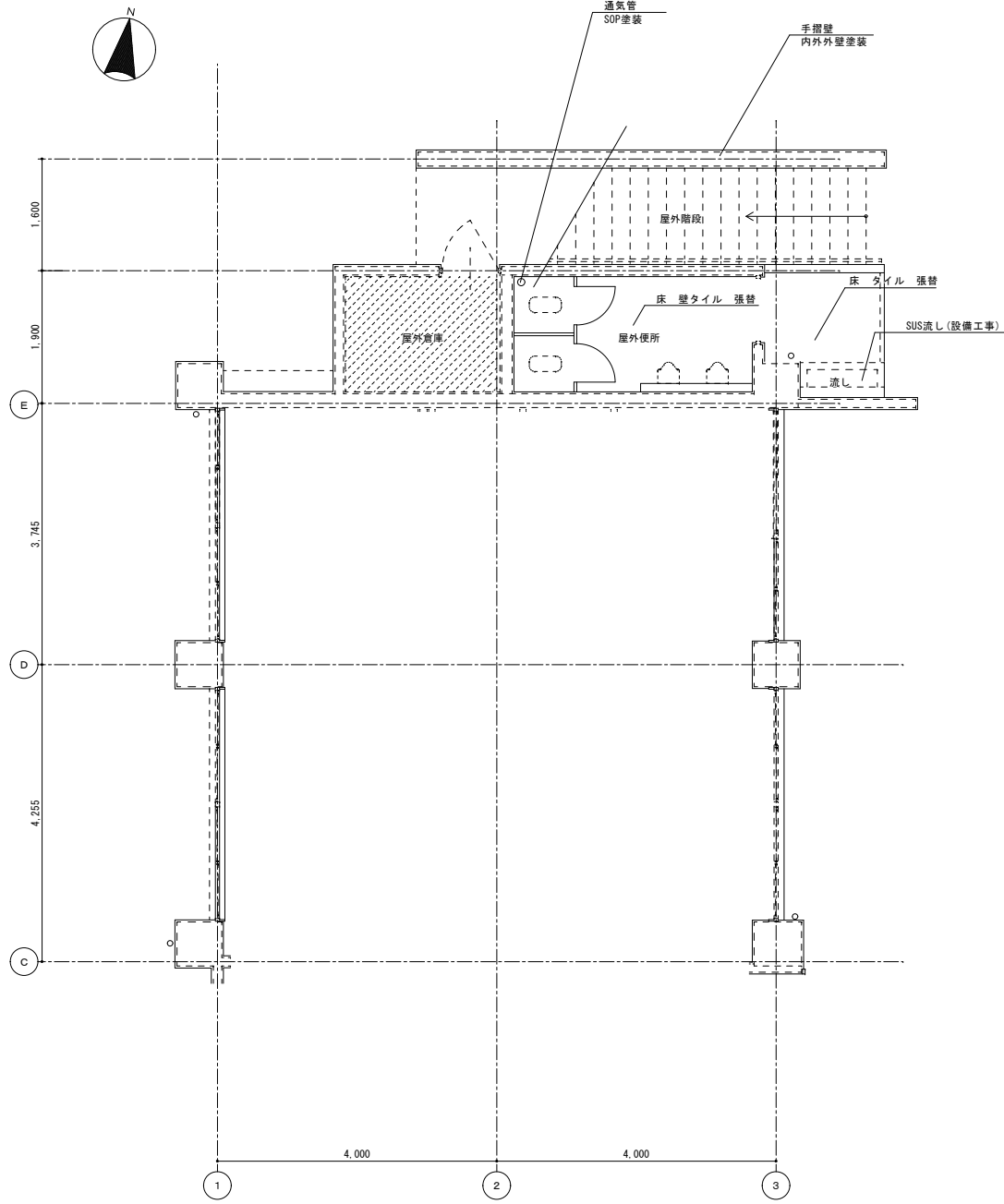


職員用シューズボックス

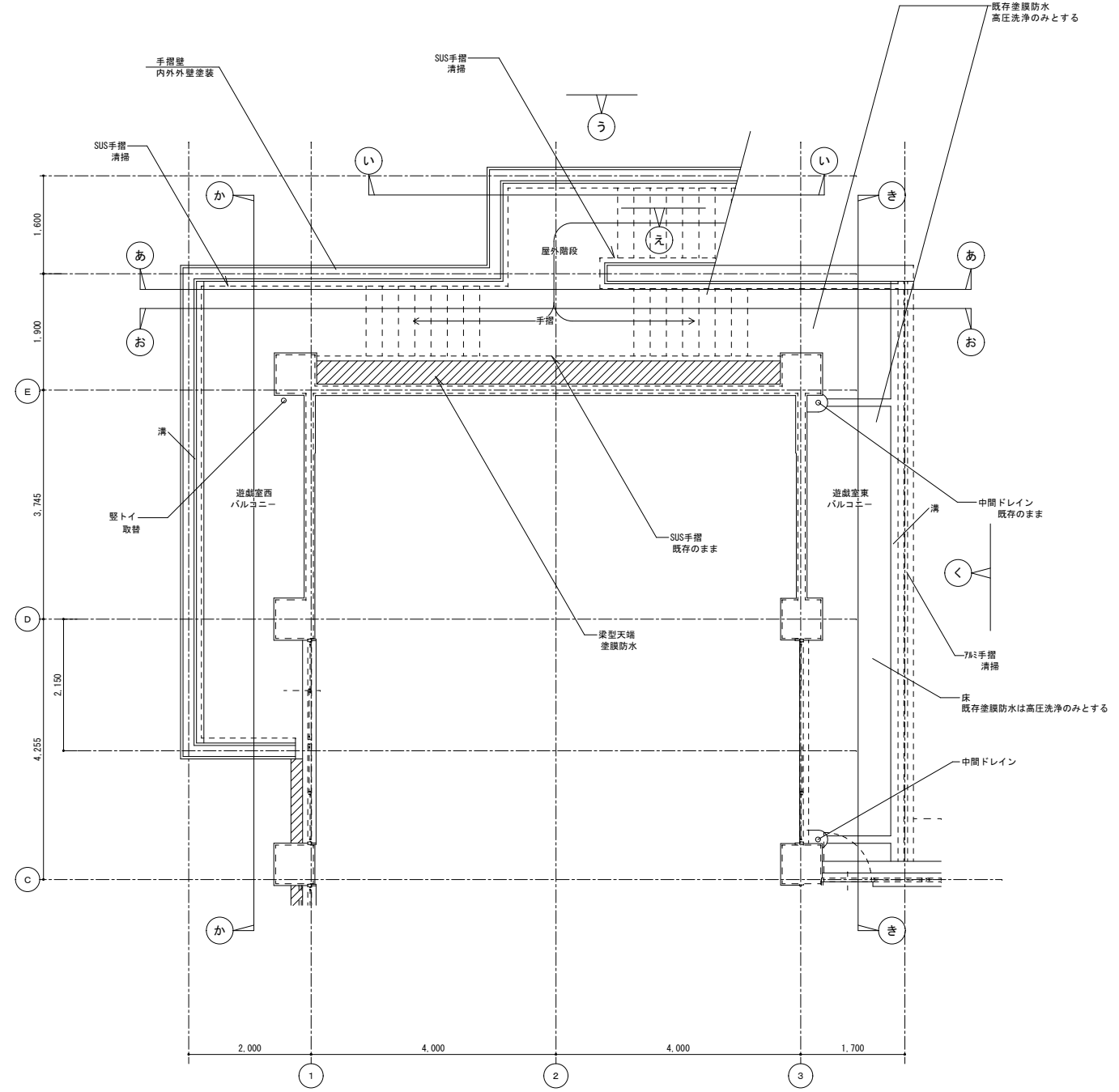


西尾家具工芸社 教師用シューズボックス GST-MD1.A.S 又は同等品

屋外階段・遊戯室東西バルコニー（手摺内外）	
外壁	前 合板型枠コンクリート打ち直し目地切継補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後 既存部 高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付
アルミ手摺	前 清掃
	後 塗膜防水
床面	前 既存部 高圧洗浄
	後 防水モルタル
梁型 (天端笠木)	前 高圧洗浄 ウレタン塗膜防水(X-2)
	後 工事対象外

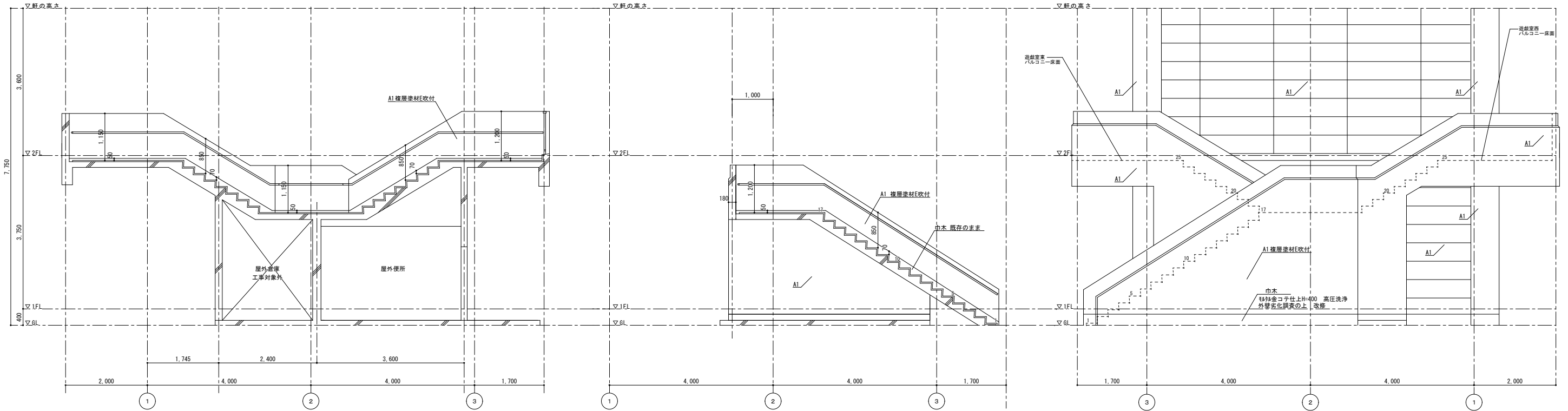


屋外階段 1階平面図



屋外階段 2階平面図

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 2024年1月 建築設計 本田 哲也 代表理事 渋谷 和正 高橋 啓之	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50%
				図面名称 屋外階段・遊戯室バルコニー図1 平面図	縮尺 1/50

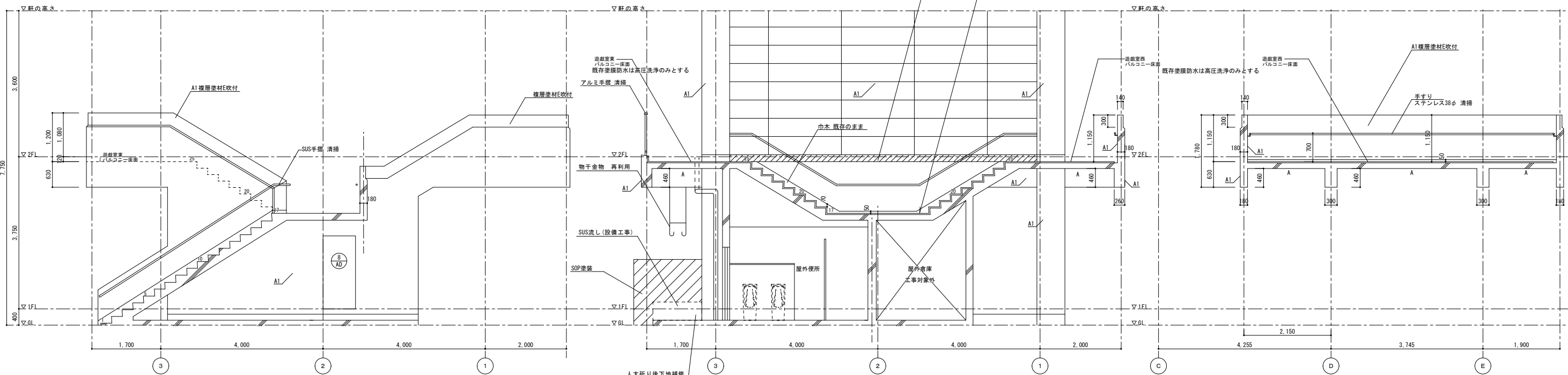


あ 断面図

い 断面図

う 立面図

符号	改修	仕上
A	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切替補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄付塗材E吹付け
A1	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切替補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付け



え 立面図

お 断面図

か 断面図

●土留め位置は、図面通りとし、土留め位置は、図面通りとする。

協同組合
 広島県東部設計センター
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一級建築士事務所登録
 広島県知事登録 第19(1)-2616号
 一級建築士(大臣登録第86537号)
 本田 哲也

担当事務所
 株式会社
 代表理事
 洪谷 和正
 設計年月
 2024年1月
 高橋 啓之

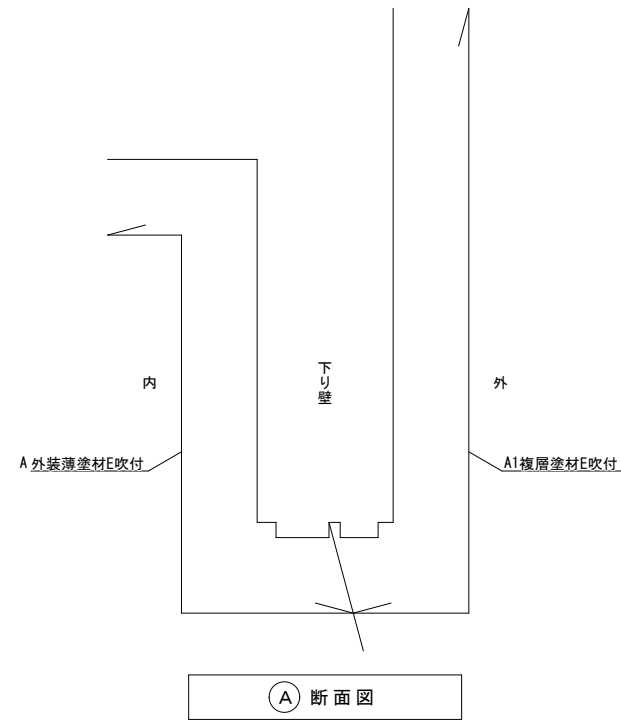


福山市建設局建築部営繕課
 設計
 2024年1月

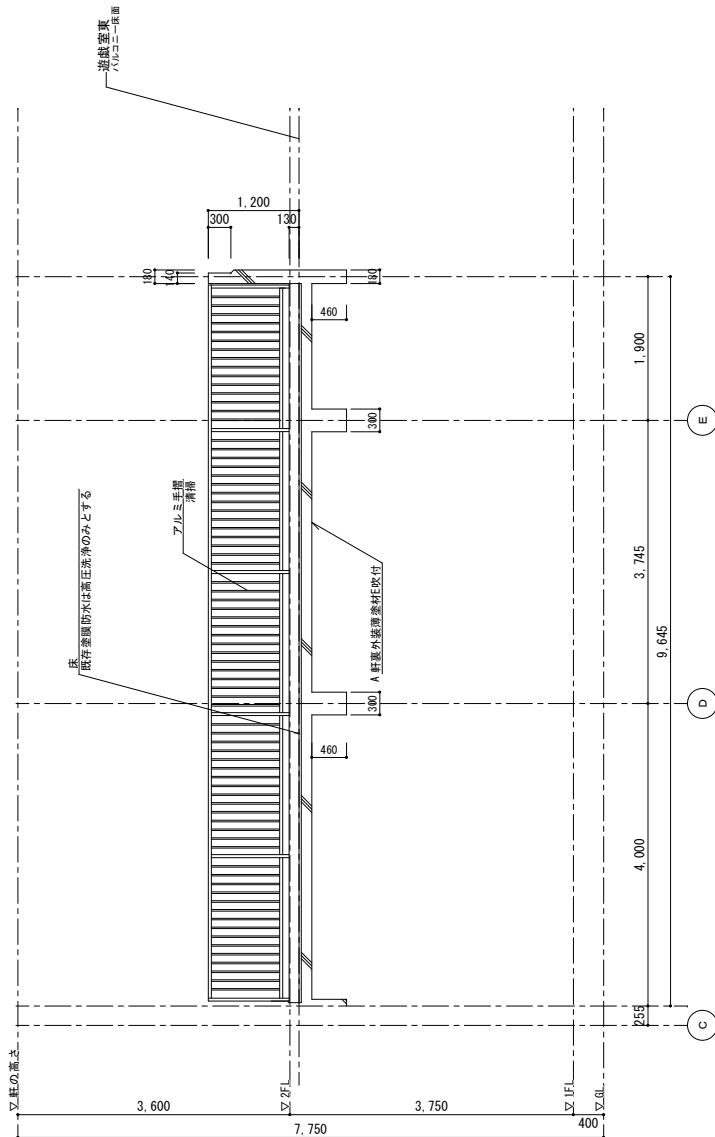
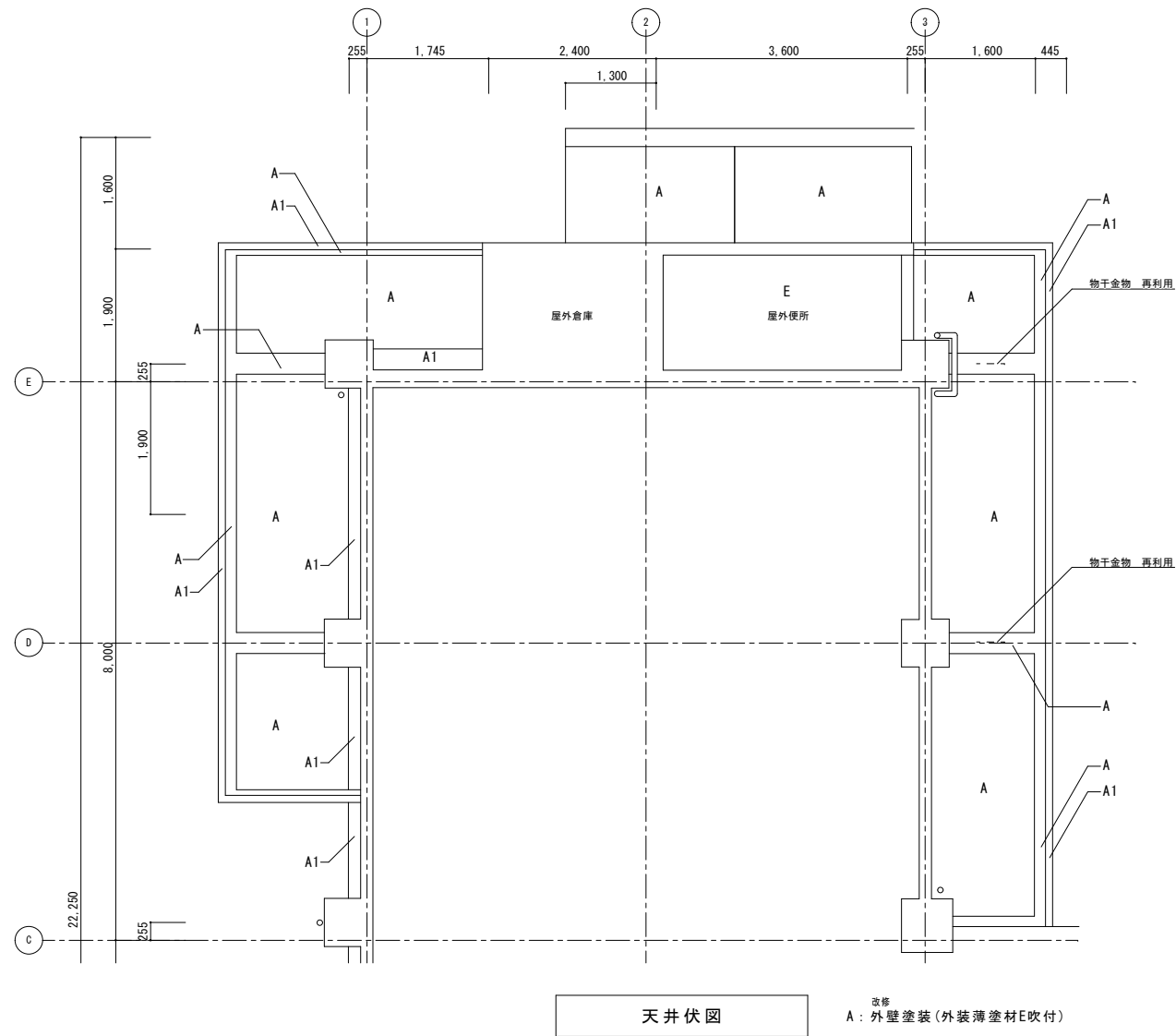
工事名称
 福山市立新市保育所園舎改修工事
 図面名称
 屋外階段・遊戯室A' 廊下-図2 立面図・断面図1

縮尺 1/50

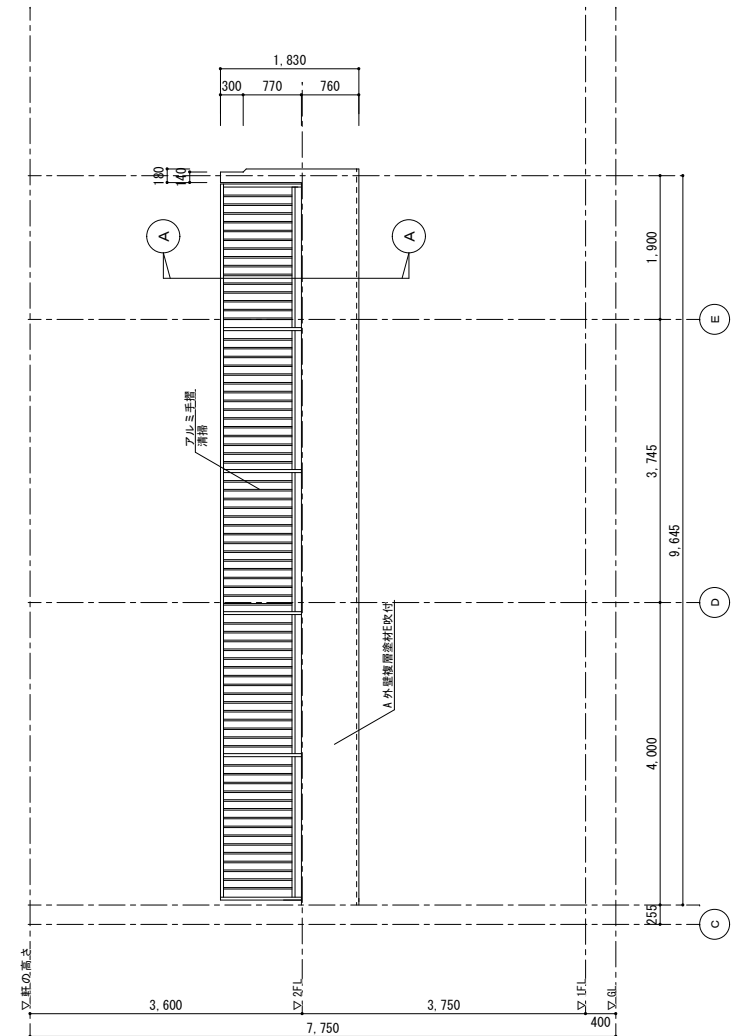
図面No
 A1-100%
 A2-70.7%
 A3-50%
 41/A



符号	改修	仕上
A	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切継ぎ補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄塗材E吹付け
A1	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切継ぎ補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付け



さ 断面図



立 断面図

●此図は印刷用図面であり、1:1000の縮尺で印刷されています。

協同組合
 広島県東部設計センター
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一級建築士事務所登録
 広島県知事登録 第19(1)-2616号
 一級建築士(大臣登録第86537号)
 本田 哲也

担当事務所
 株式会社
 新設設計
 作図
 洪谷 和正
 設計年月
 2024年1月
 代表理事
 高橋 啓之

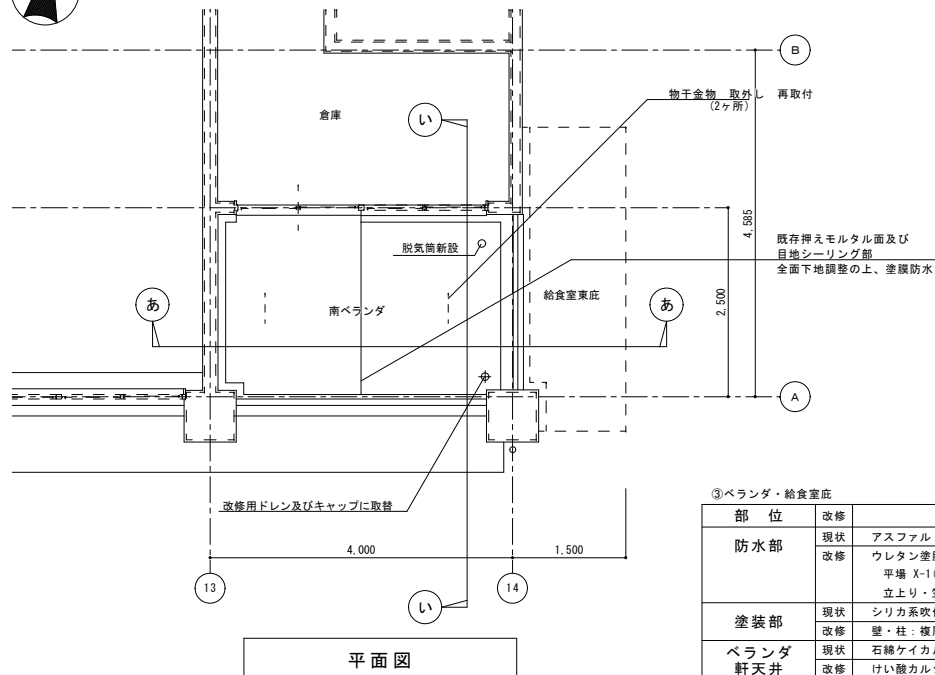


福山市建設局建築部営繕課
 設計
 2024年1月

工事名称
 福山市立新市保育所園舎改修工事
 図面名称
 屋外階段・遊戯室A' #10-C-2 断面図2 天井伏図

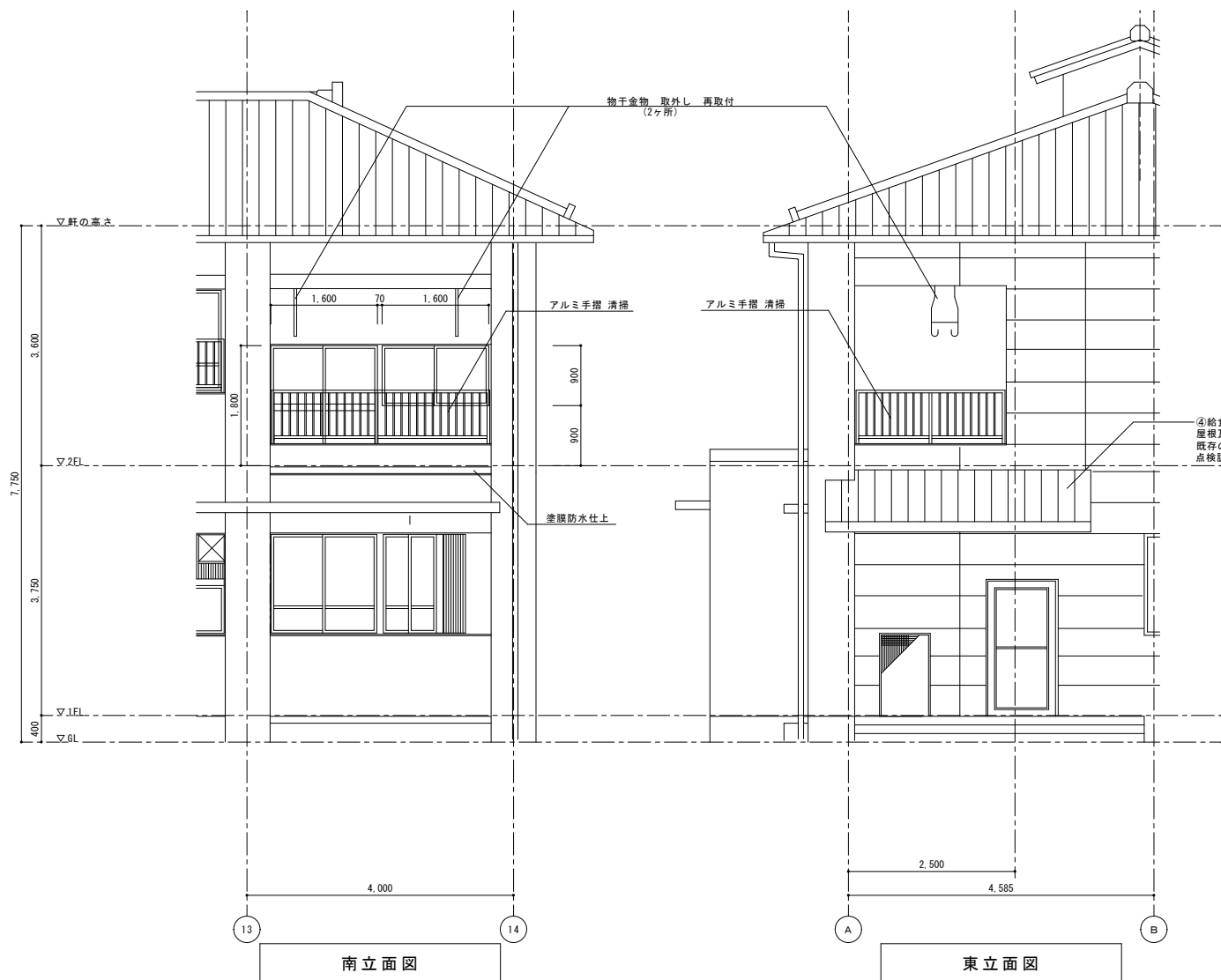
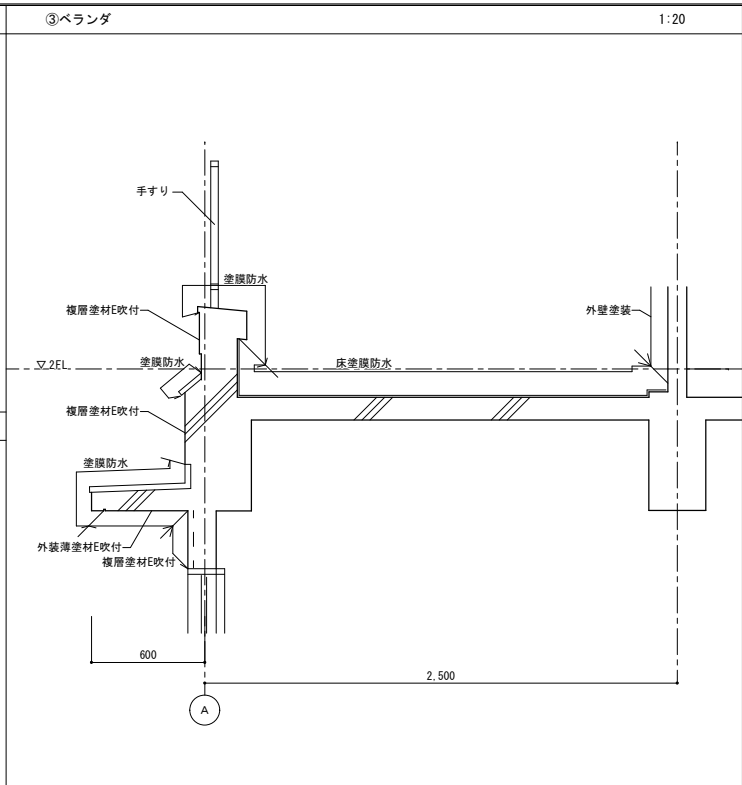
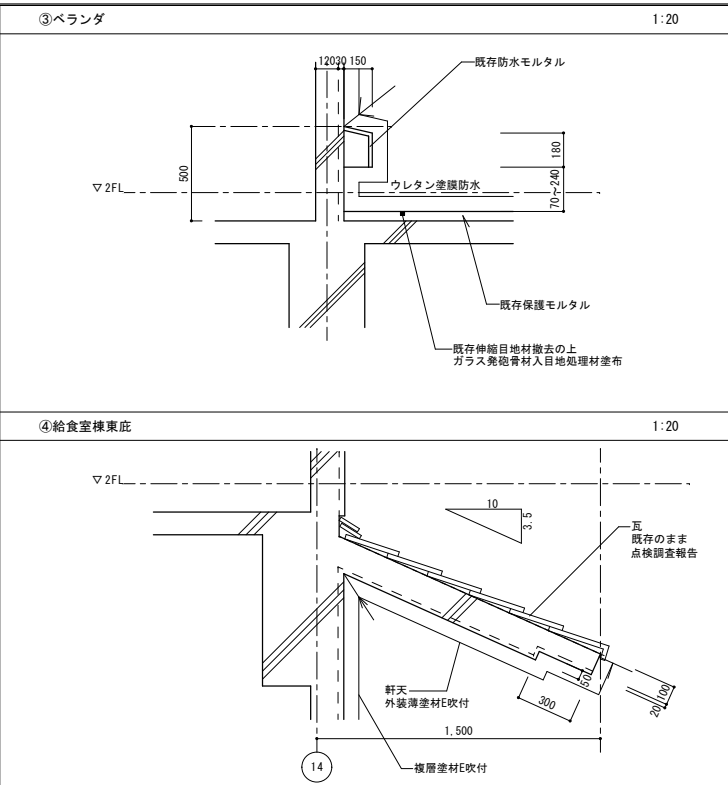
縮尺 1/50

図面No
 A1-100%
 A2-70.7%
 A3-50%
 42 / A



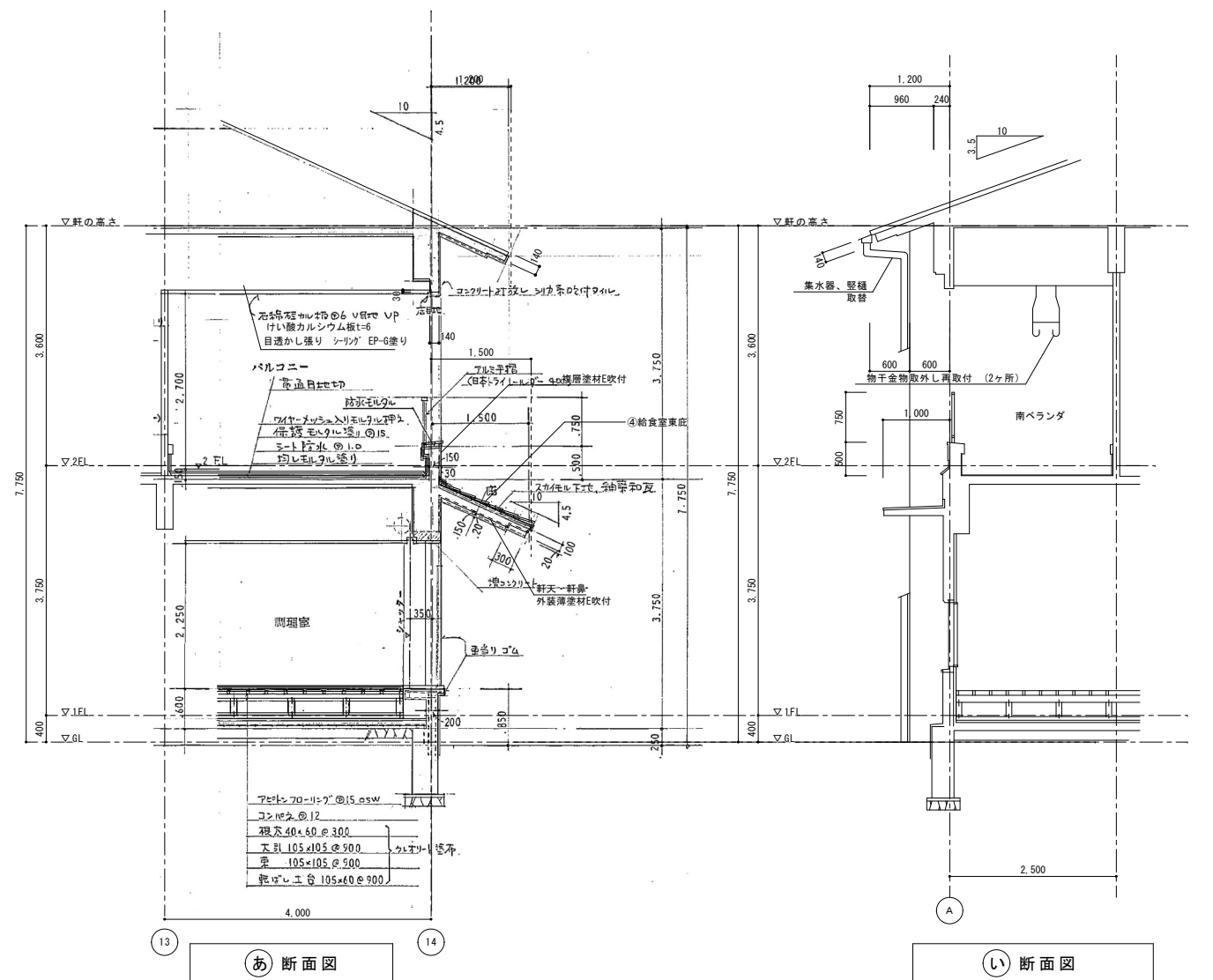
平面図

③ベランダ・給食室庇		
部位	改修	仕上
防水部	現状	アスファルト防水の上保護モルタル
	改修	ウレタン塗膜防水
	改修	平場 X-1(特定化学物質無配合) 立上り・笠木 X-2(特定化学物質無配合)
塗装部	現状	シリカ系吹付タイル吹付
	改修	壁・柱：複層塗材E吹付 軒裏：外装薄塗材E吹付
ベランダ 軒天井	現状	石綿ケイカル板t=6(アスベスト含有) 撤去
	改修	けい酸カルシウム板t=6 目隠し張り シーリング EP-G塗り



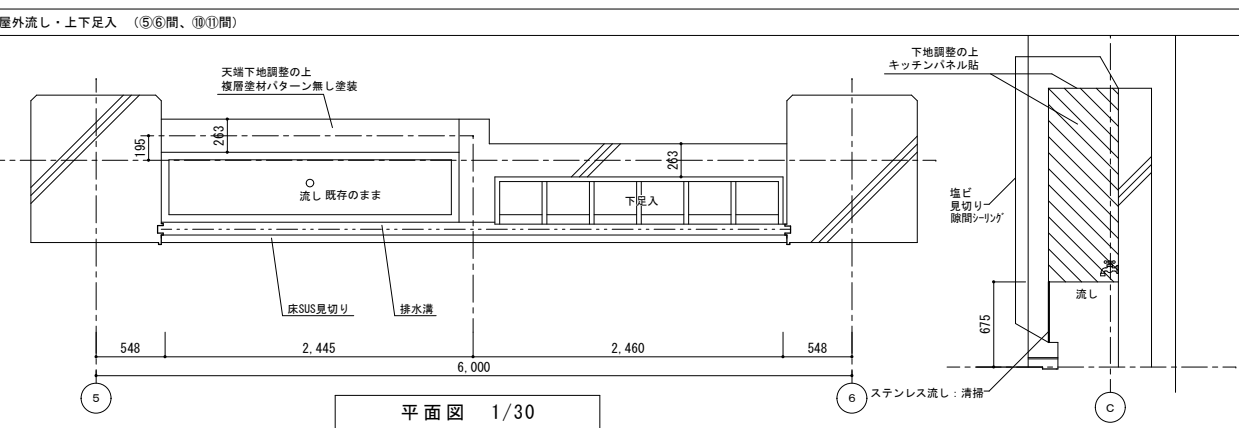
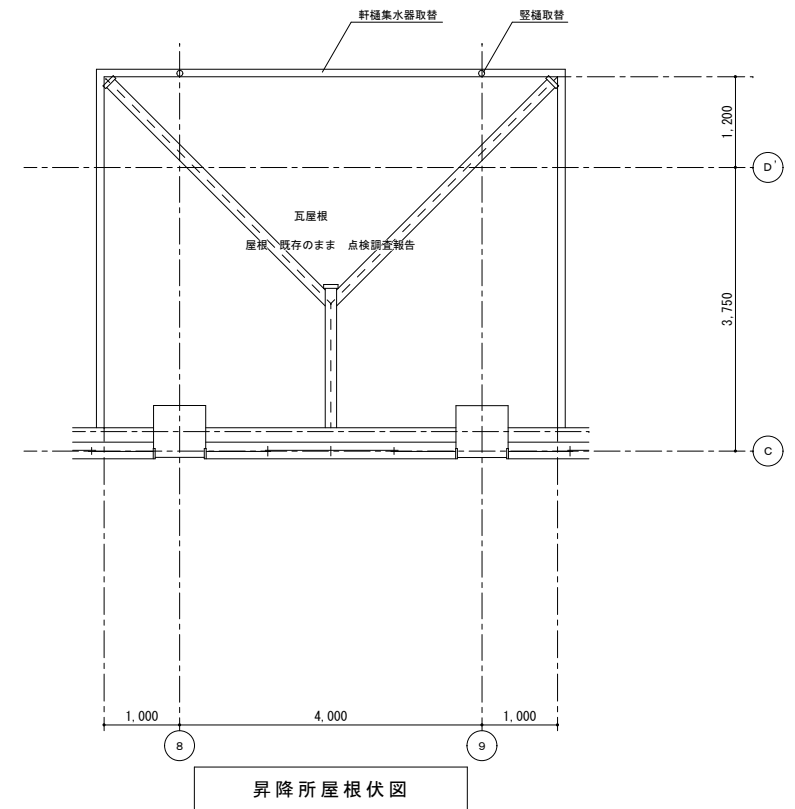
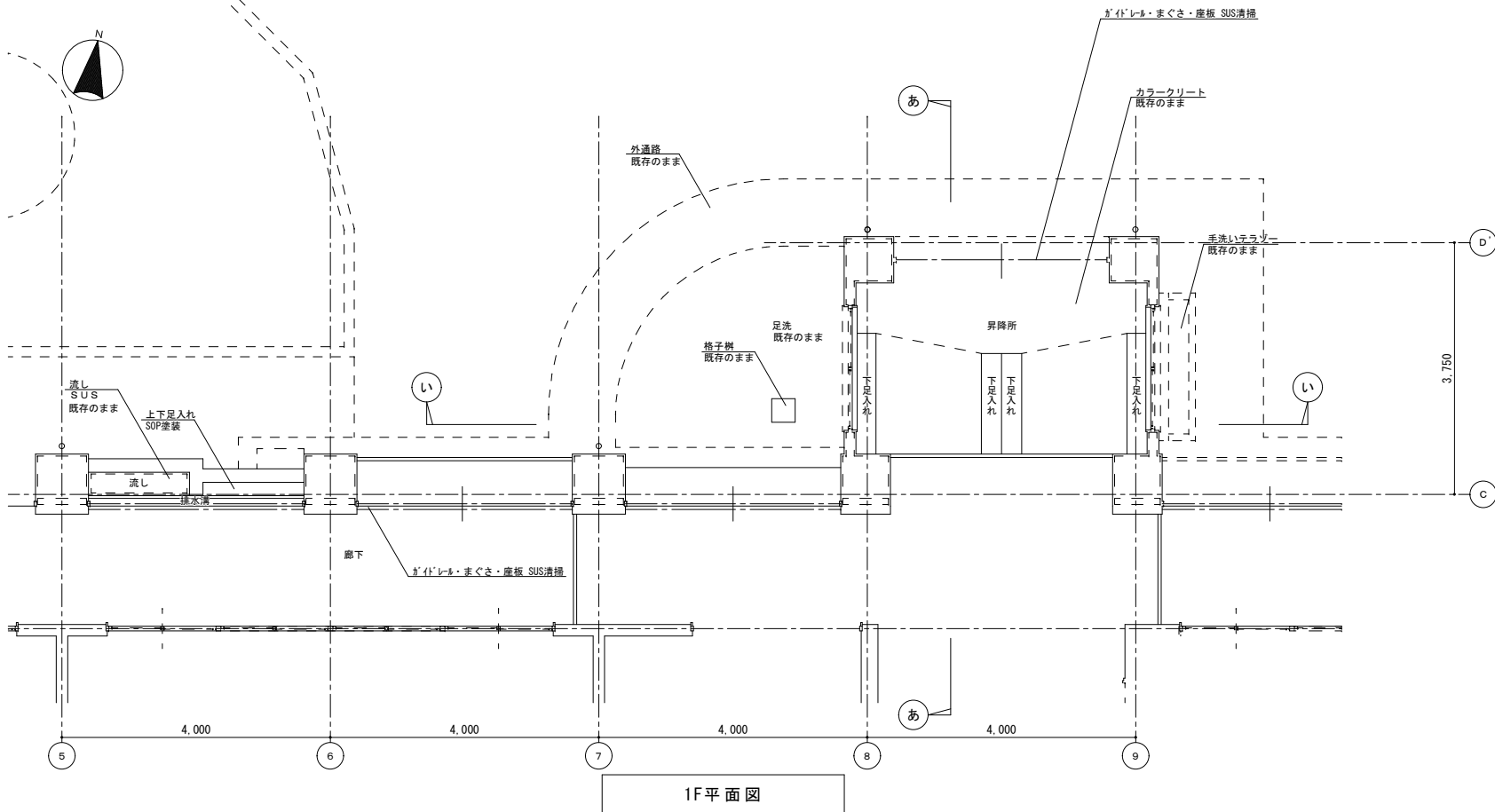
南立面図

東立面図

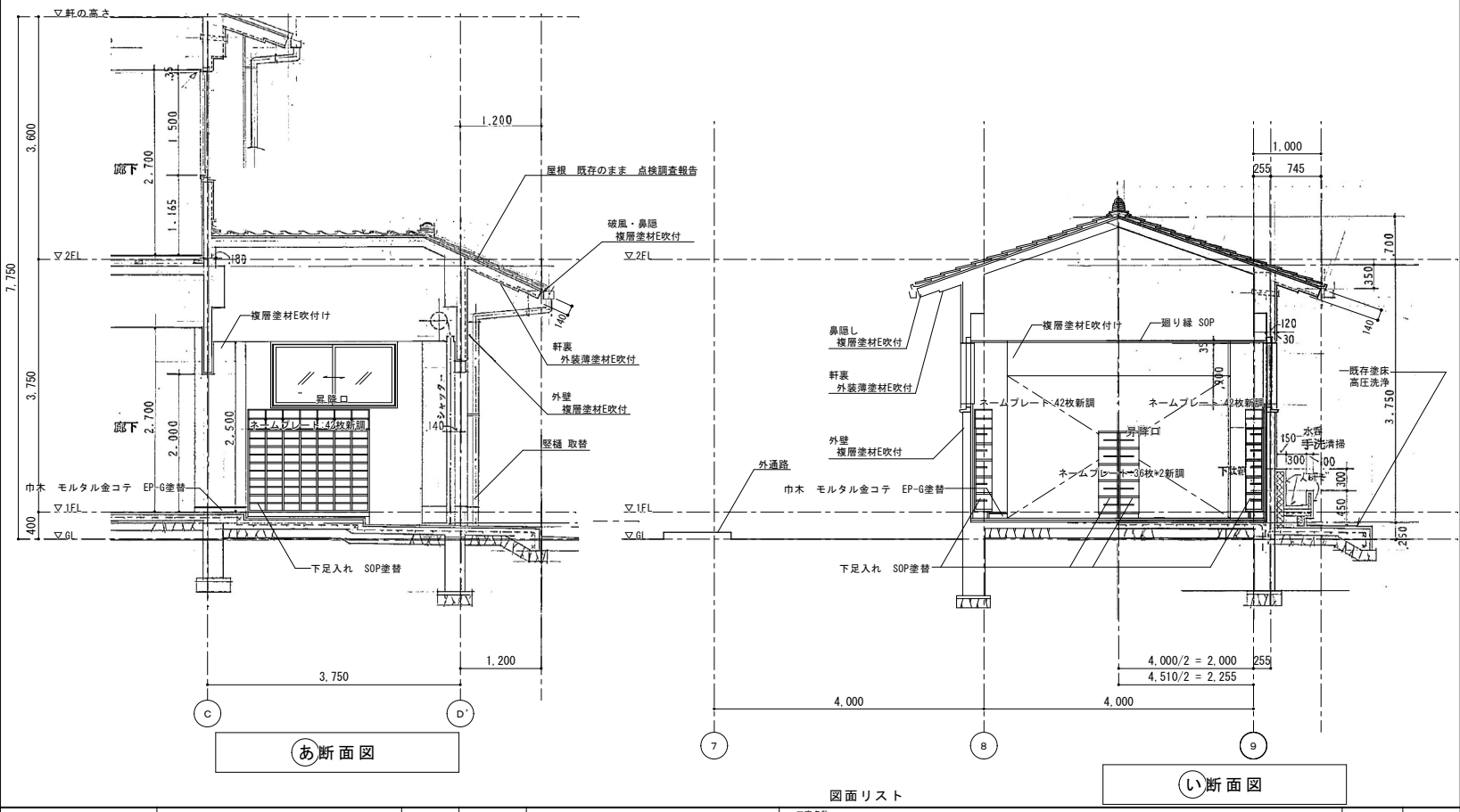
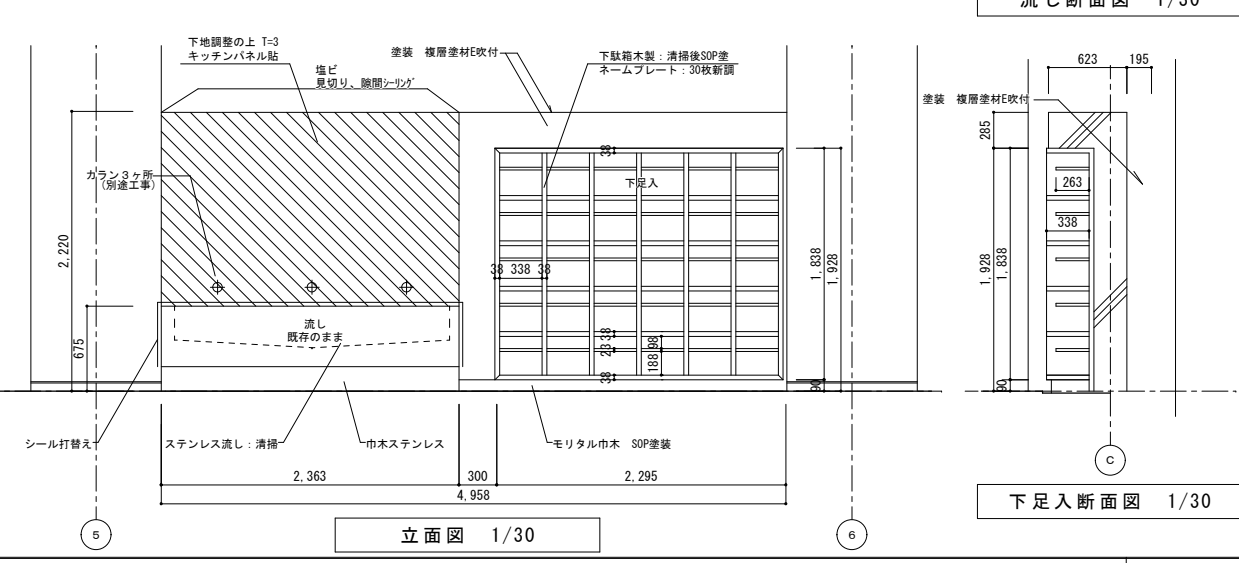


あ 断面図

い 断面図



特記 ネームプレート：アルミ合金 60*20 計216個取替 ホ「ツルヒ」製又は同等品

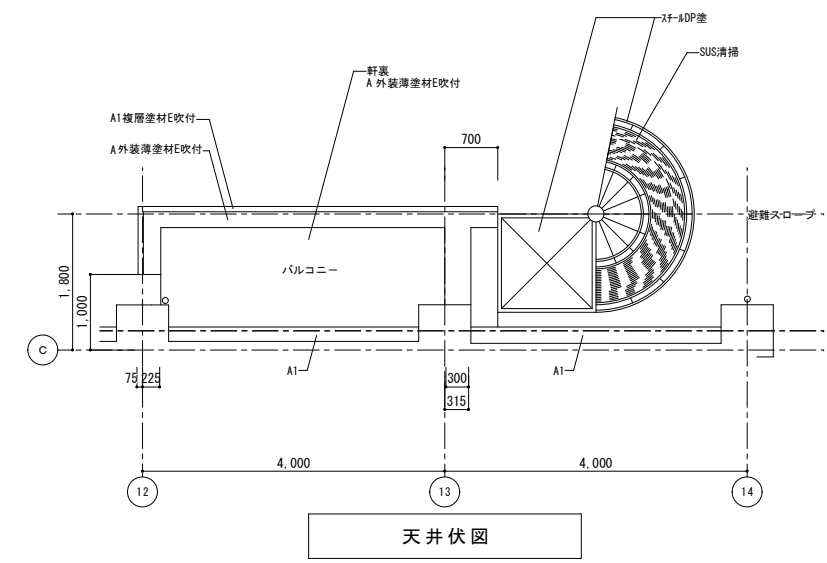
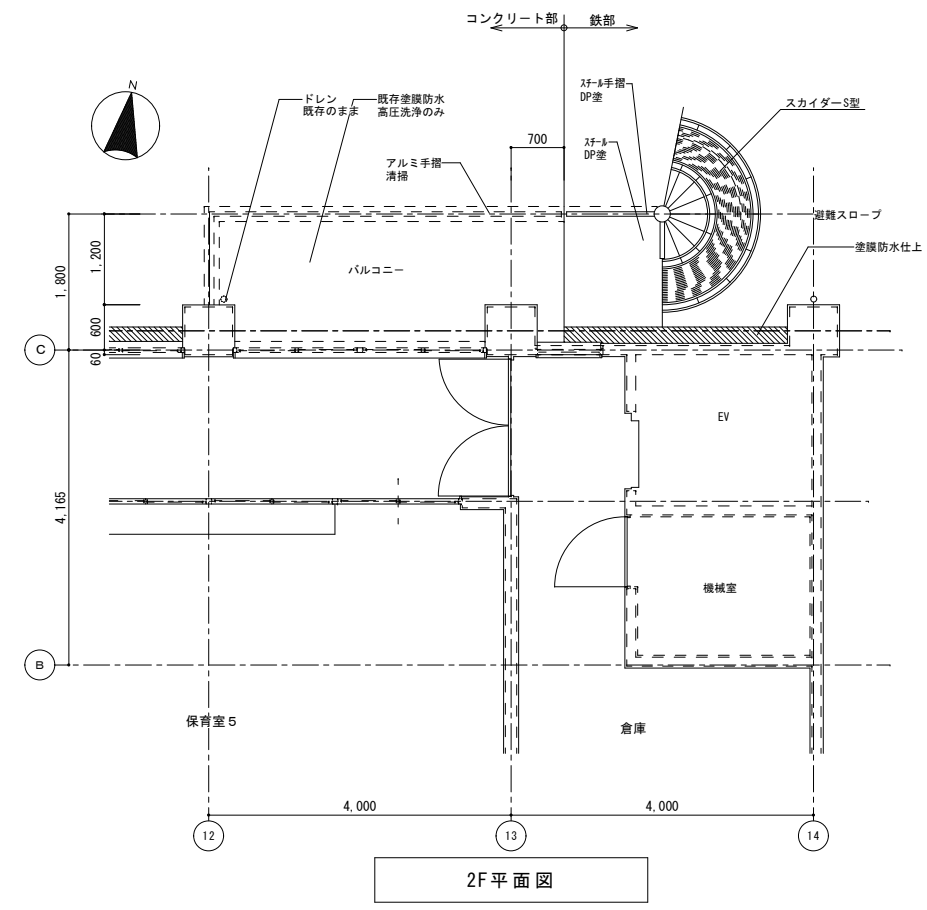
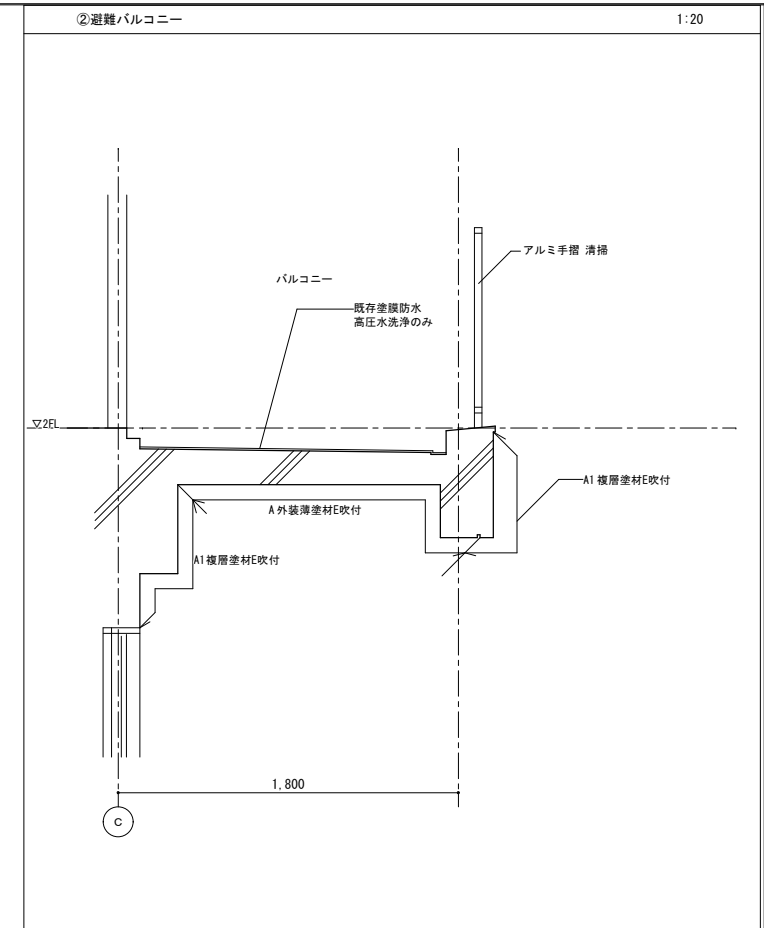
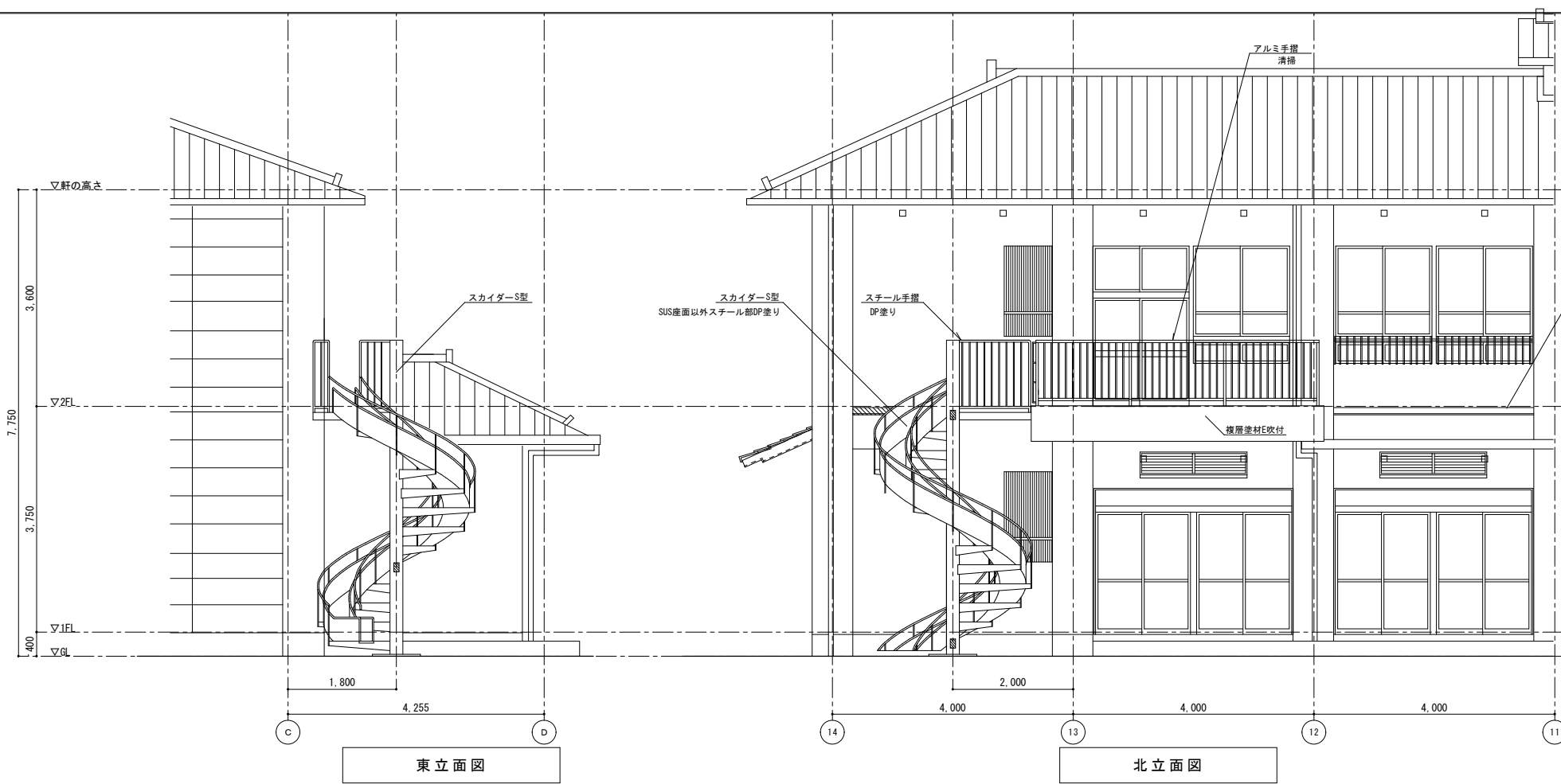


図面リスト

図面No.	A1-100%	図面No.	44/A
	A2-70.7%		
	A3-50%		

●此図面は、建築士事務所が作成したものであり、著作権は本事務所にあります。

協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号)	担当事務所 株式会社 株式会社 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 代表理事 高橋 啓之	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 昇降所・足洗・屋外流し・上下足入れ詳細図 縮尺 1/50・1/30	図面No. 44/A
	本田 哲也	株式会社 株式会社 代表理事 高橋 啓之	設計 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 昇降所・足洗・屋外流し・上下足入れ詳細図 縮尺 1/50・1/30	図面No. 44/A



②避難バルコニー(外壁部・軒裏)

塗装部	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	既存部 高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付、外装薄塗材E吹付
避難スロープ		
スチール部	前	鉄部 DP塗り
	後	鉄部-下地処理の上 耐熱性塗料(DP)塗り SUS部 高圧洗浄

符号	改修	仕上
A	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 外装薄塗材E吹付
A1	前	合板型枠コンクリート打ち放し目地切総補修の上シリカ系吹付タイル吹付
	後	高圧洗浄 外壁劣化調査 改修の上 複層塗材E吹付

図面リスト

図面No.	図面名称	縮尺	割合
A1-100%	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事		
A2-70.7%	図面名称 避難バルコニー・スカイダー-図1 平面図・立面図・部分詳細図	縮尺 1/50・1/20	45/A
A3-50%			

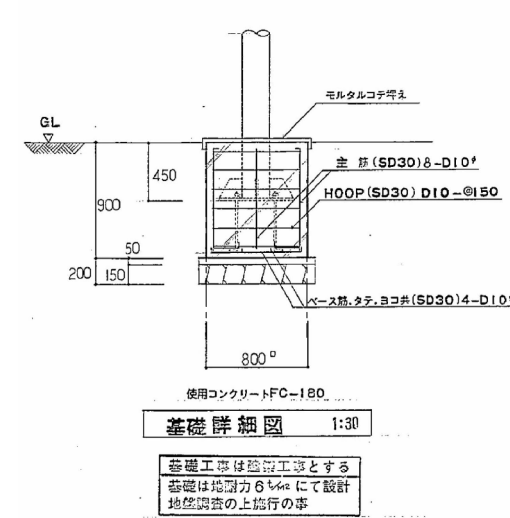
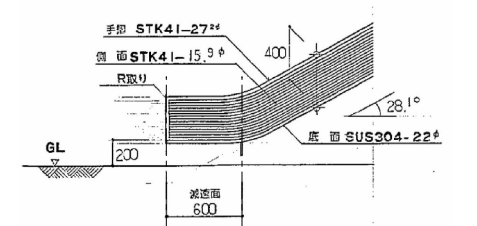
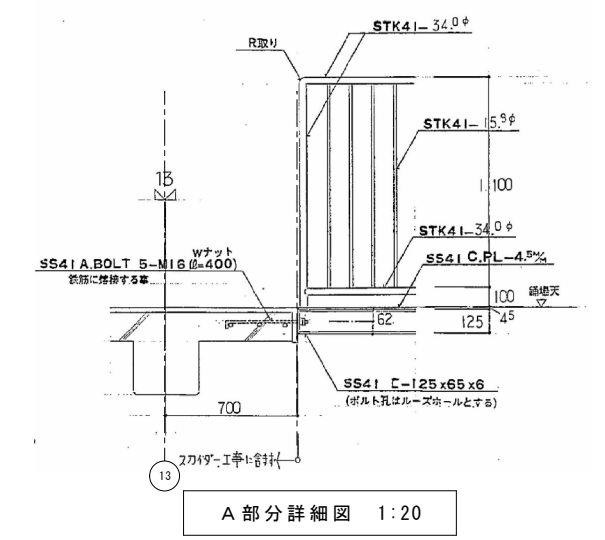
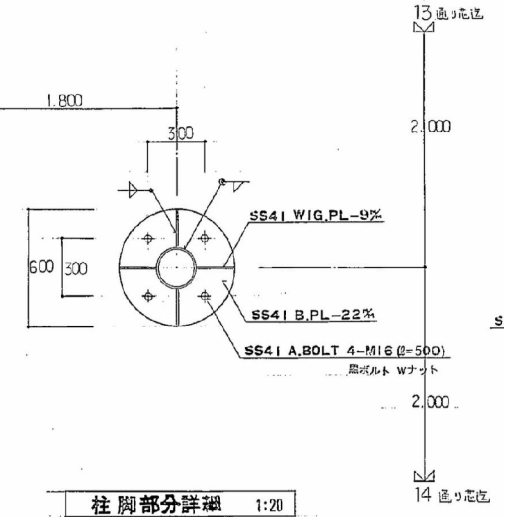
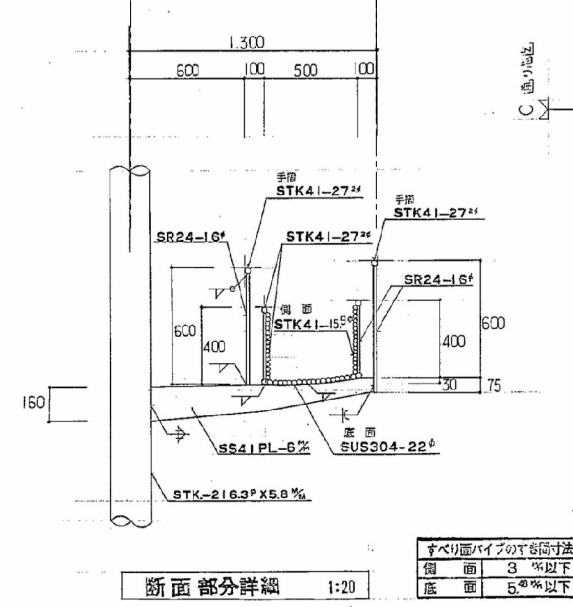
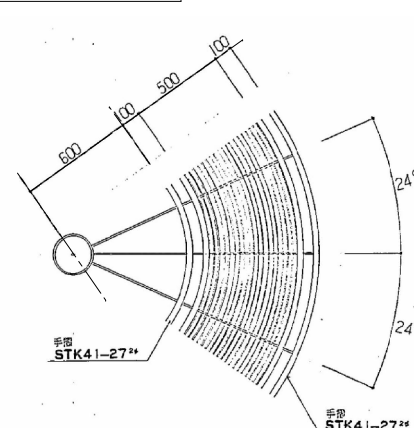
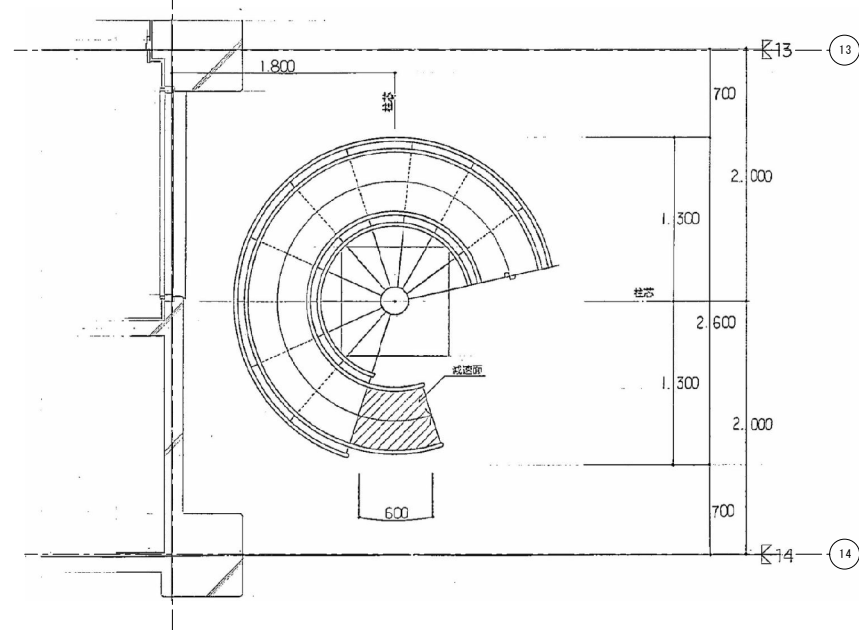
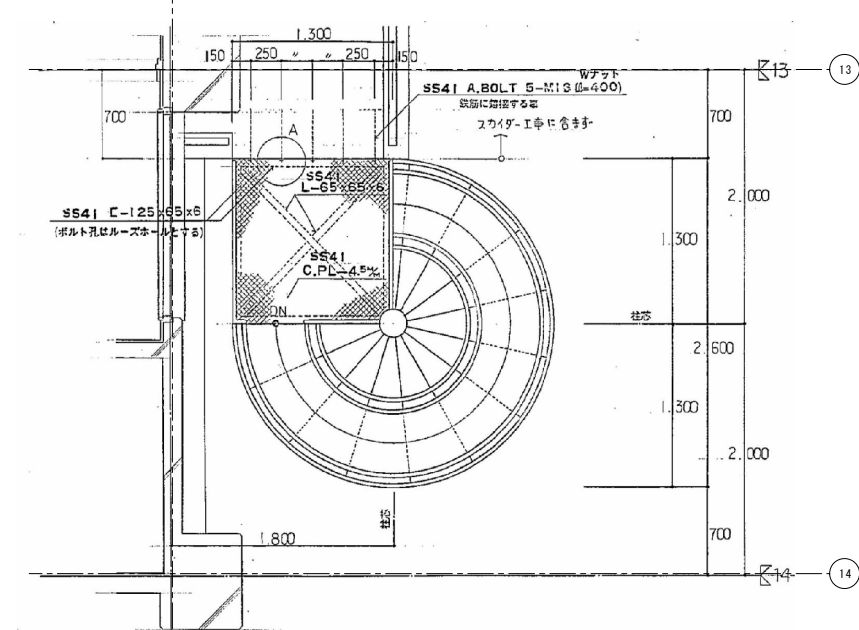
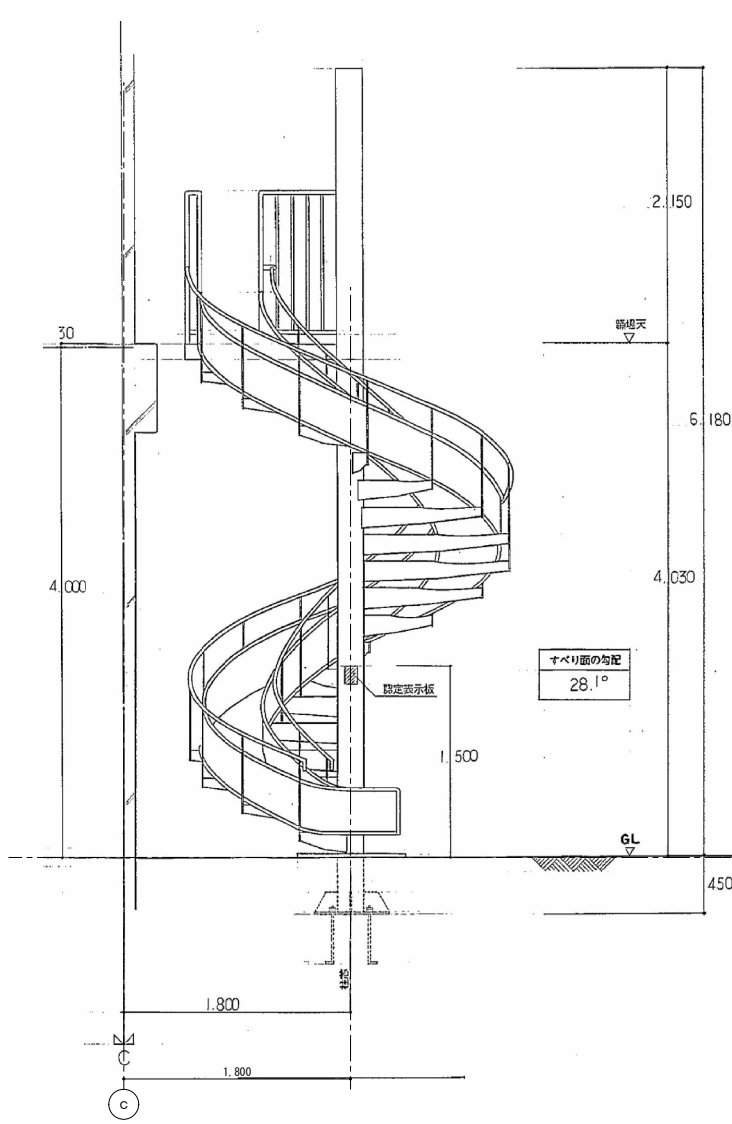
協同組合
広島県東部設計センター
〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035

一級建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
一級建築士(大臣登録第86537号)
本田 哲也

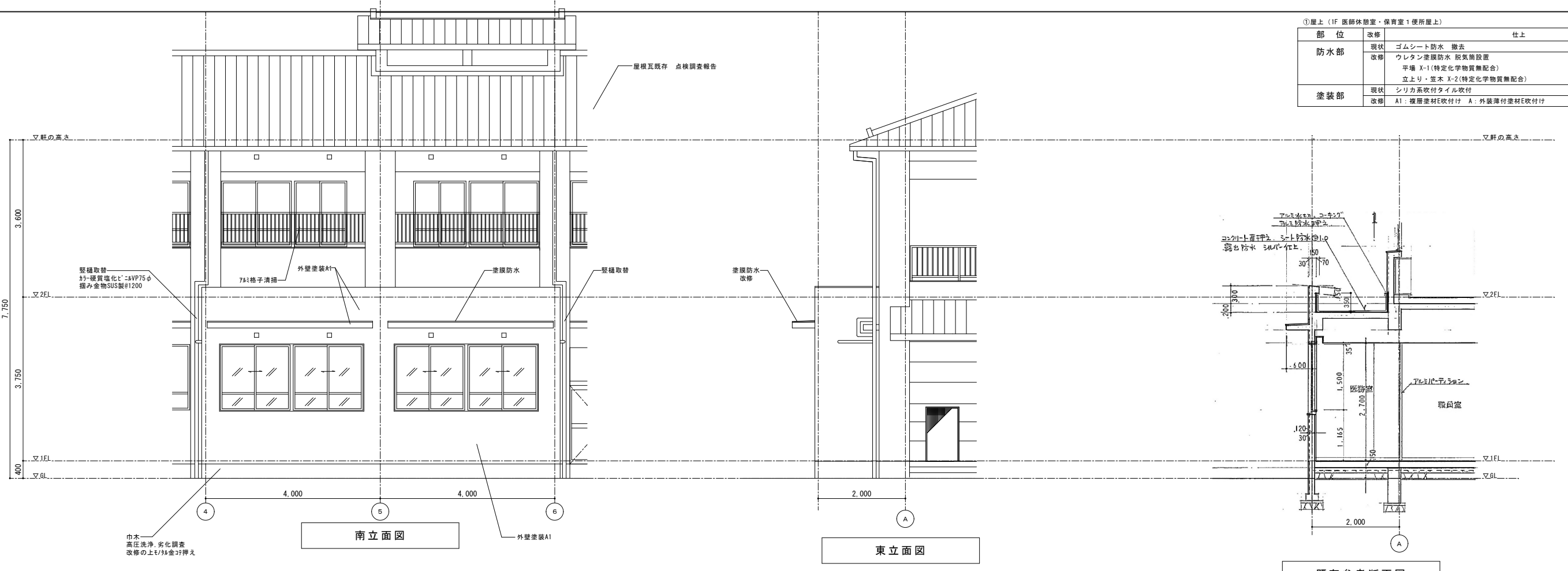
担当事務所
機洗谷設計
代表理事
洪谷 和正
高橋 啓之

設計年月
2024年1月

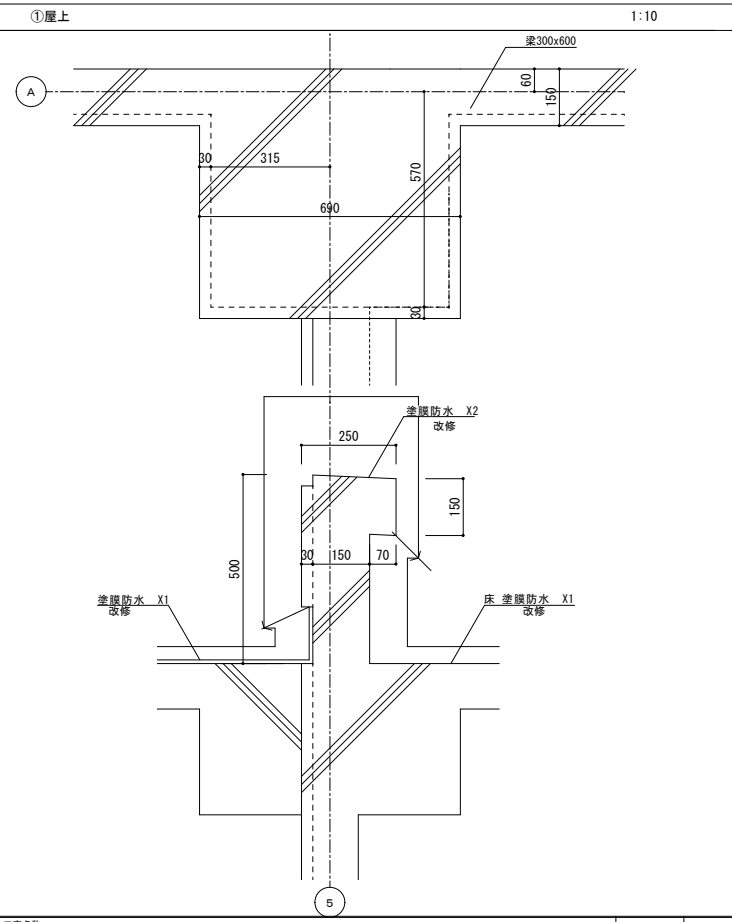
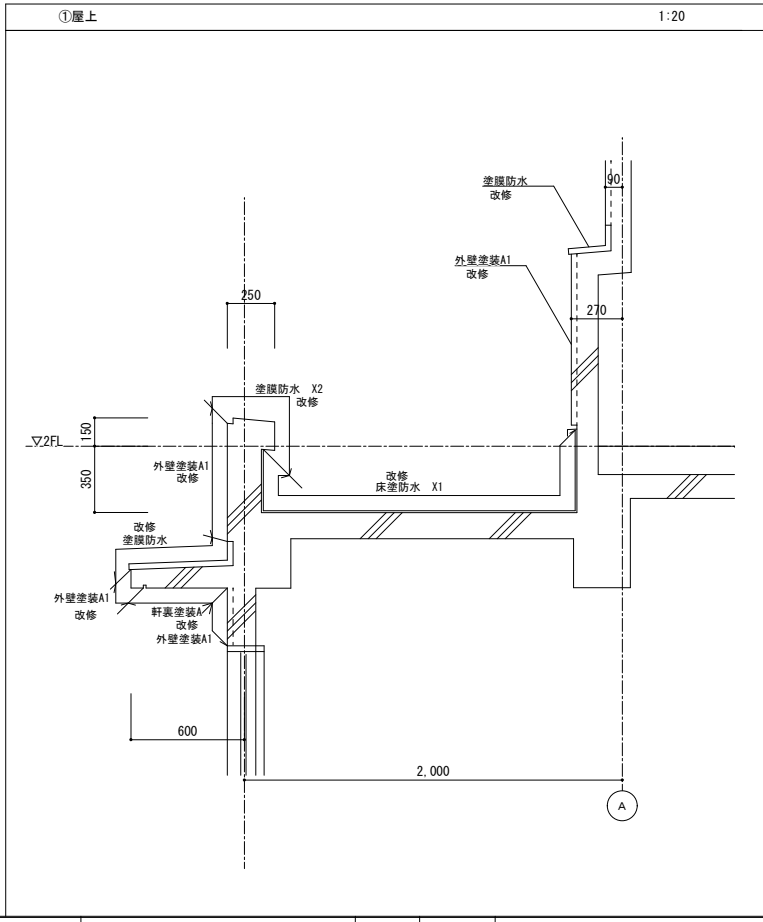
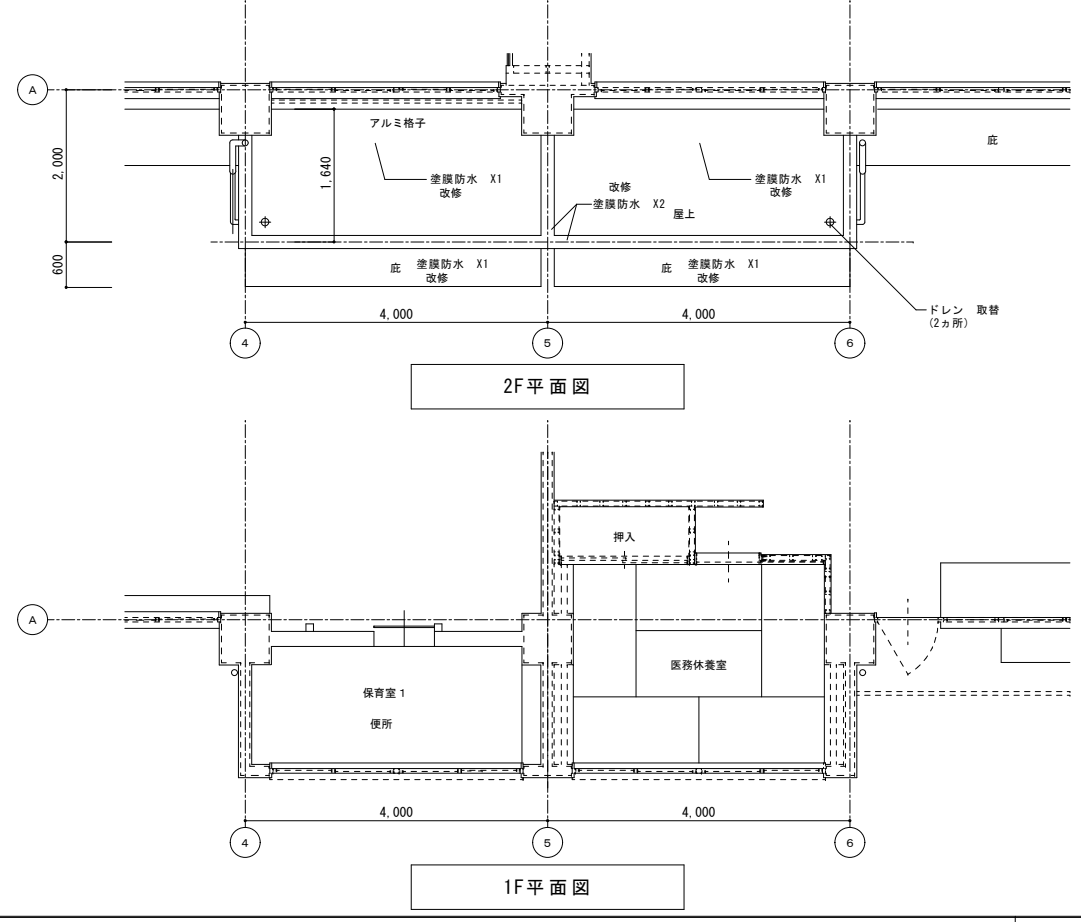
福山市建設局建築部営繕課
設計
2024年1月



- | 特記事項 |
|---|
| ① 当製品は消防法令第25条に基づき避難用すべり台とする |
| ② 製作及び施工は消防施設工事許可及び消防設備士の有資格者とする |
| ③ 当製品は日本消防設備安全センターの(認定・性能評定)合格品とする |
| ④ 表示板は消防庁告示第10号に準ずるものとし認定及び性能評定は日本消防設備安全センター交付の合格マークを取り付ける事 |
| ⑤ 当製品には生産物検査責任保険に加入するものとする |
| ⑥ すべり床面のR取り及び傾斜はスカイダー専用工法に準ずる |
| ⑦ 曲げ加工は材質変化を極力抑える為金べて冷間加工とする |
| ⑧ ステンレス仕上げは水洗及び薬品処理をほどこすものとする |
- 数値は全て工場内寸法とする



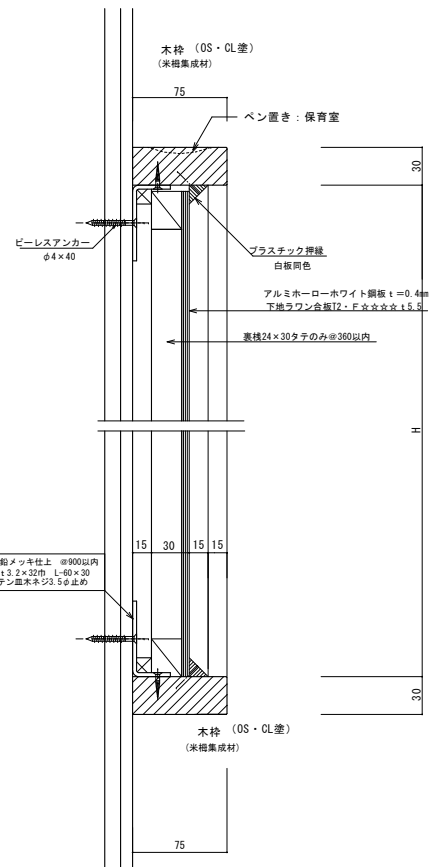
①屋上 (1F 医師休憩室・保育室1 便所屋上)		
部位	改修	仕上
防水部	現状	ゴムシート防水 撤去
	改修	ウレタン塗膜防水 脱気筒設置 平場 X-1 (特定化学物質無配合) 立上り・笠木 X-2 (特定化学物質無配合)
塗装部	現状	シリカ系吹付タイル吹付
	改修	A1: 複層塗材E吹付け A: 外装薄付塗材E吹付け



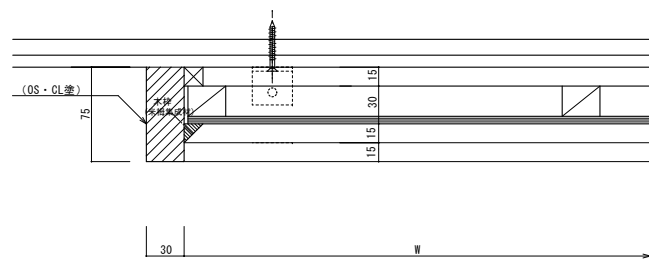
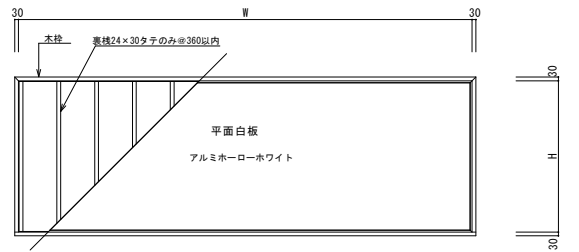
<p>● 建築士事務所 〒740-0005</p>	<p>協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0005 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035</p>		<p>一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也</p>	<p>担当事務所 福山設計 作図 代表理事 高橋 啓之</p>	<p>設計年月 2024年1月</p>	<p>福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月</p>	<p>工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事</p>	<p>図面名称 南屋上図</p>	<p>縮尺 1/50・1/20・1/10</p>	<p>図面No A1-100% A2-70.7% A3-50% 47/A</p>
	<p>協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0005 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035</p>									
	<p>協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0005 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035</p>									

ホワイトボード 詳細図

S=1:3

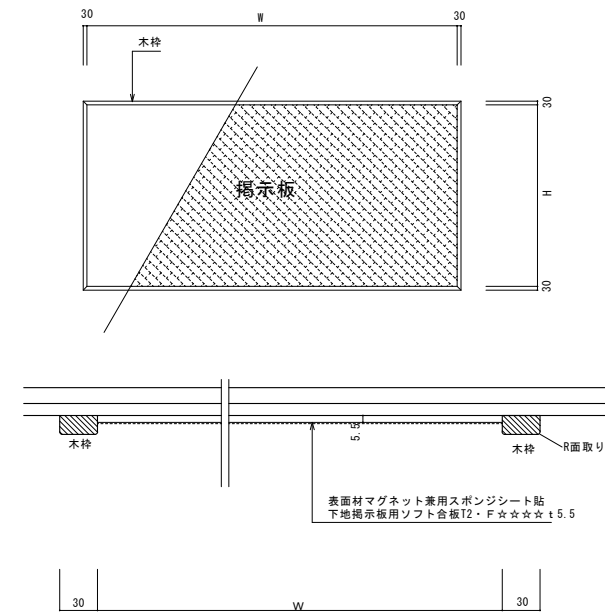
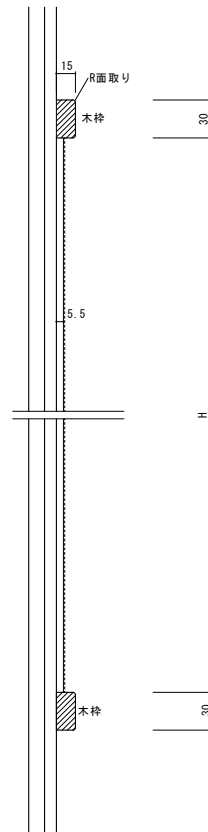


室名	W	H	数量	備考
保育室	2,700	1,200	5	50×50暗線入
事務室	2,700	1,200	1	行事用
乳児室2	2,700	1,200	1	50×50暗線入
子育て支援室	2,700	1,200	1	50×50暗線入



木枠掲示板

S=1:3



室名	仕様
保育室・乳児室・事務室	掲示クロス張替え
遊戯室	木枠 SOP塗替え

※木枠の塗装は、自然塗料塗りとする。

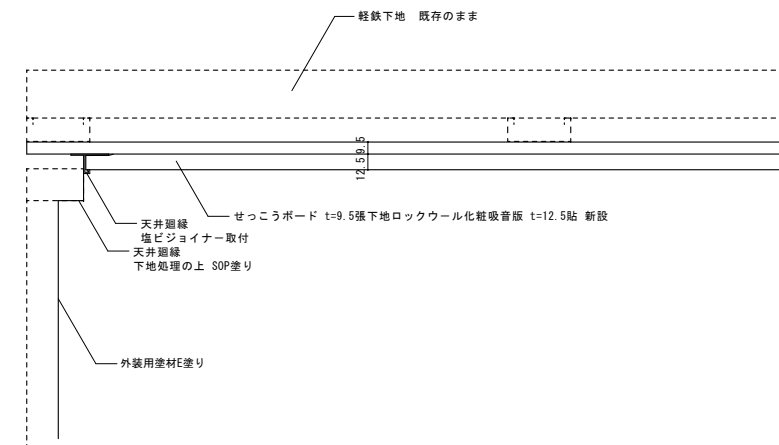
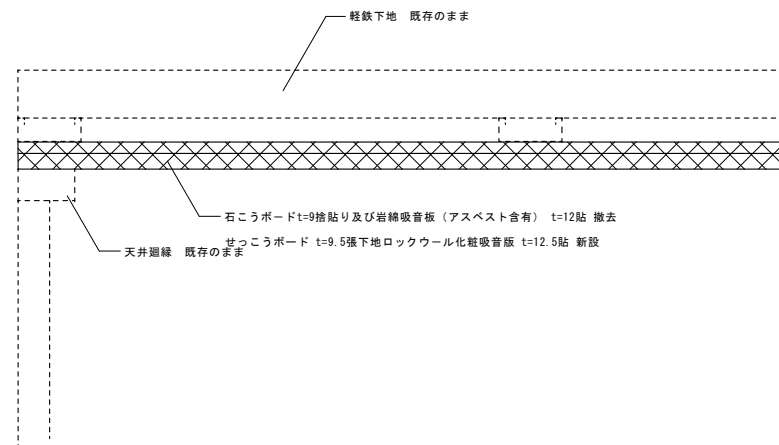
※ラワン合板は使用しない。

遊戯室天井廻縁詳細図

S=1:3

改修前 改修後

S=1:3



協同組合
広島県東部設計センター
〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一級建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
一級建築士(大臣登録第86537号)
本田 哲也

担当事務所
福山建築設計事務所
作図
測山 正
代表理事
高橋 啓之



福山市建設局建築部営繕課
設計
2024年1月

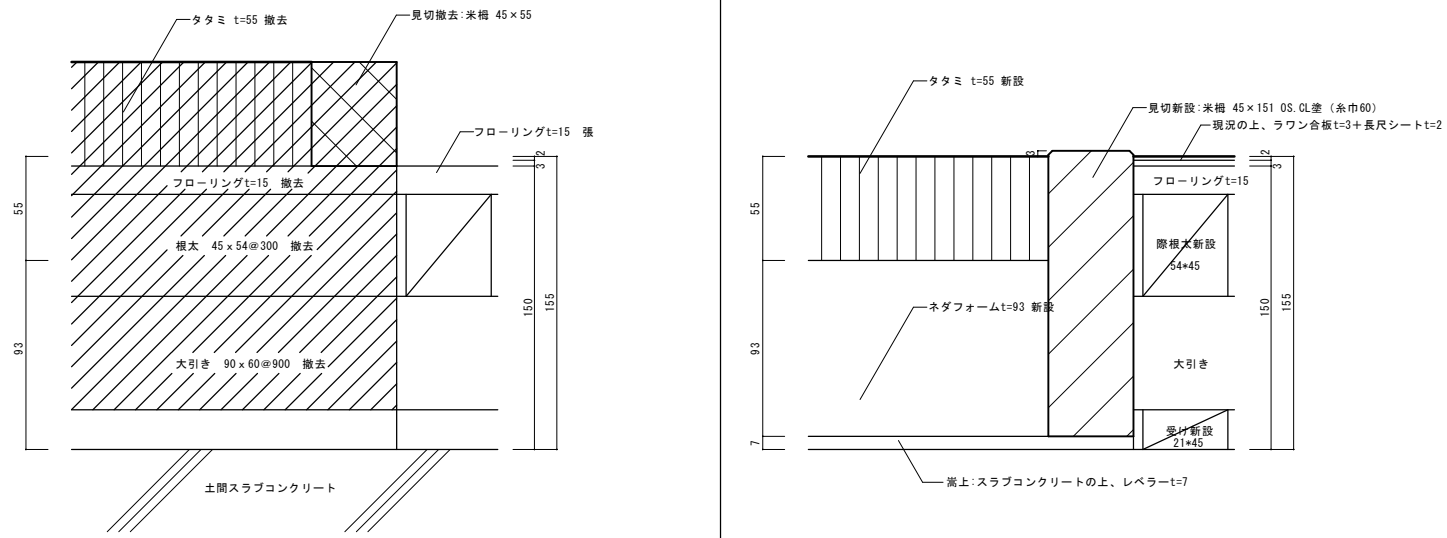
工事名称
福山市立新市保育所園舎改修工事
図面名称
部分詳細図 1 (ホワイトボード・掲示板・天井廻縁部)

縮尺
1/3
A1-100%
A2-70.7%
A3-50%
48/A

乳児室2 タタミ部分詳細図

S=1:2

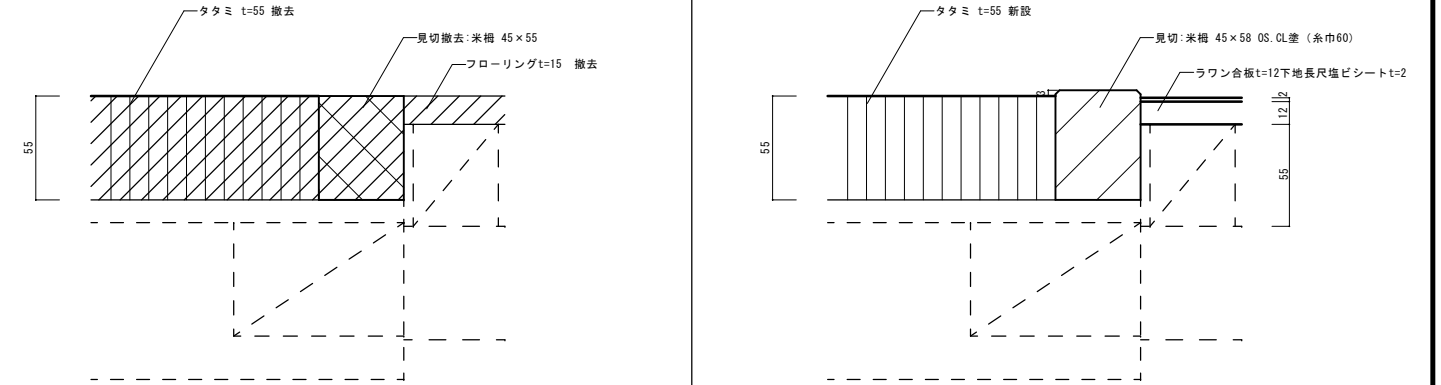
改修前 改修後



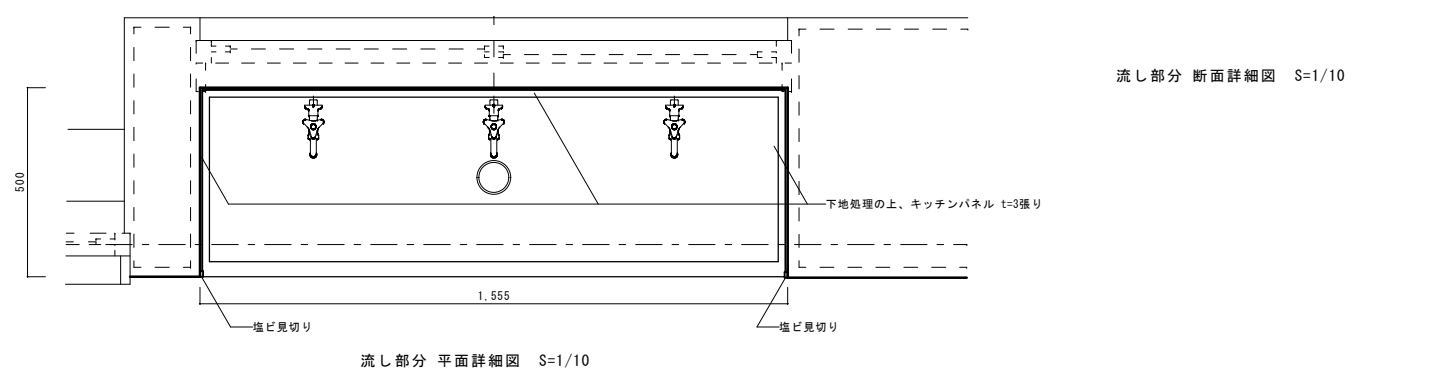
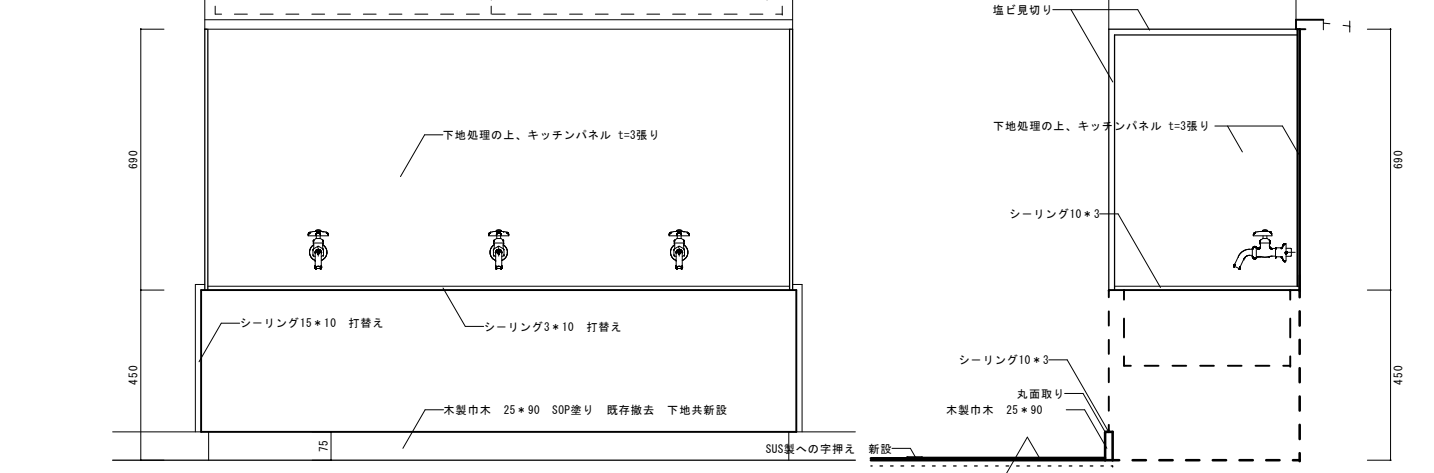
乳児室1 タタミ部分詳細図

S=1:2

改修前 改修後



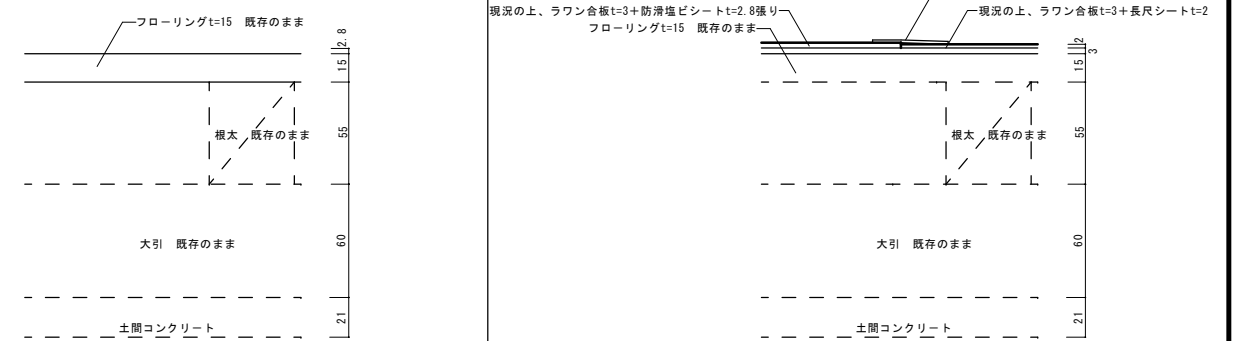
2階廊下 流し詳細図



廊下 流し前部分詳細図

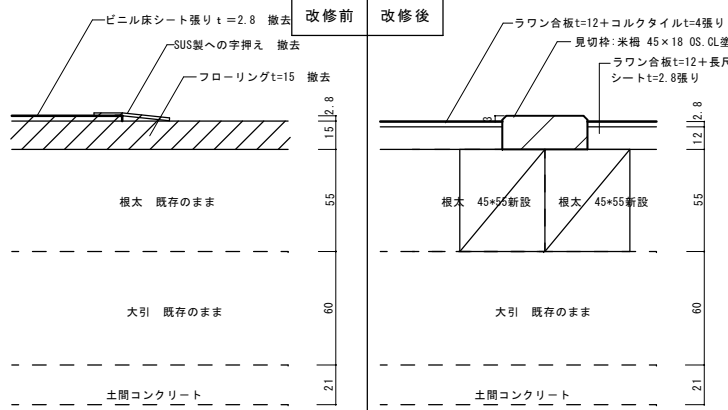
S=1:2

改修前 改修後



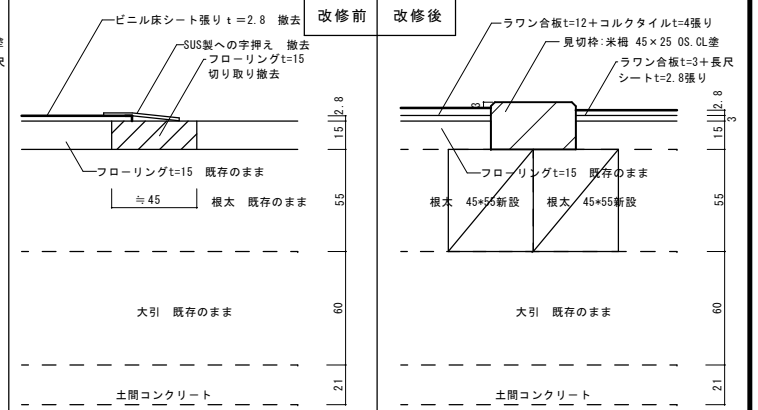
乳児室1 流し前部分詳細図

S=1:2



乳児室2 流し前部分詳細図

S=1:2



協同組合
広島県東部設計センター
〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

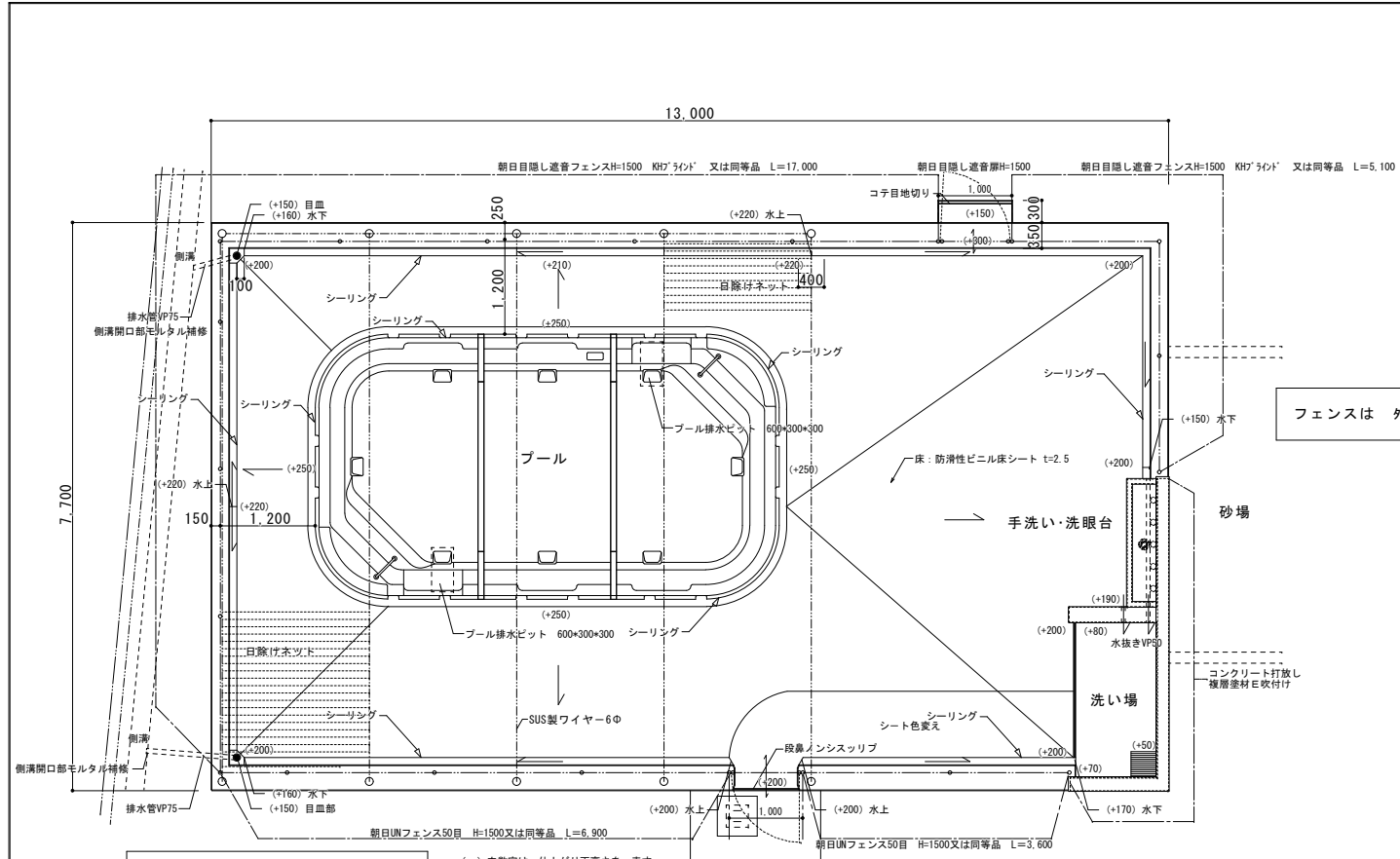
一級建築士事務所登録
広島県知事登録 第19(1)-2616号
一級建築士(大臣登録第66537号)
本田 哲也

担当事務所
西村 崇
設計年月
2024年1月
代表理事
高橋 啓之

福山市建設局建築部営繕課
設計
2024年1月

工事名称
福山市立新市保育所園舎改修工事
図面名称
部分詳細図2 (畳枠 流し廻り)
縮尺
1/2・1/10
A1-100%
A2-70.7%
A3-50%

図面No
49/A



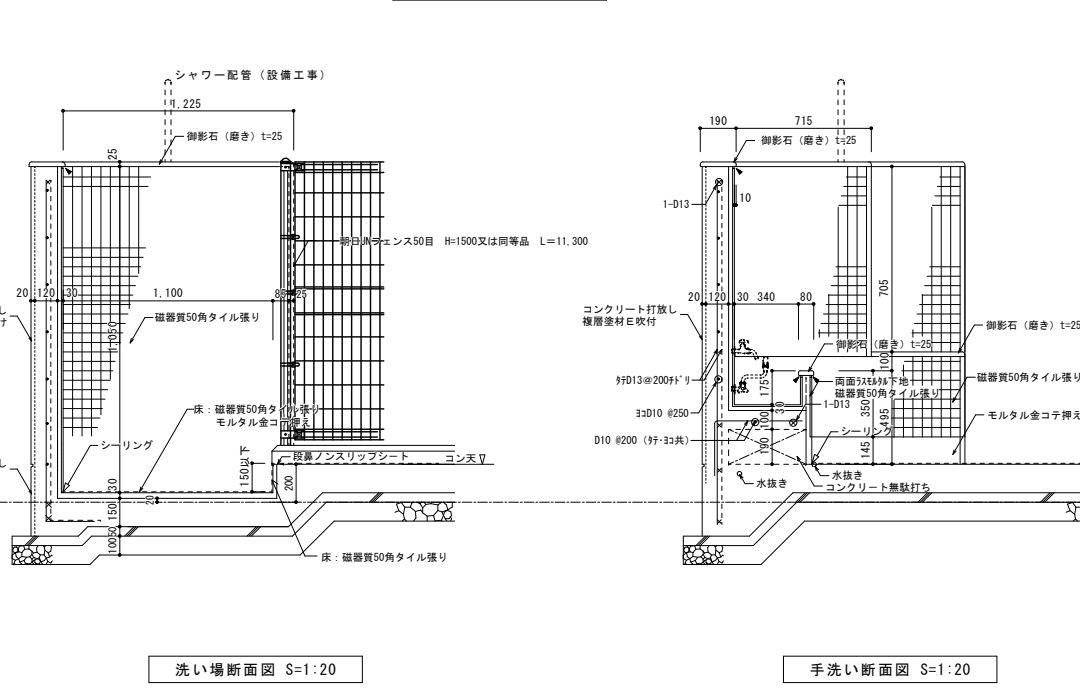
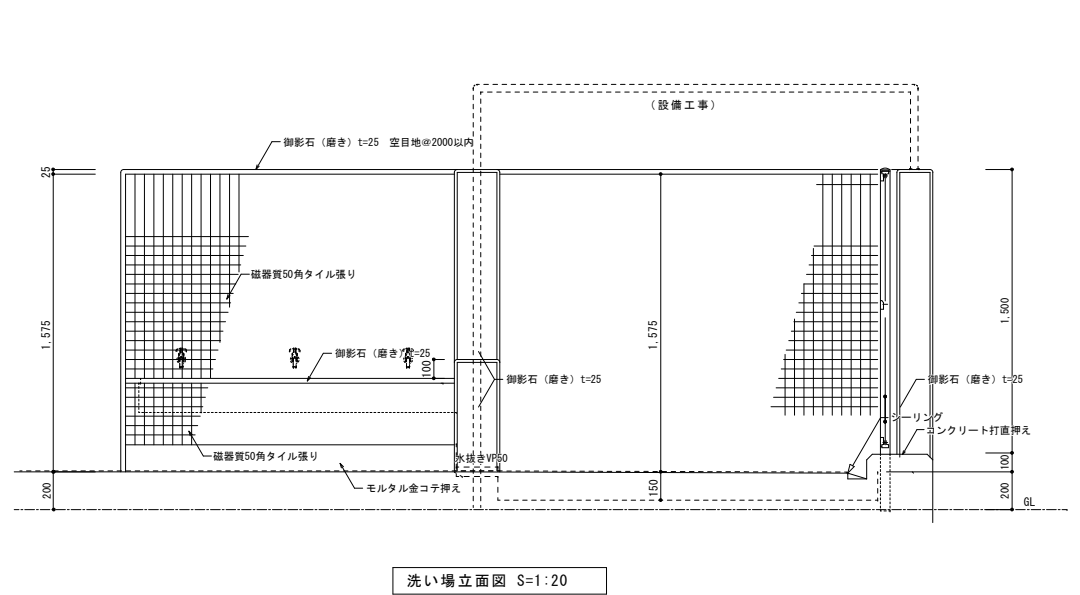
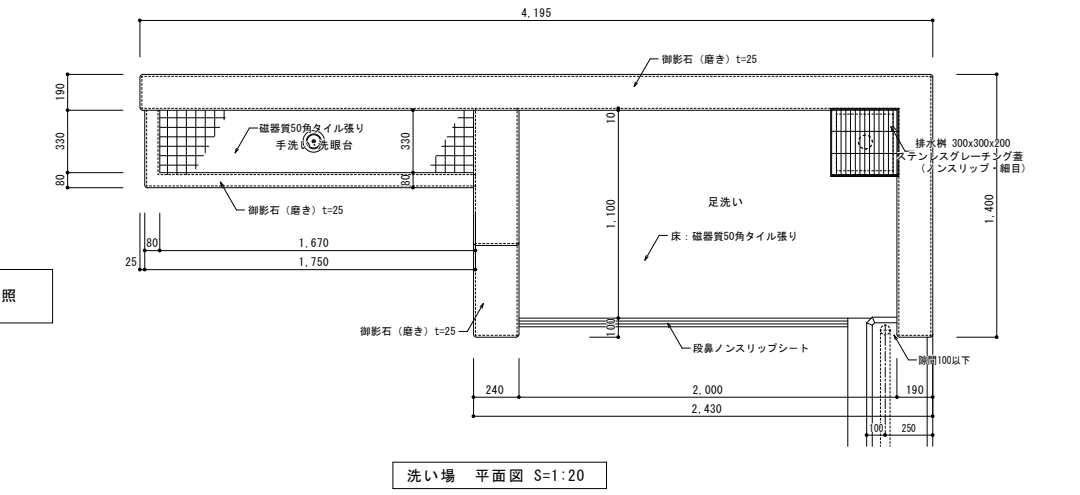
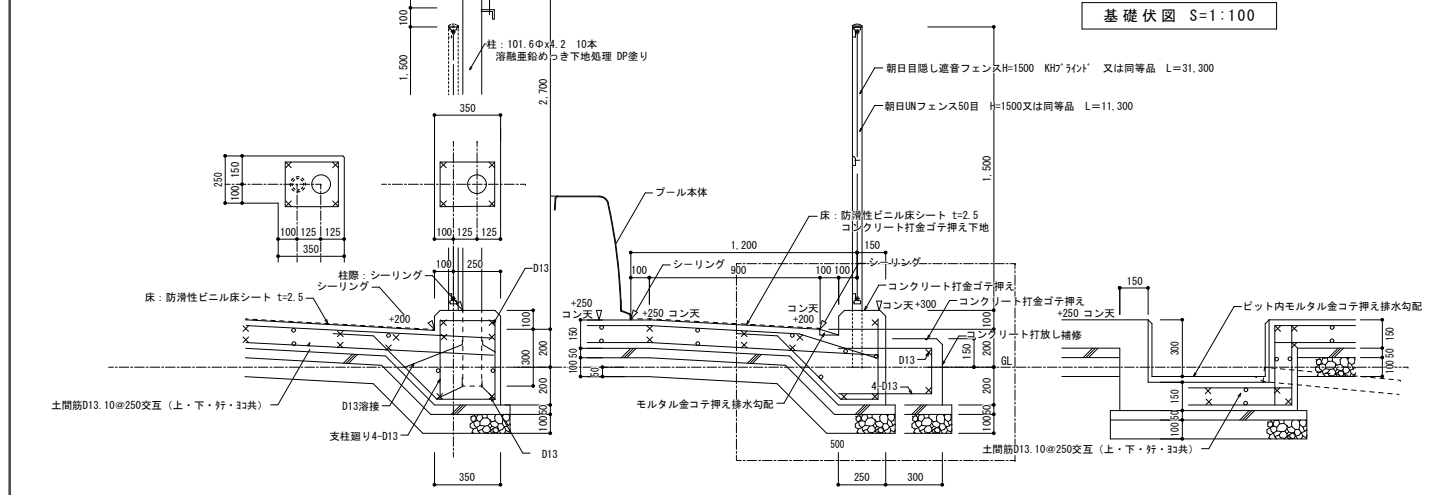
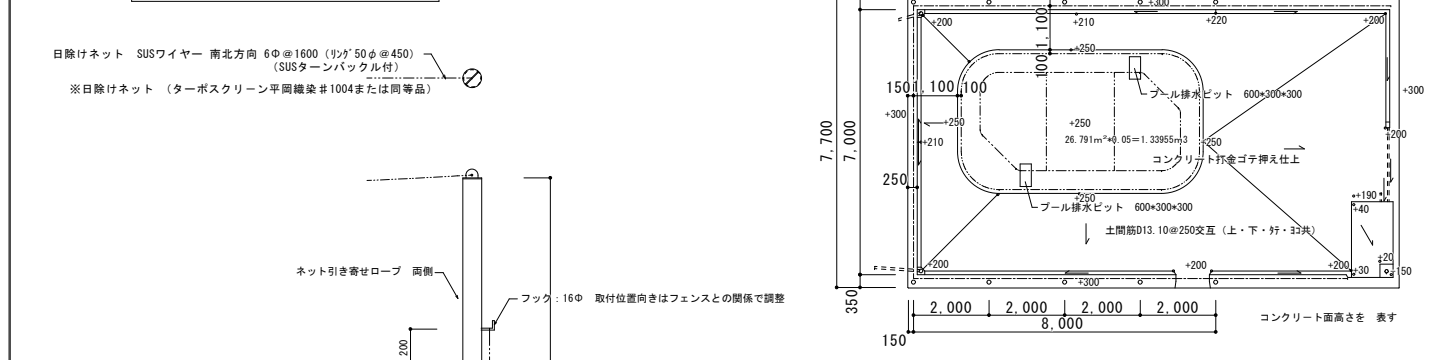
※日除けネット
ターボスクリーン#1004 平岡織機 又は同等品

※プール本体 ナック・スケイ・エス種
FKC36・63 (底排水タイプ) 又は同等品

日除けネット SUSワイヤー 南北方向 6φ@1600 (90°50φ@450)
(SUSターンバックル付)

※日除けネット (ターボスクリーン平岡織機#1004または同等品)

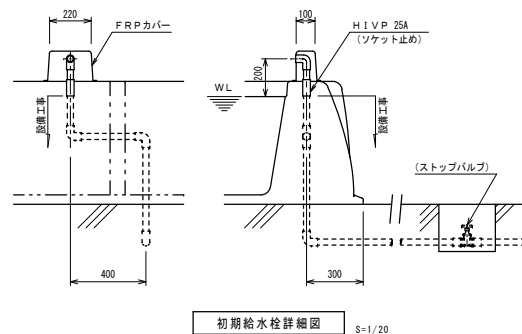
() 内数字は 仕上がり面高さを 表す
その他はコンクリート面高さを 表す



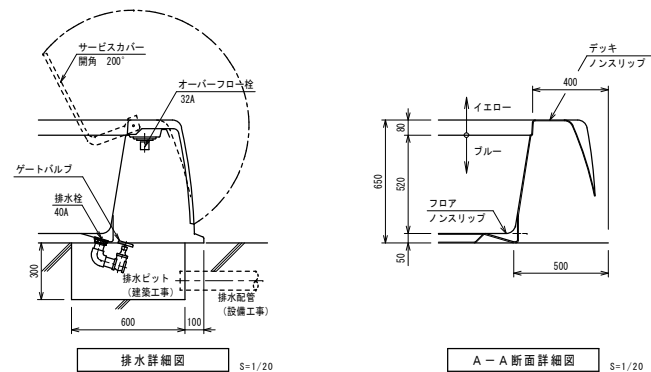
協同組合 広島県東部設計センター 〒720-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(084)921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第86537号) 本田 哲也		担当事務所 岡山建築設計事務所 代表理事 淵山 正 高橋 啓之		設計年月 2024年1月 作成 設計 2024年1月		福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月		工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 プール図1 (建築図)		縮尺 1/50・1/20・1/100		図面No A1-100% A2-70.7% A3-50% 50/A	
--	--	---	--	---	--	--	--	-------------------------------	--	--	--	-----------------------	--	---	--

区分	内容	3600L x 6300W x 650H	
	本体外寸	2600L x 5300W x 600H	
	水深	520 (mm)	
	水面積	14.8 (㎡)	
	水量	7.1 (ton)	
本体重量	310 (kg)		
プール材質	FRP	不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化し、ハンドレイアップ成型したもの	
構造部材	内容	材質仕様	数量
	ハンドル	φ27.2 SUS304 バイブ加工	2個
	オーバーフロー栓	32A YB&C	2個
	排水栓	40A YB&C ゲートバルブ付	2個
	配管ホース	ブレードホース	1式
	プールカバー	ターポリン 黄色	1式
表面色	本体上部: テッキパネル	イエロー	
	本体下部: サイドパネル及びフロアパネル	ブルー	
ノンスリップ加工	デッキ面	型彫	
	フロア面	型彫	
工事区分	プール工事	プール本体組立工事、プール内部配管	
	建築工事	基礎工事	
	設備工事	プール内部配管より以降の配管工事	

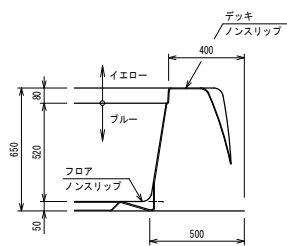
基礎工事・配管上の注意事項
 (1) 据付面はコンクリートコト仕上げとし、所定寸法±5mm以内でレベル出しのこと。
 (2) プール部材搬入について、プール設置場所近くまで4ton車が通行可能なこと。
 又、搬入口にユニック車又はレッカー車が稼働できること。
 (3) プール工事は、プール組立、オーバーフロー栓・排水栓取付け及びそれらの内部配管までとする。



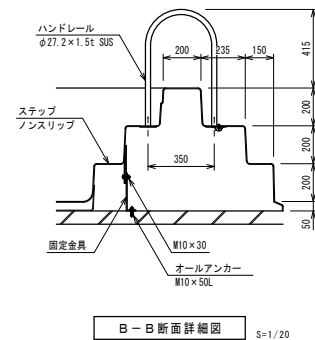
初期給水栓詳細図 S=1/20



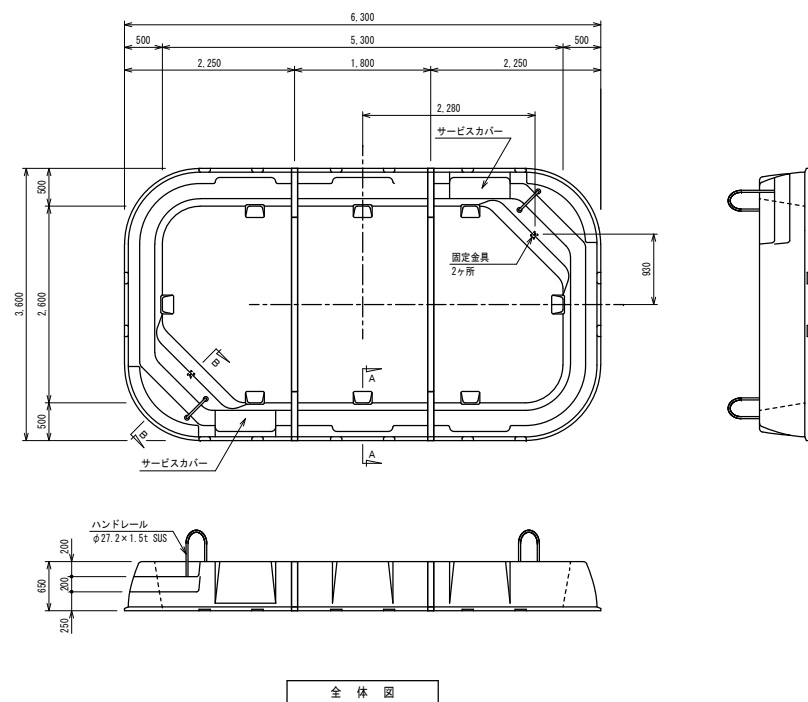
排水詳細図 S=1/20



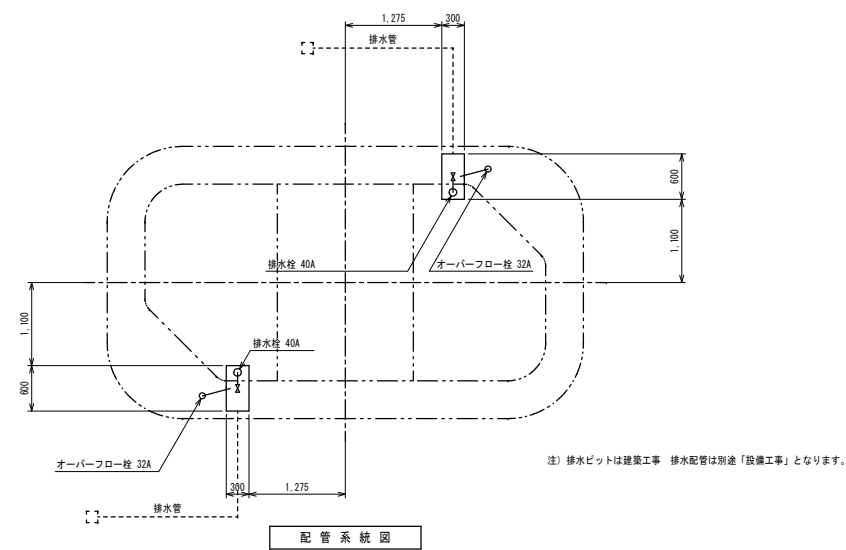
A-A断面詳細図 S=1/20



B-B断面詳細図 S=1/20



全体図



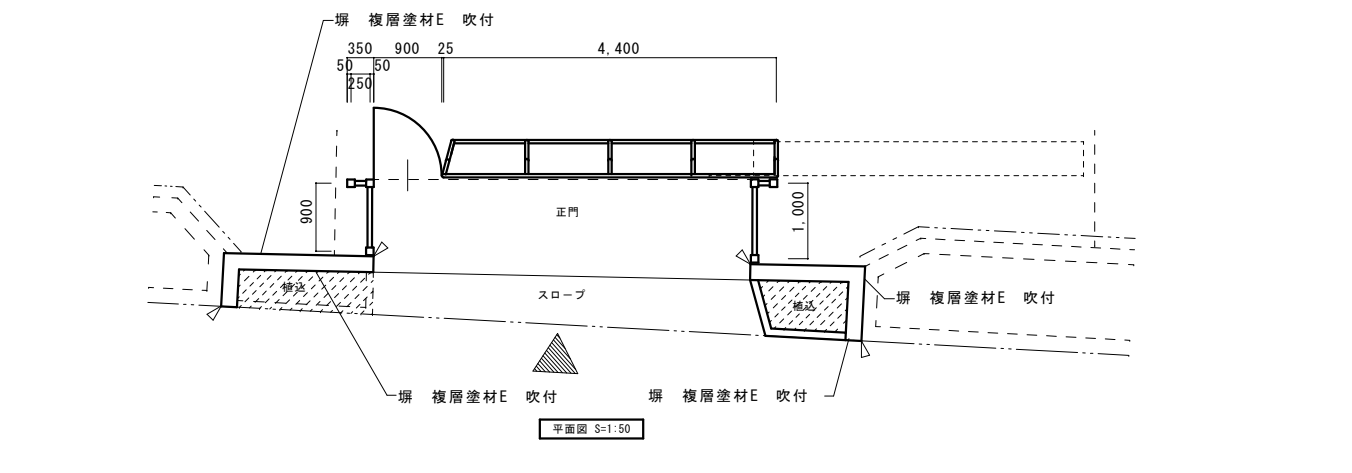
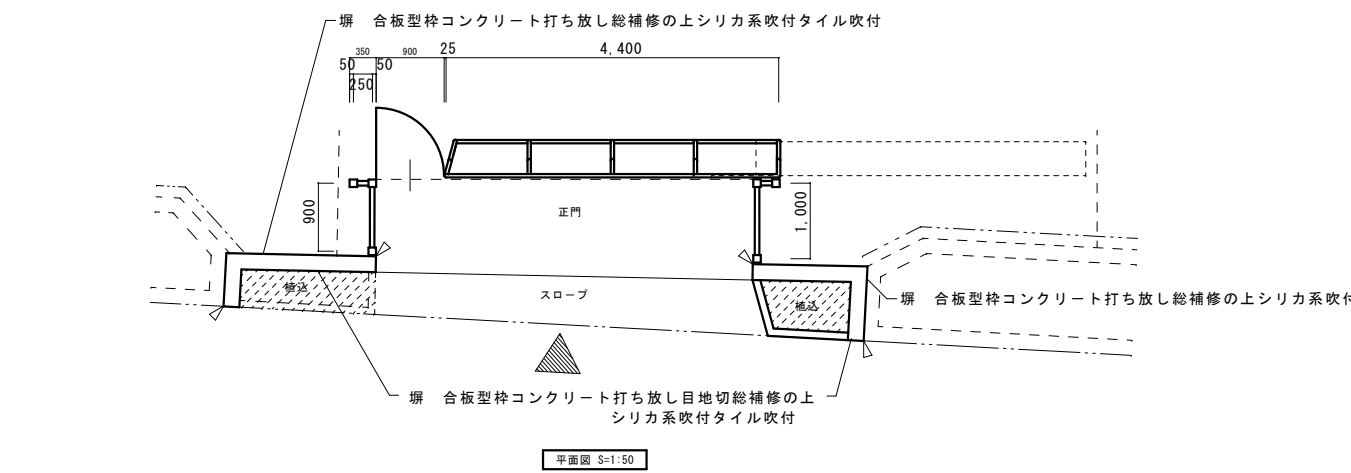
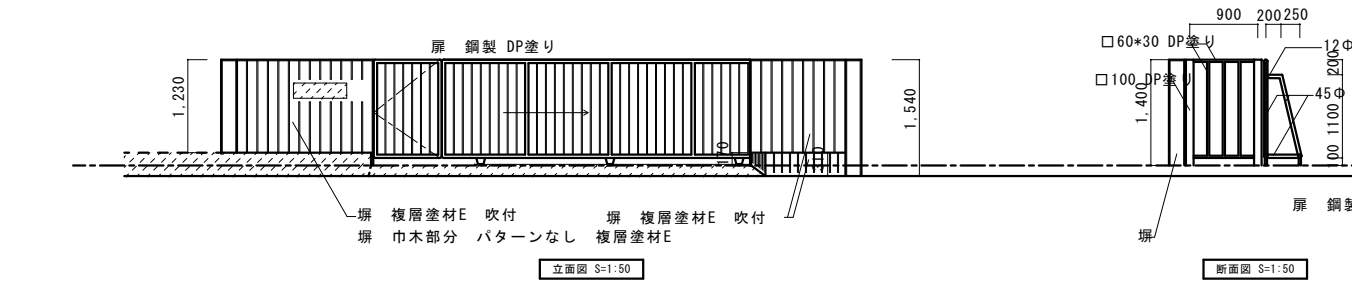
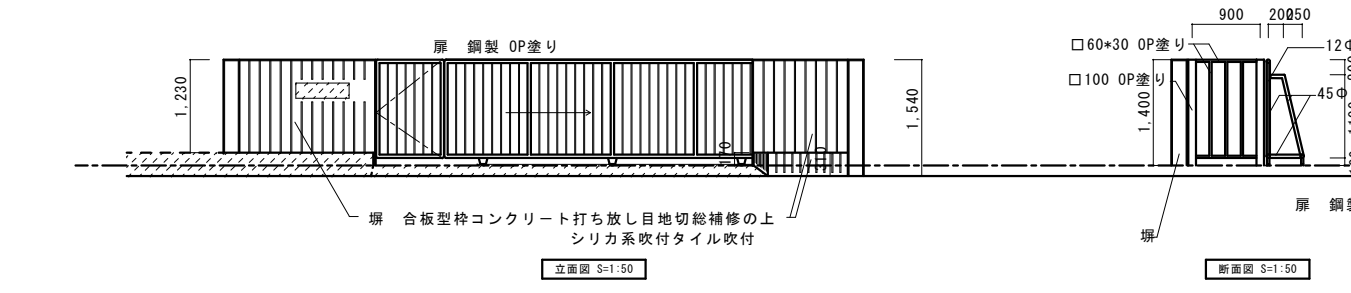
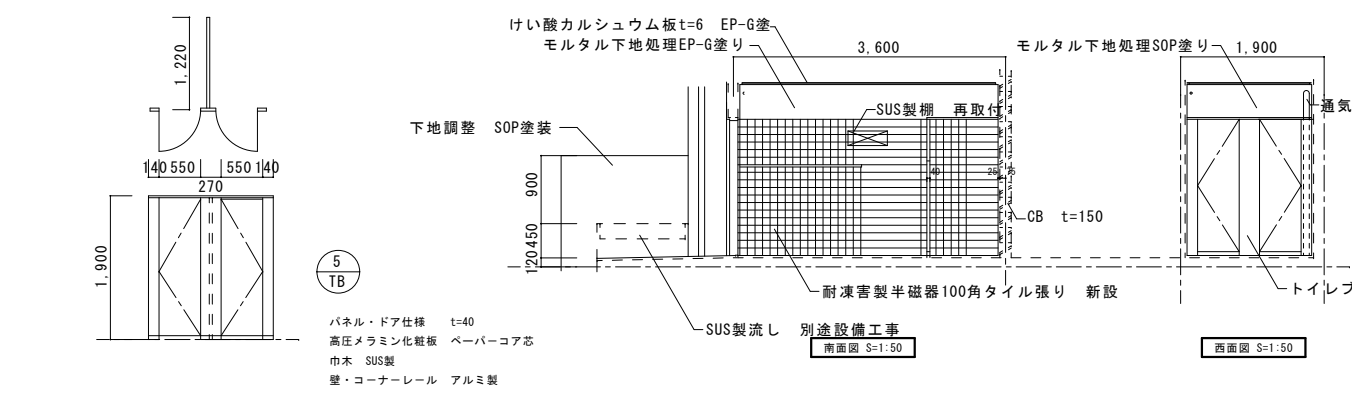
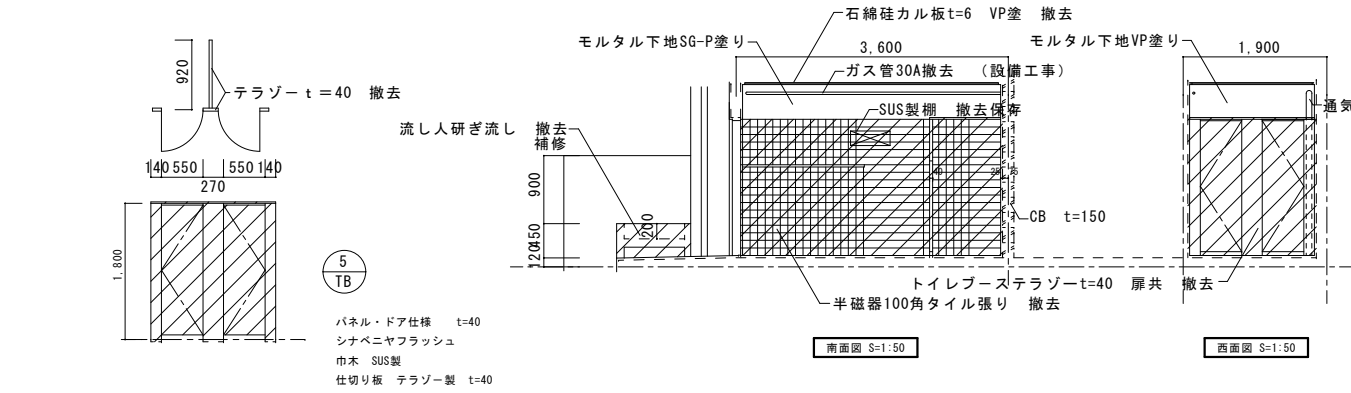
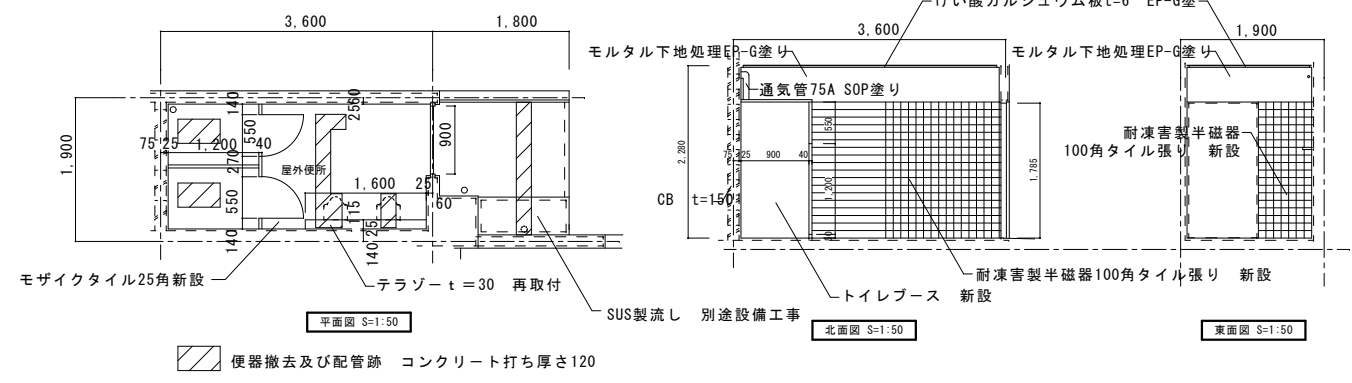
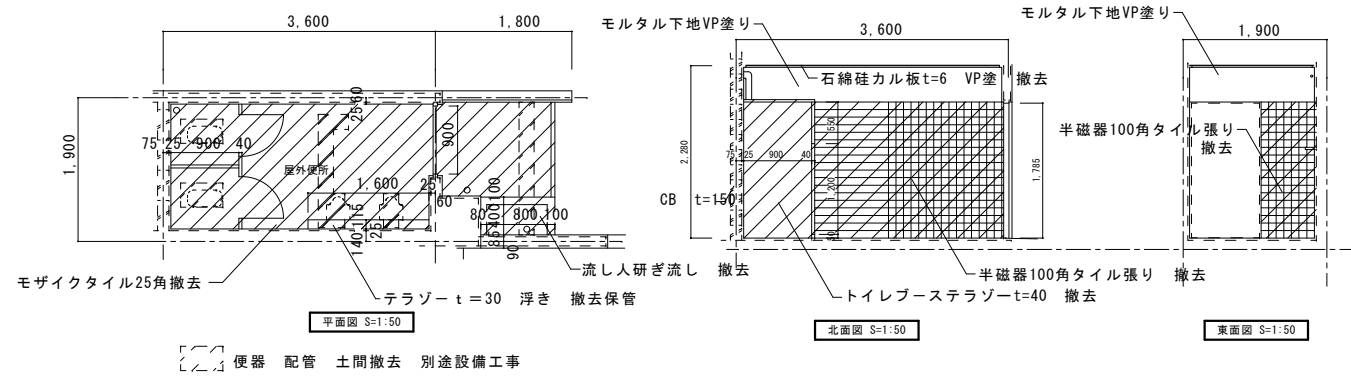
配管系統図

ナック・スケイ・エス㈱
 FK C36・63 (底排水タイプ)

協同組合 広島県東部設計センター 〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL 0841 921-8035	一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第98537号) 本田 哲也	担当事務所 福山建築設計事務所 作図 測山 正 代表理事 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 高橋 啓之	福山市建設局建築部営繕課 設計 2024年1月	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事	A1-100%	図面No 51/A
					図面名称 プール図2 (プール本体 機器図)	縮尺 1/50・1/20	

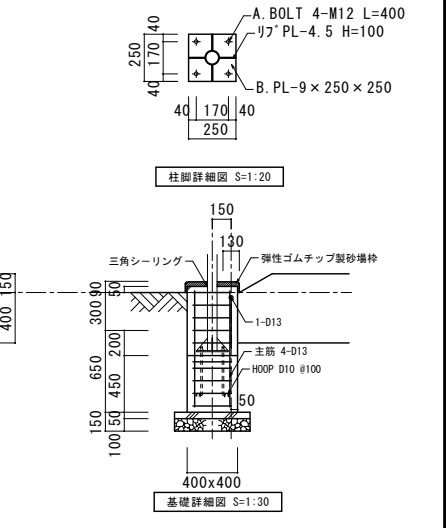
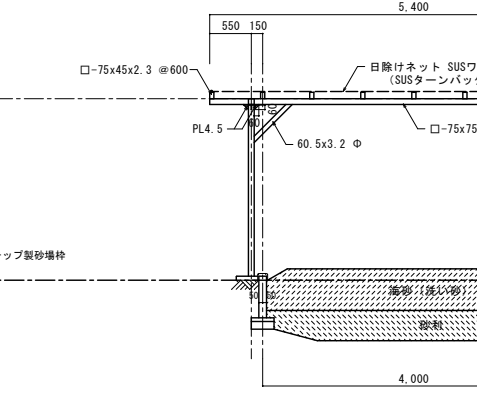
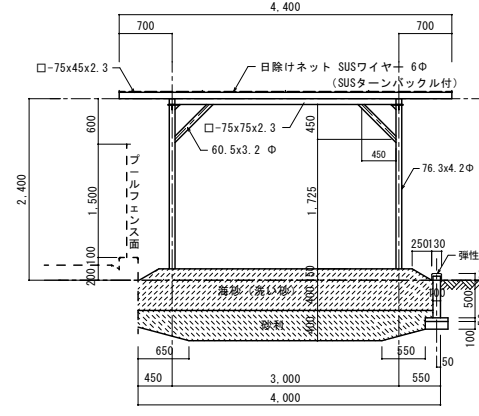
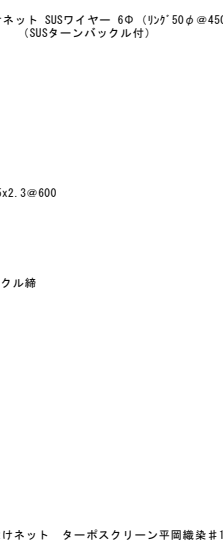
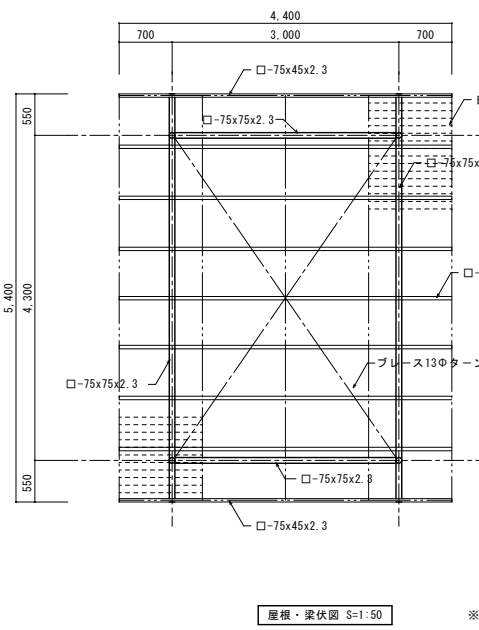
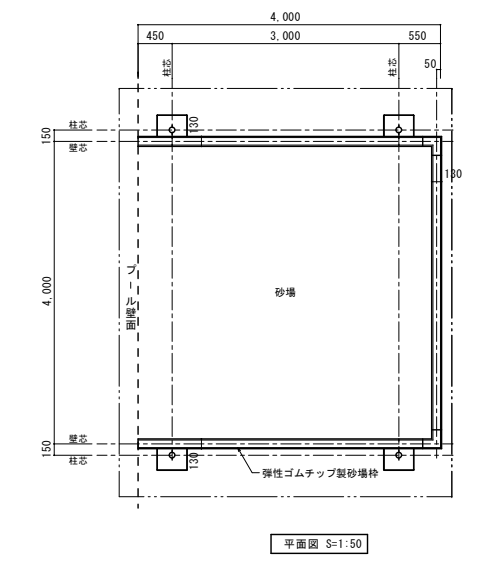
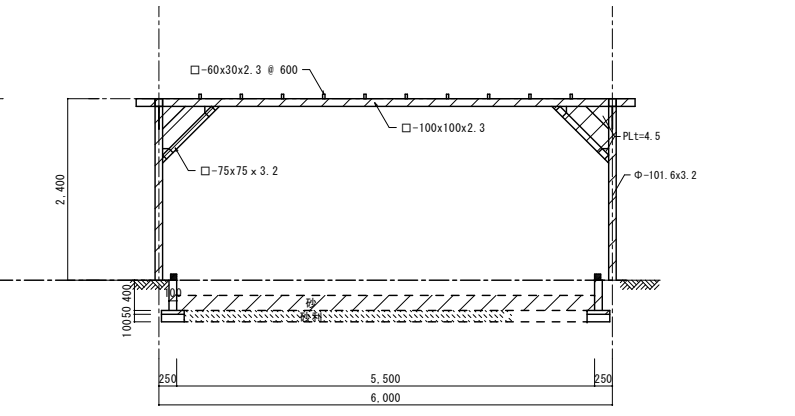
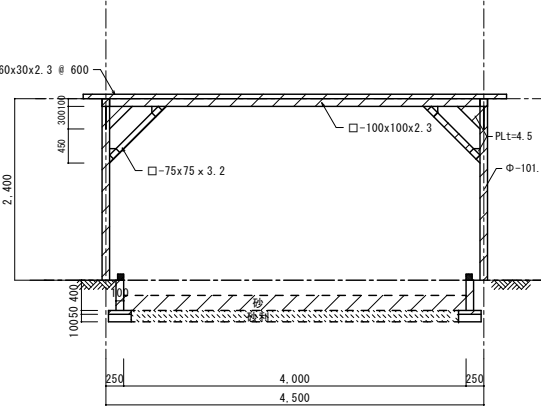
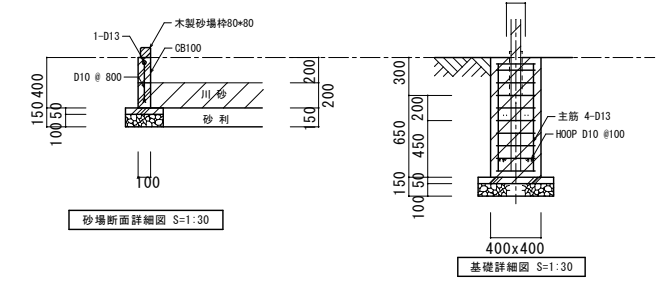
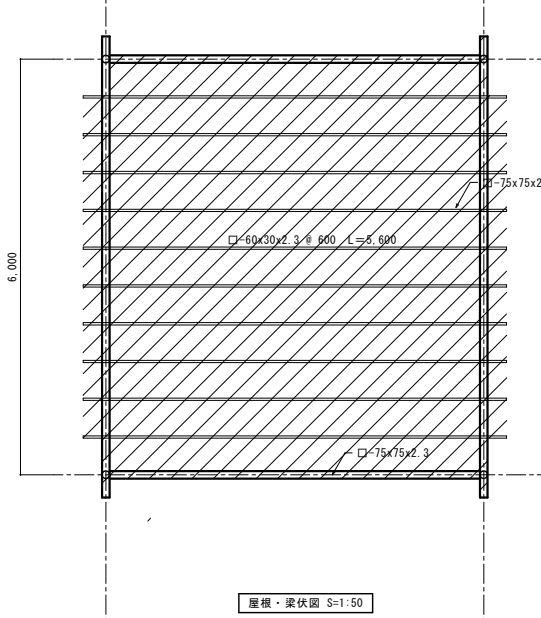
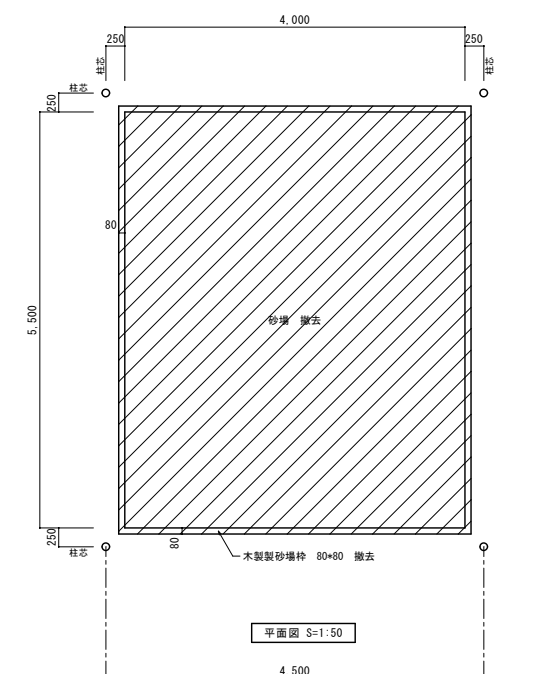
撤去図

新設



撤去図

新設



- 【特記事項】
 コンクリート --- Fc=21 (N/mm²)
 捨てコンクリート --- Fc=18 (N/mm²)
 鉄筋 --- SD295A
 鉄骨塗装 --- 溶融亜鉛メッキ下地 耐酸性能塗料塗り (DP)

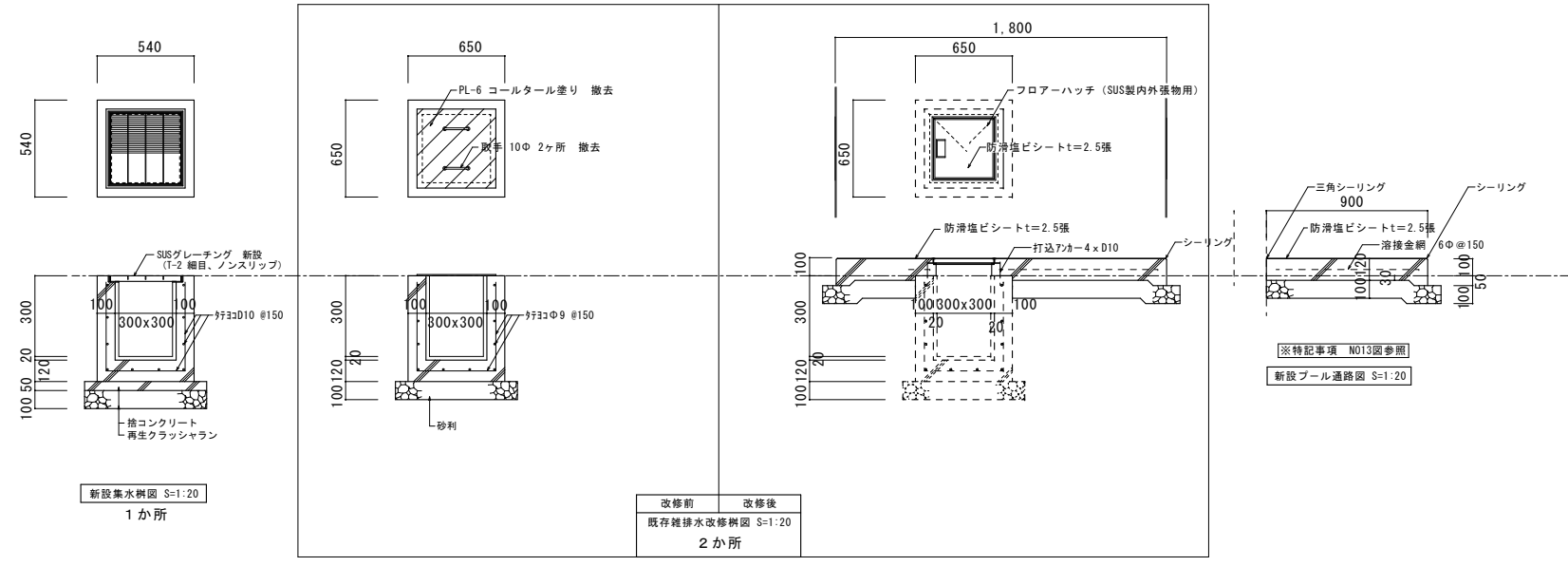
協同組合
 広島県東部設計センター
 〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL (084) 921-8035

一級建築士事務所登録
 広島県知事登録 第19(1)-2616号
 一級建築士(大臣登録第86537号)
 担当事務所 福山市建設局
 代表理事 本田 哲也
 設計年月 2024年1月
 作成 測山 正
 代表理事 高橋 啓之

福山市建設局建築部営繕課
 設計 2024年1月

工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事
 図面名称 外構図1 砂場(撤去・新設)

縮尺 1/50
 図面No. A1-100%
 A2-70.7%
 A3-50%
 53/A

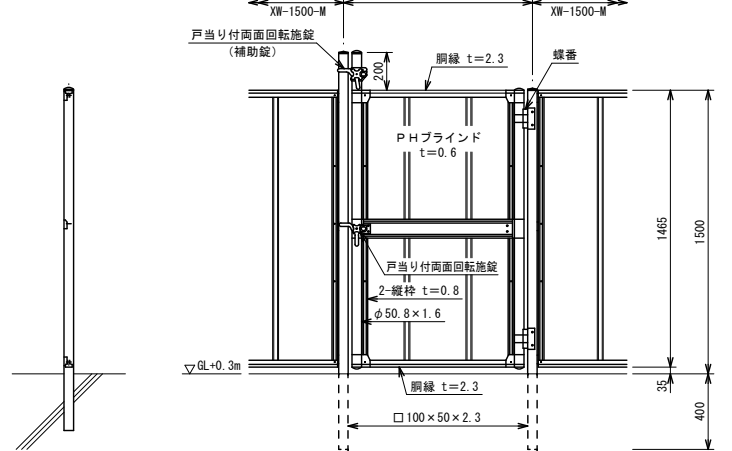
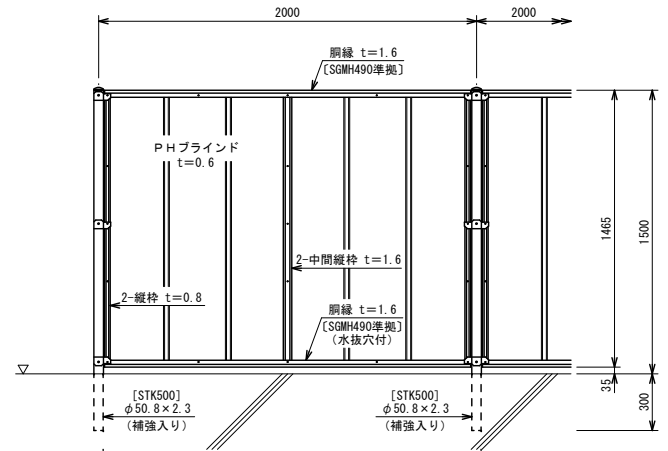
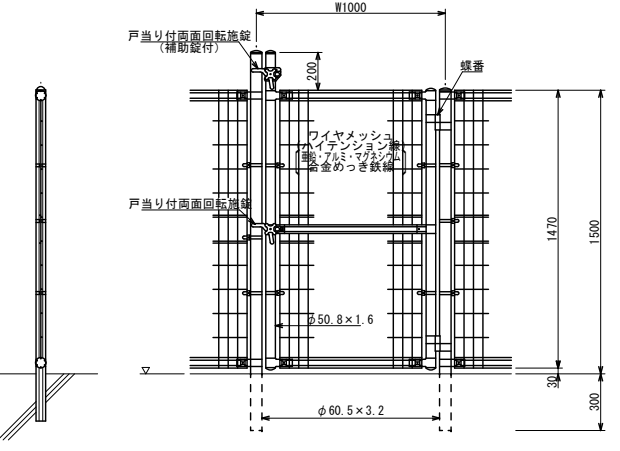
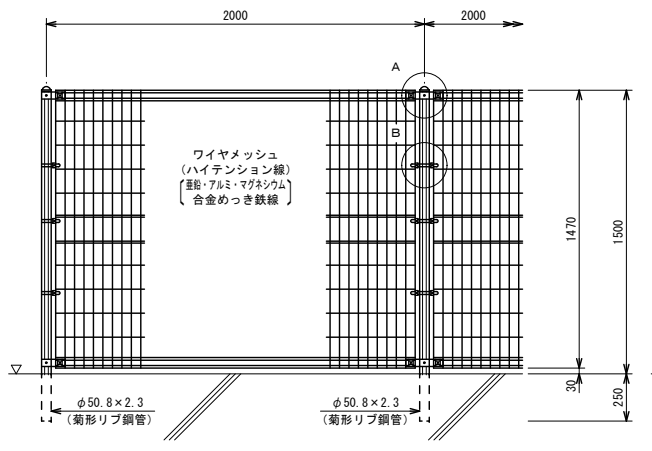


【特記事項】
 コンクリート --- Fc=18.3 (N/mm²)
 捨てコンクリート --- Fc=18 (N/mm²)
 鉄筋 --- SD295A
 鉄骨塗装 --- 耐候性塗料塗り (DP)

UN-A1500L-50 又は同等品

目かくしフェンス XW-1500-M 又は同等品

目かくしフェンス片開き門扉 又は同等品
H1500×W1000 (補助錠付)



朝日ユニフェンス50目A-1500 又は同等品

新設プールフェンス図 S=1:20

朝日目隠し連番フェンス 1500-M KH7'タイプ 又は同等品

建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力による
 基準風速 32m/sec 地表面粗度区分Ⅲ GL+0.3m

協同組合 広島県東部設計センター 〒729-0805 福山市御門町一丁目12-15 TEL(0841)921-8035		一級建築士事務所登録 広島県知事登録 第19(1)-2616号 一級建築士(大臣登録第96537号) 本田 哲也	担当専務 福山建築設計事務所 代表理事 測山 正 高橋 啓之	設計年月 2024年1月 設計 2024年1月	福山市建設局建築部営繕課 設計	工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事 図面名称 外構図2 (樹 フェンス)	縮尺 1/20	図面No A1-100% A2-70.7% A3-50%	54 / A
---	--	---	--	----------------------------------	--------------------	--	------------	---------------------------------------	--------

参考数量書

§ 工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事

§ 工事場所 福山市新市町大字新市 8 6 7 番地 5

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立新市保育所園舎改修工事

工事場所 福山市新市町大字新市867番地5

【工事概要】

・改修工事 一式

【構造】 鉄筋コンクリート造 2階建
【建築面積】 630.41㎡
【延床面積】 1,082.24㎡

【別途工事】

・電気設備工事
・給排水衛生設備工事
・冷暖房換気設備工事
・昇降機設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1.屋内改修	1	式		
2.外壁改修	1	式		
3.屋外便所改修	1	式		
4.ﾌﾟｰﾙ新設	1	式		
5.ﾌﾟｰﾙ通路	1	式		
6.砂場新設	1	式		
7.門扉改修	1	式		
8.既存遊具撤去	1	式		
小計				
計				

1.屋内改修						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
防水		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
排水		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
カーテン		1		式		
アスベスト除去工事		1		式		
解体・撤去		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

2.外壁改修									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処理		1		式					
計									

3.屋外便所改修						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土間改修		1		式		
タイル		1		式		
左官		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
アスベスト除去工事		1		式		
解体撤去		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

4.プール新設						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
防水		1		式		
石		1		式		
タイル		1		式		
左官		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
排水		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
囲障		1		式		
	計					

5.ﾌﾟｰﾙ通路						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
防水		1		式		
型枠		1		式		
内外装		1		式		
	計					

6. 砂場新設									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
解体		1		式					
土工		1		式					
鉄筋		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
鉄骨		1		式					
塗装		1		式					
ユニット及びその他		1		式					
内外装		1		式					
	計								

7.門扉改修									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1			式				
塗装		1			式				
	計								

1.屋内改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
防水	内部	1	式		
計					
木工	仕上(部材別)	1	式		
計					
金属	内部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
建具	パーテーション	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	内部	1	式		

1. 屋内改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
内外装	内部	1	式		
計					
排水	外部	1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		
ユニット及びその他	金物	1	式		
ユニット及びその他	家具	1	式		
計					
カーテン		1	式		
計					
アスベスト除去工事	屋内	1	式		
計					
解体・撤去		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

2.外壁改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処理	発生材処理	1	式		
計					

3.屋外便所改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土間改修	躯体	1	式		
計					
タイル	内部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
計					
アスベスト除去工事	屋外便所	1	式		
計					
解体撤去		1	式		
計					
発生材処理	発生材処理	1	式		
計					

4.ﾌﾟｰﾙ新設					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
石	外部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
計					

4.ﾌﾟｰﾙ新設					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
内外装	外部	1	式		
計					
排水	外部	1	式		
計					
ユニット及びその他	金物	1	式		
計					
困障		1	式		
計					

5.7°-ル通路					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
計					

6. 砂場新設					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
解体		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨	本体鉄骨	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
計					
ユニット及びその他	金物	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
計					

8. 既存遊具撤去					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
既存遊具撤去		1	式		
計					
発生材処理	処分	1	式		
計					

1. 屋内改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)	複合改修	899	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	899	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	899	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 120日 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 脚立足場 階高4.0m以下	899	m ²			
計						

1.屋内改修		鉄筋	躯体			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
あと施工アカ (差筋アカ)	BD-10 x 450 横向き	131	本			
溶接金網敷	径6.0 100 x 100	43.4	m ²			
計						

1.屋内改修		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	3.5	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	3.5	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 -	3.5	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	1.3	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	1.3	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	1.3	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	1.3	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
型 枠	普通合板型枠 - 地下軸部 階高5.0m程度	2	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	2	m ²			
計						

1. 屋内改修		防水			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シリング	一般部 変成シリング系 (MS-2) 15×10	15.5	m			
各種天井、壁、床 目地、チリ際シリング	一般部 変成シリング系 (MS-2) 5×5	150	m			
計						

1.屋内改修		木工		仕上(部材別)		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
珪合板	1類 厚さ3.0mm F 釘・糊併用 目違い払い共	495	m ²			
珪合板	1類 厚さ12.0mm F 釘・糊併用 目違い払い共	42	m ²			
珪合板	1類 厚さ15.0mm F 釘・糊併用 目違い払い共	2.4	m ²			
畳見切 乳児室2	45×151	7.3	m			
畳見切 乳児室1	45×58	6.7	m			
根太	45×55	50	m			
床木見切り	幅45	4.8	m			
木製幅木	25×90 下地共	6.2	m			
70-リク'張りレベル 調整	出入口等	33	か所			
畳寄せ框		16.8	m			
ころばし床組	施工手間	104	m ²			
計						

1.屋内改修		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 1サト別途	26.4	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	11.5	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	37	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	37	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	1	か所			
床見切	幅40 厚1.5 SUS304	26.8	m			
階段柵	取外し・再取付	1	か所			
コーナート	樹脂製	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 150×150mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900×900mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
計						

1. 屋内改修		左官		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
珪藻土系 (乳児室)	厚7mm コンクリート下地 珪藻土系	27.3	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	43.4	m ²			
打ち継ぎ処理	クリートボード 3塗布 下地調整共	43.4	m ²			
下地処理	不燃化粧板下地 壁薄塗り珪藻土塗り 金ごて 厚5 程度	110	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 凸部処理 吹付け 珪藻土系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	195	m ²			
計						

1.屋内改修						
			建具		パーテーション	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
PT-1	アルミパーテーション 片開きドア アクリル窓共	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
パーテーション用ドア 取付		1	か所			
計						

1.屋内改修						
		建具		トイレブース		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
TB-1		1	か所			
TB-2		1	か所			
TB-3		1	か所			
TB-4		1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

1. 屋内改修						
			建具		木製建具	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
WD-1	両開扉 メラミン化粧板フラッシュ 窓付	1	か所			
計						

1.屋内改修		建具		ガラス		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ホリカホネット板	透明 t=4.0 650x950 ガラス 清掃共	1	か所			
計						

1. 屋内改修						
塗装			内部			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
木部 E P - G 塗り 改修仕様	工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	40.5	m ²			
OSCL塗	木部框 巾木細幅	196	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	1,368	m			
S O P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	3.6	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	240	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	けい酸加シム板面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	115	m ²			
C L 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	54.6	m			
計						

1. 屋内改修		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ビニル床シート	マ-ブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	551	m ²			
発泡複層ビニル床シート	厚2.8 発泡複層ビニル床シートHS 一般床 熱溶接工法	97.9	m ²			
ビニル幅木	高さ60	60.4	m			
防滑性ビニル床シート	厚2.8	65.7	m ²			
壁見切縁	塩化ビニル製	27.6	m			
メラミン不燃化粧板	t3×W935×1,855 セラル同等品 材工共	121	m ²			
壁 シ-ジ-ンガ [®] せっこうボード [®] 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード [®] 下地 突付けV目地 - -	11.5	m ²			
掲示板	ソト合板t=5.5 マグネット兼用スポンジシート貼	85.6	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	278	m			
天井 けい酸 加工板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	231	m ²			
天井 吸音用 あなあきせっこう ボード [®] 張り(GB-P)	厚 9.5 6-22 不燃紙裏打(準不燃) 突付け	107	m ²			
天井 化粧 せっこうボード [®] 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライ-チ 突付け	559	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	121	m ²			
壁 シ-ジ-ンガ [®] せっこうボード [®] 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード [®] 下地 突付け - -	75.4	m ²			
ポリスチレンフォーム敷	厚97	54.6	m ²			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT- 一畳 施工規模30枚以下程度	22	枚			
コルク床タイル	厚4.0	1.5	m ²			
計						

1. 屋内改修		排水		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 100A	1	m			
雨水樋	360 360×360×480 SUSがレチンク T-2 細目 ノスリップ	1	か所			
計						

1. 屋内改修		ユニット及びその他				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流し台・調理台 (調乳室)	GK-S-120MYTBL GK-T-60YBL	1	か所			
吊戸棚 (調乳室)	GK-AM-120ZBL	1	か所			
吊戸棚 (調乳室)	GK-A-75BL	1	か所			
水切棚 (調乳室)	PA2-120	1	か所			
計						

1.屋内改修		ユニット及びその他		金物		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バック幕	取外し・再取付	1	張			
鏡	取外し・再取付	7	か所			
白板	木枠平面赤-0- 暗線入 W2700×H1200xD75 米柵集成材	7	か所			
白板 行事用	木枠平面赤-0- 行事線入 W2700×H1200xD75 米柵集成材	1	か所			
石鹸受け	取外し・再取付	2	か所			
階段アルミ柵	取外し・再取付	7.4	m			
スクリーン S-1	取外し・再取付	2	か所			
階段手摺 塩ビ 32		19	m			
棚テゾー	取外し・再取付	1	か所			
室名札	珧材 R付 平付型 200×200×21 SK-WSR-2F同等以上 絵文字入り	7	枚			
室名札	珧材 R付 突出型 200×200×18 SK-WSR-2T同等以上 絵文字入り	8	枚			
室名札	R付 平型 80×250×18 SK-WNR-1F同等以上 文字入り	8	枚			
汚垂石	ハイト 0セラ・PU薄型 600×900 AB690BR HBA-C同等品	7	か所			
タム掛け (処置室)	取外し・再取付	1	か所			
棚 (処置室)	取外し・再取付	1	か所			
計						

1.屋内改修		ユニット及びその他			家具	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
面台	ミネパストフォーム 2600x19x120	1	か所			
面台	ミネパストフォーム 3220x19x120	1	か所			
棚	ミネパストフォーム 1800x19x120	1	か所			
地袋戸棚天板	既設取替	3	か所			
職員用シューズボックス	1500x400x1080	1	か所			
取付費	運搬諸経費	1	式			
計						

1.屋内改修		カーテン				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カーテン・レール	取外し・再取付	69	張			
ビニールカーテン	透明 既存レール再利用 W=2700xh2000	2	枚			
ステージS-1 一文字幕	カーテン(裏地)w6200×H400 川島織物(バルコ +裏地シ-テ-イ-ラ-ン-サ-) 裏地付・ヒダ無・3寸フリンジ付・園章300 本刺繍	1	式			
ステージS-2 袖幕	カーテン(裏地)w400×H2670 川島織物(バルコ +裏地シ-テ-イ-ラ-ン-サ-) 裏地付・ヒダ無・フリンジ4寸付	2	枚			
ステージS-3 引分け 緞帳	カーテン(裏地)w5500×H2670 川島織物(バルコ +裏地シ-テ-イ-ラ-ン-サ-) 裏地付・2倍・箱ヒダ・フリンジ4寸付	1	式			
ステージS-バック幕	カーテン(裏地)w8000×H2500 川島織物(バルコ) 裏地無・2倍・箱ヒダ・引分	1	式			
医務休憩室A-1 カ ーテン	カーテン(ドレープ)w3200×H1800 川島織物(タルバ) 2倍ヒダ・両開き・タッセルあり	1	式			
遊戯室A-2 カ ーテン	カーテン(ドレープ)w2000×H3300 川島織物(バルコ) 2倍ヒダ・片開き・タッセルあり	1	式			
ステージS-3 引分け 緞帳用レール 工事	タッセルV30	1	式			
A-1・A-2・バック幕・ 休憩室・遊戯室レ ール取付工事	タッセルV20シングル	1	式			
ステージ・一文字・ 袖幕 諸幕取付工 事 諸経費	タッセル	1	式			
計						

1. 屋内改修		アスベスト除去工事		屋内		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床タイル撤去	石綿含有 集積共	26	m ²			
ビニル床シート撤去	アスベスト含有 手作業	32.8	m ²			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	240	m ²			
天井合板・ボード 撤去	二重張り 石綿含有 集積共	121	m ²			
除去石綿処理	密封処理（二重梱包）	5.7	m ³			
発生材積込み	石綿含有産業廃棄物 内装仕上材類	5.7	m ³			
計						

1.屋内改修		解体・撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トリアプル等 撤去	人力 集積共	6	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	157	m ²			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	18.7	m ²			
ビニル幅木撤去	集積共	17.6	m			
壁タイル撤去	下地タイル共 集積共	19.3	m ²			
壁タイル・ブラスター 撤去	集積共	3	m ²			
トリアプル扉撤去		31.9	m ²			
野縁40*40撤去		65.8	m			
フローリング t=15撤去		84.2	m ²			
掲示加え撤去		85.6	m ²			
天井化粧石膏ボード 撤去		435	m ²			
黒板撤去		8	か所			
ブライト撤去		4	か所			
防滑塩ビシート撤去		9.2	m ²			
バスバネ撤去		36.8	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	22	枚			
畳寄木撤去		16.8	m			
流し台撤去		1	台			
コンクリート台撤去		1	台			
木製建具撤去	両開き	1	か所			

1.屋内改修		解体・撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アコティオカーテン撤去		1	か所			
階段手摺撤去	木製40	19	m			
天井有孔石膏ボード撤去		107	m ²			
シーリング撤去	集積共	6.7	m			
コルク材撤去		16	m ²			
天井点検口撤去	集積共	30	か所			
サイン撤去	270×70	16	枚			
ミラー撤去 (遊戯室)		1	か所			
計						

1.屋内改修		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	コンクリート類 人力	1.3	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	24.8	m3			
発生材運搬		1	式			別紙 00-0001
発生材処分費		1	式			別紙 00-0002
計						

2.外壁改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 12m未満 120日	1,319	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 120日	152	m			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 120日	1,319	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		349	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	349	m ²			
ガラス清掃		349	m ²			
外壁面格子	取外し・再取付清掃	22	か所			
計						

2.外壁改修		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,217	m ²			
屋根瓦点検調査		1,166	m ²			
A-2 珪藻土表面劣化処理		35.3	m ²			
B-6 珪藻土ウレタン材 注入工法	1.0mm以上 拳動 有り	40.3	m			
C-1 クラック部打放し面 珪 鉄筋処理		51.4	m			
D-1 珪藻土はつり	0.25m ² 以上	1.8	m ²			
D-2 珪藻土アンカー ボルト部分注入エポキシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	36.7	m ²			
D-2 珪藻土アンカー ボルト部分注入エポキシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	28.3	m ²			
D-2 珪藻土アンカー ボルト部分注入エポキシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	56.4	m			
E-3 珪藻土面欠損部処理	樹脂珪藻土	2.5	m ²			
計						

2.外壁改修		外壁改修工事		塗装改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高圧水栓機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	1,217	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	277	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	940	m ²			
D P 塗り	鉄鋼 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	20.3	m ²			
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	20.3	m ²			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料A種 現場1回塗り 下地別途(新規面)	20.3	m ²			
E P - G 塗り	ボート面 工程B種(見上) 素地B種	8.9	m ²			
計						

2.外壁改修		外壁改修工事		防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し (屋上防水改修)		60.6	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	60.6	m ²			
養生 (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	60.6	m ²			
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	86.8	m ²			
外シ・清掃	防水面 外シ・清掃・下地処理	1	式			
既存ドレン上皿・ド レンキャップ 撤去		3	か所			
改修用ドレン取付	ドレンキャップ 共	3	か所			
既存伸縮目地材撤 去		13	m			
目地ガラス砲骨材 入目地処理材塗布	20×20 MGタイプ	13	m			
下地調整工 ^ホ キ系 ^ホ リマ-メント塗布	t=0.5程度 グラブルックANE0	76.1	m ²			
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ウレタン ^ホ ム系 平面 表面塗装シム ^ホ -	24.5	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン ^ホ ム系 立上り 表面塗装シム ^ホ -	196	m ²			
SUS脱気筒	材工共	3	か所			
シーリング 撤去	集積共	1,290	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	1,082	m			
シーリング	ポリアルケル(2成分形)PS-2 20×10 目地部ひび割れ	208	m			
計						

2.外壁改修		外壁改修工事		樋改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	155	m			
軒樋撤去	集積共 金具共	179	m			
軒樋	硬質塩化ビニル角形120W 受金物SUS	179	m			
集水器	塩ビ大ます 角形 250 x 300	19	か所			
縦樋 硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー) 計	カー硬質塩化ビニルVP75 掴み金物SUSφ1200	155	m			

2.外壁改修		外壁改修工事		その他工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
物干金物	取外し・再取付	2	か所			
床見切SUS	取外し・再取付	23.2	m			
天井合板・ホート 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	8.9	m ²			
天井 けい酸 加シム板張り	タワ ² (ノアス)0.8FK 厚 6 突付け	8.9	m ²			
計						

2.外壁改修		発生材処理		発生材処理		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	石綿含有産業廃棄物 内装仕上材類	0.4	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	2.3	m3			
発生材積込み	板・ド・木材類 人力	1.8	m3			
発生材運搬	石綿含有産業廃棄物 塩じ、板・ド 類	0.3	t			
発生材運搬	がれき類	1	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	1.8	t			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物 塩じ、板・ド 類	0.3	t			
発生材処分	がれき類	1	t			
発生材処分	廃プラスチック類	1.8	t			
計						

3.屋外便所改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)	複合改修	45.5	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	45.5	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	45.5	m ²			
計						

3.屋外便所改修		土間改修		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	1.1	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	1.1	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	1.1	m3			
計						

3.屋外便所改修		タイル		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床モザイクタイル張り	エニツタイル張 施工手間 - 25mm角 下地モザイク別途	8.9	m ²			
内装壁タイル張り	エニツタイル 有機系接着張り(タイル) 類 施ゆう 100mm角 別途	8.7	m ²			
床タイル (階段用タイル張り)	垂れ付き段鼻 類 無ゆう 100mm角 下地モザイク別途	2.8	m			
計						

3.屋外便所改修			左官		内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床外塗り	木ごと エットタル下地 厚22	8.9	m ²			
壁外塗り	木ごと 内壁エットタル下地 厚15	8.7	m ²			
計						

3.屋外便所改修		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E P - G塗り	けい酸加砂M板面 工程B種(見上) 素地B種	5.8	m ²			
計						

3.屋外便所改修		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井 けい酸 加工板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾌﾞﾙ)0.8FK厚6 突付け	5.8	㎡			
ﾗﾝﾄﾞ-(面台)	取外し・再取付 L=1600	1	か所			
計						

3.屋外便所改修			ユニット及びその他		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
TB-5		1	か所				
計							

3.屋外便所改修		アスベスト除去工事			屋外便所	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井合板・ホート 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	5.8	m ²			
除去石綿処理	密封処理（二重梱包）	0.1	m ³			
計						

3.屋外便所改修		解体撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トイレ・ステア等 撤去	人力 集積共	4.6	m ²			
壁タイル撤去	下地E1外共 集積共	8.7	m ²			
床タイル撤去	下地E1外共 集積共	8.9	m ²			
計						

3.屋外便所改修		発生材処理		発生材処理		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	石綿含有産業廃棄物 内装仕上材類	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類 人力	2.7	m3			
発生材運搬	石綿含有産業廃棄物 塩ビ、ﾎｰﾄﾞ類	0.1	t			
発生材運搬	がれき類	1.3	t			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物 塩ビ、ﾎｰﾄﾞ類	0.1	t			
発生材処分	がれき類	1.3	t			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方	小規模	97.5	m ²			
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	97.5	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	97.5	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	97.5	m ²			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		土工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	17.1	m ³			
床付け	総掘り	97.5	m ²			
砂利地業	再生クラッシャー	11.2	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	2	m ³			
積み込み	小規模土工 バックホウ0.13m ³	15.1	m ³			
発生土運搬		15.1	m ³			
発生土処分		15.1	m ³			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		鉄筋		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	1.1	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.8	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	1.9	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	1.9	t			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308 FC18N/mm2 S15 粗骨材20	5.6	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	24	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	24	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ 人力打設 - S15～S18 - -	5.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部 ﾎﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	24	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾝﾌﾟ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	24	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						

4.7°-ll新設		型枠		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	10.5	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部 -	35.7	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	46.2	m ²			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設						
防水			外部			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ｼｰﾘﾝｸﾞ系 (PS-2) 10 × 10	67	m			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		石		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
御影石	笠木4,200x190x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	笠木1,660x190x25t 磨き (R面取り 両面)	2	か所			
御影石	笠木1,780x80x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	笠木340x80x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	笠木1,225x190x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	笠木1,225x240x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	笠木1,660x240x25t 磨き (R面取り 両面)	1	か所			
御影石	運搬諸経費	1	式			
御影石	法定福利費	1	式			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		タイル		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床ﾓﾈｲﾀｲﾙ張り	ﾍﾞｯﾄﾀｲﾙ張 施工手間 - 50mm角 下地ﾀｲﾙ別途	2.8	m ²			
内装壁ﾀｲﾙ張り	ﾍﾞｯﾄﾀｲﾙ 有機系接着張り(ﾀｲﾌﾞ) 類 施ゆう 50mm角 ﾀｲﾙ外面	9.1	m ²			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設						
			左官		内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	97.5	m ²			
下地双張り	壁 ヌメ双張り 平ヌメF500	0.6	m ²			
壁珪外塗り	木ごて 外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 厚20	0.6	m ²			
打放し面補修	B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ処理 部分目違いばらい	11.2	m ²			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 凸部処理 吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	11.2	m ²			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		内外装			外部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ﾌﾟｰﾙ ﾌﾞﾙｽﾘｯﾌﾟ床ｼｰﾄ	t=2.9 ﾌﾞﾙｽﾘｯﾌﾟ ﾀｲﾌﾟ ﾏｲﾌﾟ ﾏｲﾌﾟ同等	62	m2			
段鼻ﾌﾞﾙｽﾘｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾍﾞｯﾄﾞ 無し 幅40	1.8	m			
計						

4.ポール新設		排水		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水目皿	75 D金具 80A	2	か所			
ビット防水珪外	厚さ20	2.9	m ²			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	2.2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 75A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 100A	1.3	m			
排水楯	300x300	1	か所			
ステンレス製グレーチングますふた	枠付 30mmφ ノスリッパ 細目 T-2 ます幅300	1	か所			
計						

4.フール新設		ユニット及びその他		金物		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
FRP製幼児フール	FKC3663 本体：3600×6300(水深)520 底排水	1	式			
フールカバー		1	式			
組立工事		1	式			
運賃・梱包費		1	式			
法定福利益		1	式			
諸経費		1	式			
フール日除けネット設置	ターボスクリーン 1004巾にて W1500 L7500 ハトメ付 @450程度	4	枚			
日除けネット支柱	101.6 L3100	10	本			
支柱建込施工費	支柱穴(130以上)は別途	10	か所			
ステンレスワイロープ 7*6 6m	L=64m	64	m			
ワイヤクリップ 6mm	AK15205	20	個			
チェーンキャッチ8mm	AK07133	108	個			
ターンバックルハッカーハズレ止め M10	AK13354	5	本			
上記金具・ネット取付施工費		1	式			
諸経費		1	式			
計						

4.ﾌﾟｰﾙ新設		困障				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝日目隠しフェンス	XW-1480-SH(PH)	22.1	m			
取付施工費	ﾊﾞｯﾄﾞ加工費共	22.1	m			
W=1.0 片開き扉	補助錠取付(朝日ﾌﾟｰﾙ仕様にて)	1	基			
門扉取付工事		1	か所			
フェンス掘削費	90 L320	14	か所			
門柱掘削費	90 L400程度	2	か所			
朝日メッシュフェンス	UN-A1500-50	10.5	m			
取付施工費	L=10.5m	1	式			
W=1.0 片開き扉	補助錠取付(朝日ﾌﾟｰﾙ仕様にて)	1	基			
門扉取付工事		1	か所			
フェンス掘削費	90 L200	7	か所			
門柱掘削費	90 L300程度	2	か所			
計						

5.ﾌﾟｰﾙ通路		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方	小規模	23	m ²			
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	23	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	23	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	23	m ²			
計						

5.7°-R通路		土工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	4.8	m ³			
床付け	総掘り	25.2	m ²			
砂利地業	再生クラッシュ	2.8	m ³			
埋戻し(B種)	- 発生土	1.8	m ³			
積込み	小規模土工 1' ック0.28m ³	3	m ³			
発生土運搬		3	m ³			
発生土処分		3	m ³			
計						

5.7°-II通路		鉄筋		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
溶接金網敷	径6.0 100×100	25.2	m ²			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.1	t			
計						

5.ブール通路		コンクリート			躯体	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm ² S18 粗骨材20	3	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 -	3	m ³			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	25.2	m ²			
床外 目地押え加算		25.2	m ²			
計						

5.ﾌﾟｰﾙ通路		防水		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼｰﾙ系(MS-2) 10×10	42	m			
計						

5.7°-II通路		型枠		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	3.8	m ²			
面木	15×15	22.3	m			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	3.8	m ²			
計						

5.ﾌﾟｰﾙ通路		内外装			外部	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
防滑性ビニル床シート	厚2.5	25.2	m ²			
雑排水嵩上げ	嵩上げ フロアハッチ 枠付 T-2 ます幅300	2	か所			
ステンズ製グレチング ますふた	枠付 30mm ϕ ノズリップ 細目 T-2 ます幅300	1	か所			
排水樹	300x300	1	か所			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 100A	2	m			
計						

6. 砂場新設		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方	小規模	16	m ²			
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	16	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	16	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	16	m ²			
計						

6.砂場新設						
解体						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
砂場解体	上家 基礎 撤去 積込共	1	式			
計						

6.砂場新設		土工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	17.3	m3			
床付け	総掘り	17.2	m ²			
砂利地業	再生クラツヤラン	0.5	m3			
埋戻し(B種)	- 発生土	3.2	m3			
積み込み	小規模土工 バックホウ0.28m3	14.1	m3			
発生土運搬		14.1	m3			
発生土処分		14.1	m3			
砂場の砂	洗砂(山砂)	8.8	m3			
砂利地業	切込碎石	7	m3			
計						

6. 砂場新設		鉄筋		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.2	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.2	t			
計						

6. 砂場新設		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC18N/mm2 S15 粗骨材20	0.3	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	1.3	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	1.3	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	0.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	1.3	m3			
コンクリート天端押え		12	m			
計						

6.砂場新設		型枠		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	16.3	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	16.3	m ²			
計						

6. 砂場新設		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アカボルト埋込み (B種)	径13～16(間柱等) 取付手間	16	本			
アカボルト	M12 L=400 L型 ナット付き	16	本			
一般構造用炭素鋼 銅管	STK400 76.3 *4.2	0.1	t			
一般構造用炭素鋼 銅管	STK400 60.5 *3.2	0.1	t			
一般構造用炭素鋼 銅管	正方形 75*75*2.3	0.1	t			
一般構造用炭素鋼 銅管	長方形 75*45*2.3	0.2	t			
切り板	厚4.5～6	0.1	t			
切り板	厚9	0.1	t			
工場加工	溶接費含む	0.7	t			
溶融亜鉛メッキ	立体溶融体 HDZT49	0.7	t			
鉄骨運搬		0.7	t			
現場建て方		0.7	t			
計						

6. 砂場新設		塗装		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DP塗り(細物)	亜鉛めっき鋼 1級 素地 めっき鋼面 行程B種 錆止め 工程A種 塗料A種 2回	72.8	m			
計						

6.砂場新設		ユニット及びその他			金物	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ターボスクリーン 100 4個にて	W1100 L5400 ハトメ付 @450程度	4	枚			
ステンワイヤーロープ 7*6 6m	L=36m	36	m			
ワイヤークリップ 6mm	AK15205	16	個			
チェーンキャッチ8mm	AK07133	65	個			
アイレットM10	AK04572	10	個			
タンバックパッカー 止め M10	AK13354	5	本			
上記金具・ネット取 付施工費		1	式			
計						

6. 砂場新設		内外装		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
弾性ゴムチップ製砂場枠	スレート	12	m			
弾性ゴムチップ製砂場枠	コナ- 250x250	2	か所			
弾性ゴムチップ製砂場枠	基礎土 400x400	4	か所			
計						

7.門扉改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	6.8	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	6.8	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	6.8	m ²			
計						

7.門扉改修		塗装		門、スール扉		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(門扉)						
高压水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高压水栓機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	14.3	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 凸部処理 吹付け 珩系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	14.3	m ²			
(スール扉)						
高压水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高压水栓機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	12.3	m ²			
D P 塗り	鉄鋼 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	12.3	m ²			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程C種 塗料A種 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	12.3	m ²			
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	12.3	m ²			
計						

8. 既存遊具撤去		既存遊具撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ツツジ 撤去	1.8×1.2×1.3H 積込共	1	式			
外構撤去	植込土撤去整地 夕421本撤去 飛び石撤去 ガラ撤去2㎡ 積込共	1	式			
木外枠撤去	1.8 × 2.3H 積込共	1	式			
計						

8. 既存遊具撤去		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬	木くず類	12.4	m3			
発生材運搬	がれき類	4.9	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	4.4	t			
発生土運搬		1.8	m3			
発生材運搬 スクラップ	H3	0.1	t			
発生材処分	木くず類	12.4	m3			
発生材処分	がれき類	4.9	t			
発生材処分	廃プラスチック類	4.4	t			
発生土処分		1.8	m3			
スクラップ 控除	H3	0.1	t			
計						

1.屋内改修		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬		1	式			別紙 00-0001
発生材運搬	木くず類	1.5	m3			
発生材運搬	がれき類	3.4	t			
発生材運搬	ホ-ト類	15.9	t			
発生材運搬	石綿含有産業廃棄物 塩ビ,ホ-ト類	5.1	t			
計						
発生材処分費		1	式			別紙 00-0002
発生材処分	木くず類	1.5	m3			
発生材処分	がれき類	3.4	t			
発生材処分	ホ-ト類	15.9	t			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物 塩ビ,ホ-ト類	5.1	t			
計						

